# 地方創生拠点整備交付金事業の効果検証に関する調査 報告書

令和4年3月 内閣府 地方創生推進事務局

### 報告書概要

### 地方創生拠点整備交付金事業の実施状況

国では、地方創生推進交付金や地方創生拠 点整備交付金(地方創生関係交付金)により、 都道府県及び市区町村を支援してきている。 昨年度に引き続き、交付金活用事業の実施状 況に係る調査を行った。令和2年度において は、総数1,768の事業(前年度比176事業増 加)で地方創生拠点整備交付金が活用された (図表 2·3)。



### 地方創生関係交付金の効果を高める要因について

地方創生関係交付金による支援制度が始まった平成 28 年度から 5 年が経過し、当該交付金を活用し、地域課題解決につなげ地方創生が進展した成功事例も複数見られるようになった。実施主体から提出を受けた事業実施報告及び実施主体へのヒアリング調査により分析を進め(本報告書第 2 章及び第 3 章)、検討委員会委員との議論を通じ、地方創生関係交付金事業の効果を高めると考えられるポジティブな要因を抽出した(本報告書第 4 章)。地方創生関係交付金事業をより効率的に、効果的に行うためにはポジティブな要因を踏まえて実施することが重要である。

### 地方創生拠点整備交付金事業の効果等

地方創生関係交付金事業の効果として、交付金を活用した事業のうち 82%の事業で地方 創生に効果があったと、地方公共団体等が認識していることが分かった(図表 2-49)。

また、推進事業の効果検証と併せて実施した統計解析において、取り組むべきこと 21 項目の実施率が高い上位半分の都道府県では、下位半分の都道府県に比べ、観光入込客数の年平均成長率が高いことが、拠点整備事業についても示され、「取り組むべきこと 21 項目」の実施の重要性を表している。一方で、交付金事業の効果が発現するまでには数年単位の期間を要する場合もあると考えられることから、結果を慎重に解釈したうえで、引き続きデータを蓄積して長期間を対象とした統計解析を検討する必要がある。

その他、令和2年度報告書との主な違いは以下の通りである。

- 「取り組むべきこと」の実施状況について、昨年度は実施率が 1~2割と低い項目が複数あったが、今年度は最も実施率が低い項目も 4~5割程度実施されており、「取り組むべきこと」の実施率が向上(図表 2-10)、「取り組むべきこと」21項目の8割以上(17項目以上)を実施した事業の割合は、昨年度の7%から44%に増加(図表 2-12)
- 目標値に達した KPI の割合は、全体で昨年度 42%から 35%に低下(図表 2-35)
- 事業実施時に感じた課題・苦労として、「その他」回答数が昨年度 153 から 487 に増加しており、その内容としては新型コロナウイルス感染症による影響が多く挙げられた(図表 2-56)

# 目次

報告書概要	1
調査の背景・目的	7
第1章 事業実施報告(様式)の作成、送付・回収	8
1.1 事業実施報告(様式)の作成方針	8
1.2 事業実施報告の送付・回収	17
第2章 事業実施報告の整理・分析	18
2.1 分析方針	18
2.2 事業実施報告の分析結果	20
2.2.1 事業の基礎情報	20
2.2.2 事業のプロセス	25
2.2.3 事業の結果	44
2.2.4 経済波及効果	61
第 3 章 事例研究	65
3.1 事例研究の対象とする事例の抽出	65
3.2 詳細調査の実施	67
3.2.1 詳細調査の実施	67
3.2.2 ヒアリング調査の実施	71
3.3 詳細調査の結果	72
3.3.1 地方公共団体内の実施体制	72
3.3.2 交付金事業費支出先の地域内訳	73
第4章 地方創生関係交付金事業の効果を高める要因	75
4.1 地方創生関係交付金事業の効果に対するポジティブ要因	75
4.2 地方公共団体が特に留意すべき重要な要因	78
第5章 事例集の作成、ガイドラインの加筆・修正	81
5.1 事例集の作成	81
5.2 ガイドラインの加筆・修正	83
第6章 地方公共団体への分析結果フィードバック	84
6.1 フィードバックの目的	84
6.2 フィードバック項目	84
6.3 フィードバックの実施	86
第7音 検封禾昌今の設置	80

### 図表番号一覧

図表	1-1	事業実施報告の様式作成におけるポイント	8
図表	1-2	KPI の意味付け	9
図表	1-3	事業実施報告(様式)(1枚目)	11
図表	1-4	事業実施報告(様式)(2枚目)	12
図表	1-5	事業実施報告(様式)(3枚目)	13
図表	1-6	事業実施報告(様式)(4枚目)	14
図表	1-7	事業実施報告(様式)(5枚目)	15
図表	1-8	事業実施報告(様式)(6枚目)	16
図表	2-1	事業実施報告 分析の全体イメージ	19
図表	2-2	事業実施報告の提出数(令和4年2月末時点)	20
図表	2-3	事業テーマ別事業数	21
図表	2-4	課題(事業テーマ別)	21
図表	2-5	単独事業・広域事業別の事業数	22
図表	2-6	実施主体別の事業数	22
図表	2-7	1事業当たりの事業実績額(事業テーマ別)	23
図表	2-8	1事業当たりの事業実績額(事業主体別)	23
図表	2-9	施設の建設区分(事業テーマ別)	24
図表	2-10	「取り組むべきこと」の実施状況	27
図表	2-11	「取り組むべきこと」の実施状況(参考、令和2年度調査結果)	28
図表	2-12	実施した取組数(事業テーマ別)	29
図表	2-13	「取り組むべきこと」の実施状況	30
図表	2-14	「取り組むべきこと」の実施状況(実施主体別)	30
図表	2-15	効果検証の状況(事業テーマ別)	31
図表	2-16	効果検証を受けた改善(事業テーマ別)	32
図表	2-17	効果検証の状況(事業主体別)	32
図表	2-18	効果検証を受けた改善(事業主体別)	33
図表	2-19	効果検証プロセスの実施有無	34
図表	2-20	効果検証プロセスの実施有無まとめ(事業テーマ別)	35
図表	2-21	効果検証プロセスの実施の有無(事業年度別)	36
図表	2-22	実施計画時点の自立化の見込み(事業テーマ別)	36
図表	2-23	事業収入が占める割合(事業テーマ別)	37
図表	2-24	自立化の進捗状況(事業テーマ別)	38
図表	2-25	実施計画時点における自立化の見込み(実施主体別)	38
図表	2-26	自立化の課題(解決済・未解決)	39
図表	2-27	政策間連携の状況(事業テーマ別)	40

図表	2-28	連携対象の事業テーマ(※自テーマ間の連携は除く)	41
図表	2-29	供用開始状況(事業テーマ別)	42
図表	2-30	供用を開始していない事業の供用開始予定時期	42
図表	2-31	供用開始時期の状況(施設の建設区分別)	43
図表	2-32	1 事業当たりの KPI 数 (事業テーマ別)	44
図表	2-33	KPI の分類 (事業テーマ別)	45
図表	2-34	KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合 (事業テーマ別)	46
図表	2-35	目標値に達した KPI の割合(事業テーマ別)	46
図表	2-36	KPI の分類別の目標達成状況	47
図表	2-37	KPI の分類(実施主体別)	47
図表	2-38	KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合 (実施主体別)	48
図表	2-39	KPI の分類 (施設の建設区分別)	48
図表	2-40	KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(施設の建設区分別)	49
図表	2-41	事業テーマ別設定 KPI の分類	50
図表	2-42	KPI の分類	51
図表	2-43	KPI 目標を達成した事業の割合(「自治体の課題・取組」の分類別).	51
図表	2-44	KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施有無別)	52
図表	2-45	KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施数別)	53
図表	2-46	KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別)	53
図表	2-47	KPI 目標を達成した事業の割合(各効果検証のプロセスを実施有無)	54
図表	2-48	KPI 目標を達成した事業の割合 (財源確保の進捗状況別)	54
図表	2-49	地方創生への効果認識の状況(事業テーマ別)	55
図表	2-50	地方創生への効果認識の状況(参考、令和2年度調査結果)	56
図表	2-51	地方創生への効果認識の状況 (施設の建設区分別の傾向)	56
図表	2-52	地方創生への効果認識の状況(事業費別の傾向)	57
図表	2-53	地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施有無別)	58
図表	2-54	地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施数別)	58
図表	2-55	地方創生への効果認識の状況(効果検証の状況別)	59
図表	2-56	課題・苦労の内容	60
図表	2-57	産業関連分析の考え方	61
図表	2-58	交付金事業費の支払内訳(事業テーマ別)	62
図表	2-59	1事業当たりの交付金事業費の支払内訳(事業テーマ別)	62
図表	2-60	交付金事業費及びそれに対する直接効果、間接波及効果	63
図表	2-61	経済波及効果の部門別内訳	63
図表	2-62	交付金事業費の付加価値効果(事業テーマ別)	64
図表	2-63	交付金事業費の税収効果(事業テーマ別)	64

図表	3-1	事業テーマ別事業数
図表	3-2	詳細調査における確認項目67
図表	3-3	事前情報照会票(様式)(1 枚目)
図表	3-4	事前情報照会票(様式)(2 枚目)69
図表	3-5	事前情報照会票(様式)(3 枚目)70
図表	3-6	ヒアリング調査の実施事例71
図表	3-7	地方公共団体内の関与職員数72
図表	3-8	交付金事業費支出先の地域内訳73
図表	3-9	交付金事業費支出先の地域内訳(事業テーマ別)74
図表	3-10	交付金事業費支出先の地域内訳(支払先業種別)74
図表	4-1	地方創生関係交付金事業の効果に対するポジティブ要因75
図表	4-2	「組織の検討・決定の流れ」及び「事業の流れ」を踏まえた 地方創生関係
2	交付金	全事業の効果に対するポジティブ要因の整理結果76
図表	5-1	事例集(様式)82
図表	6-1	フィードバック項目84
図表	6-2	事業実施報告分析レポート (様式) (1 枚目)
図表	6-3	事業実施報告分析レポート (様式) (2 枚目)
図表	6-4	事業実施報告分析レポート (様式) (3 枚目) 88
図表	7-1	検討委員会開催概要90

### 調査の背景・目的

国では、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)、地方創生加速 化交付金、地方創生推進交付金(以下「推進交付金」という。)、地方創生拠点整備交付金(以 下「拠点整備交付金」という。)などの地方創生関係交付金により、都道府県及び市区町村 を支援してきている。

本調査は、令和 2 年度に実施した「地方創生拠点整備交付金事業の効果検証に関する調査」(令和 3 年 4 月公表。以下「令和 2 年度調査」という。)に引き続き、拠点整備交付金の効果検証を行うものである。拠点整備交付金は、「地方版総合戦略」に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの取組で、地方創生拠点整備交付金整備対象施設の施設整備計画書で申請のあった事業のうち、先導的なものを支援するものである。拠点整備交付金の効果検証を行うことで、地方創生に向けた先導的な事業における効果的な事業評価及び課題分析の手法をとりまとめ、地方創生関係交付金に関する優良事例の横展開、地方公共団体における新規事業の設計・立案、有益な効果検証につなげていくことを目的としている。

具体的には、令和元年度補正予算、平成 30 年度補正予算、平成 29 年度補正予算、平成 28 年度補正予算で措置された拠点整備交付金事業に関し、(I)事業別に設定された重要業績評価指標(以下「事業別 KPI」という。)の達成度、地方公共団体における議会・外部組織による効果検証の運用実態と結果、及び交付金事業全体の社会的・経済的効果を整理・分析することで事業の検証を行うとともに、(II)特徴的な事例や、事業推進上の課題・工夫等の収集・分析を行い、令和 2 年度に改訂した「地方創生事業実施のためのガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に反映する等を通じて事業運用の改善を図ることを目的とする。

なお、令和2年度予算により新たに措置された推進交付金事業、平成28年度~令和元年度の予算で措置された推進交付金事業のうち令和2年度にも継続する推進交付金事業に関しても、同様の効果検証を実施しており、別途「地方創生推進交付金事業の効果検証に関する調査報告書」として取りまとめを行った。

### 第1章 事業実施報告(様式)の作成、送付・回収

### 1.1 事業実施報告(様式)の作成方針

拠点整備交付金の交付対象事業について、事業の目標達成状況等に関する分析を行う上 で必要な報告書の様式を作成した。

様式の作成に当たっては、令和 2 年度調査において使用された事業実施報告の様式を参 考とした上で、課題分類、取組分類、KPI の分類、効果検証の実施内容、新型コロナウイル ス感染症の影響に関する設問を設けた。

事業実施報告の様式作成におけるポイントを以下に示す。

#### 図表 1-1 事業実施報告の様式作成におけるポイント

### 事業実施報告の集計分析

### 1. 事業の 事業のプロセスにおいて実施した取組を整理。

# ついて

- プロセスに 事業の実施結果だけでなく実施プロセスに着目して分析を行うことで、事 業のプロセスで不足している取組を明らかにするため、ガイドラインを参 考に、拠点整備交付金事業の実施に当たって「取り組むべきこと」の実施状 況及びその度合いと、事業計画への反映状況を把握することとした。
  - なお、政策間連携や事業継続のための取組に関しては、連携した政策分野や 地方公共団体内の体制整備について把握した。
  - また、「取り組むべきこと」の実施状況と、後述する KPI 目標達成状況や 地方創生への効果認識との関係性を分析した。
  - 加えて、政策立案段階における、各政策立案のプロセス別の実施状況を確認 し、それによる事業に対する影響を把握した。

## 事業の効果● 検証につい て

### 2. 交付金 地方公共団体での効果検証(担当者、議会、外部組織)の状況を整理。

- 地方公共団体は、事業実施に伴う効果について、重要業績評価指標を設定の 上、その達成度合いについてその効果を検証し、内閣総理大臣に報告するこ ととされている。
- そこで、地方公共団体における効果検証の状況を把握すべく、議会による効 果検証の有無、外部組織による効果検証結果(有効か否かの選択肢から選 択)を把握した。また、効果検証の実施内容についても詳細に分析した。
- また、効果検証は議会・外部組織の実施にとどまらず、効果検証プロセス別 の実施状況を確認し、各事業の効果検証の適切性及びその効果を把握した。

## 事業の自立 ● 性担保の進

捗について

### 3. 交付金 自立化の進捗状況を整理。

事業実施計画に掲げた「自立化の見込み」や、令和2年度の事業実施を踏ま えた自立化の進捗状況、及び自立化に向けた課題認識を把握した。

## 定状況につ● いて

### 4. KPI の設 KPI を分類し、その傾向を分析。

- 事業実施報告の様式設計に際し、図表 1-2 を示しつつ、各事業で設定された 個々の KPI の意味付けが①インプット、②アウトプット、③交付金事業の アウトカム、④総合的なアウトカムのいずれに該当するかを問う設問を設 けることで、KPI 設定のレベルの傾向・実態を明らかにした。
- 設定している KPI を人口増加関連指標、生産性向上関連指標、地域の魅力 向上関連指標及び地域経済活性化関連指標に分類し、設定や目標達成率の 傾向を明らかにした。

図表 1-2 KPI の意味付け

		事業のアウトプット	事業のアウトカム	総合的なアウトカム
	事業例	個別事業の活動 <del>量</del>	個別事業の直接的な効果	諸事業・施策の全体効果
		(例)	(例)	(例)
ローカルイノベーション	○ 情報システム導入 (ICT, IoT等導入 促進)	• IT設備導入数、設備投 資額	・ 労働生産性がXX倍以上 達成の企業数	<ul><li>地域における起業者数</li><li>地域における新規雇用者数</li></ul>
	○ 民間ノウハウ活用 (連携協定、人材交 流)	<ul><li>プロフェッショナル人材の マッチング件数</li></ul>	<ul><li>本事業における成約件数</li><li>育成人材数</li></ul>	・ 地域における企業の売上 高
	○ 地域資源の活用/ 再注目	<ul><li>企業・プロジェクトの売上</li><li>高</li><li>育成人材数</li></ul>	• 移住者数(代表的KPI)	<ul><li>地域における農林水産就 労者数</li><li>地域における農林水産出</li></ul>
農林水産	○ 6次産業化支援 事業	<ul><li>セミナー・研究会等のイベント参加者数</li></ul>	支援事業を通じて開発・生産された産品の売上高・出荷額	荷額
観光振興	<ul><li>○ 地域ブランド化 (地域の魅力を活か した商品・サービス開 発)</li></ul>	• 特産品·旅行商品開発 数	<ul><li>宿泊者数</li><li>観光客数</li></ul>	<ul><li>地域における観光関連産業売上高</li><li>宿泊者数、日帰り観光容</li></ul>
	<ul><li>地域間連携(広域 連携による発信力向 上と多様なニーズの 取り込み)</li></ul>	• 特産品·旅行商品開発 数	<ul><li>電動アシスト付自転車の週 未利用件数</li></ul>	数の増加に伴う消費の増加額
地方へのひとの流れ	<ul><li>○ 誰もが活躍できる 「生涯活躍のまち」 づくり事業</li></ul>	<ul><li>地域住民・移住者への仕事紹介数</li></ul>	<ul> <li>新規就業者数(女性・高 齢者・障がい者・移住者等 を含む。)</li> </ul>	<ul><li>・ 地域への移住者数</li><li>・ 地域の転出入者数</li><li>・ 地域の交流人口数</li></ul>
	○ 地域の交流拠点を 活用した「生涯活 躍のまち」づくり事 業	• 地域交流拠点の整備数	<ul><li>地域交流拠点の利用者数 (交流人口数)</li></ul>	
	<ul><li>○ 小さな拠点等の生 活拠点整備事業</li></ul>	・ 地域運営組織の形成数	小さな拠点における店舗等     の利用者数・売上高	<ul><li>地域の定住人口数(転 入数)</li></ul>
まちづくり	○ 民間ノウハウ活用 (連携協定、人材 交流)	<ul> <li>利用者数 (施設・設備 利用者数、イベントなどの 参加者数、など)</li> </ul>	<ul><li>観光客数</li><li>育成人材数</li></ul>	<ul><li>地域の人口・世帯数</li><li>地域への転入者数</li></ul>

### 5. KPIの目 KPIの目標達成状況を整理。

### 標達成状況● について

KPI 目標を達成した事業の数、目標値に達した KPI の数等を整理し、目標 達成状況を分析した。なお、平成30年度補正予算及びそれ以前に措置され た事業については、令和2年度までの累積で分析した。

### 6. 交付金 交付金事業の地方創生への効果認識を調査。

### 事業の地方● 創生への効 果について

- 交付金事業の地方創生への効果に関して、団体ごとに様々な分野・規模・前 提条件で実施される交付金事業を一律に横並びで比較できる客観的指標を 設定することは困難である。
- そのため、一部主観が入るものの、当事者である各地方公共団体に対して地 方創生への効果認識(非常に効果的であった/相当程度効果があった/効 果があった/効果がなかった/効果の有無はまだ分からない)を尋ねるこ とにより把握することとした。

## 事業を進め る中での課

題・苦労に

ついて

### 7. 交付金 交付金事業を進める中での課題・苦労の有無を調査。

- 交付金事業を進める中での課題・苦労の有無、及び特に苦労した事項につい て、様式に以下の選択肢を例示することでその傾向・実態の把握を行った。
  - 事業推進体制の検討
  - 事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成
  - ビジネスモデル・資金繰りの検討
  - 事業実施場所(施設・設備)の検討
  - 規制・許認可への対応
  - 庁内・組織内(幹部、事業担当課、財政課等)との調整・合意形成
  - 庁外・組織外(地域内・地域外の事業者、住民)との調整・合意形成
  - 現場実態を踏まえた設計・工程等の見直し
  - 共同申請者との調整・合意形成
  - その他(例:予見できなかった外部環境変化が起こった 等)

### ロナウイル● ス感染症を 踏まえた今 後の事業継

続について

### 8. 新型コ 地方公共団体における今後の事業展開の意向を調査。

- 事業実施の結果 (KPI 目標達成状況、地方創生への効果認識) が今後の事業 展開に与える影響を把握すべく、拠点整備交付金を活用して事業を行った 地方公共団体における今後の事業展開の意向(継続/発展/改善/縮小/ 中止/終了)を把握することとした。
- また、特に事業を中止するとした地方公共団体については、その事情を聴取 した。

### 拠点整備交付金全体の効果の試算

### 析に基づく 経済波及効

果の試算

### 産業連関分 支払先業種別の支払金額を把握し、産業連関分析で経済波及効果を試算。

- 拠点整備交付金事業全体の社会・経済効果分析の一環として、拠点整備交付 金事業総体としての経済波及効果を産業連関分析により試算することとし た。
- そこで、事業実施報告の様式に、総額としての「実績額」に加え、支払先の 部門ごとの支払金額の記入を求め、この値を産業連関分析のインプット情 報として活用した。

上記を踏まえて作成した事業実施報告の様式は以下の通り。

図表 1-3 事業実施報告(様式)(1枚目)

					地方創	削生拠点	整備:	交付	<b> </b>	堂実:	施報台	与(様:	式2)				
OI	回答欄につい	_									JO 144	- (1902					
<u> </u>		:記述式	: 7	ルダ	び選択式	: 半	角数字での	記述式									
	都道府県	名	市町村	名					担当部局						当者氏名		
注	コード	3.及び市町村名が	プルダウンで選択(都	S首府	場の回答の類	場合。市町村名は不	要)		メールア	シス					電話番号		
		めで表示 (記載															_
					※ 事	業実施報	告は <u>「</u> ]	業	ごとに」それ	それ1	レファイノ	<b>レ作成</b> し	てください。				
基礎情		交付金事	業の振り返	り													
	. 本事業の (下	表の「事業実施	績額、単独事業と 年度」を選択すると 決したいと考えてい	事業	実施年度は	応じた説明書き	が表示される	ます)				1					
		事業	名称			整備交付金】 実績額 [単位:	円]	【効果	交付金を活用して 推進事業(ソフト 議額 [単位:F	事業)】	実績額	頂 [単位:円]	単独事業と共同申請事業の別	施設整備計画(段階のテー		業実施年度	主たる施設の建設区分
				₹.	総事業費		ġ.	総事業	費		オ. 総事 (ア+ウ)	業費					
					行金対象			交付金対	像			¥0	_				
				ą	業費		9	業費									
		本事業におけ	る課題の分類	I		課題に対し 大分類	て実施する	取組の分	分類「別紙 選択	肢」シートの 詳細分	凡例より選択		注) 設問ア及び 宝績報告	イは、拠点整備 書で報告した金			
				⇒		, ,,,,,,,,				E 1 0423			注)設問ウ及び		寸金交付要	綱 別紙棋	t式 II
													注) 設問ア及び 支出した総	吟は、交付金り  支出額	以外も含む、	事業を実施	色する上で
	1 .	1 太事業の学	経續額(設問 1.の	<b>.</b>	h 수 뉴 스 = = = = = = = = = = = = = = = = = =	こついて 書団件	が去れったも	8壬生4	カ業種別 (小-	(M) I-+	問かせべ	tı) [4=	注) 単独事業と 1	:共同申請事業	の別は自動	が表示(	記載不要)
	1	4-尹朱V天	CONTRACTOR (BXID) I .U.	.,,	-×mran(				の未催が(①へ								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		①農林水産	②建設		③製造	<ul><li>4情報通信</li></ul>	⑤運輸・		⑥商業		·保険	⑧不動産・	<b>⑨サ</b> −ビス	⑩その他	1~00	$\overline{}$	総事業費(オ) [単位:円]
		Carris	- OALKA			CHARLE	CALIN	24.00	(卸・小売)	Caacio	A PINIZ	物品賃貸	07 <b>4</b> /1	0 4.710		0	0
			、支払相手が属する														
			先が①~回のどの産業 F先業種別の内訳は、										類に計工べたさい。				
	※設問ア		事業の非代表は記え ・ウを除く) は、施設			でしてご記入くださ KPI 1	い。設問イ	・ウにつき	きましては最も適 KPI 2	切だと思 <del>う</del>		Rください。 KPI 3		KPI4			
		評価指標(K	PI)の名称	] →													
			K P I の分類 (大分類)	] →													
			氏 選択肢」シートの月	l⊕l.	り選択ください	J.											
		j.	K P I の分類 (小分類)	<b>→</b>													
	KPIの 意味付け		氏   選択肢」シートの月	例。	り選択ください	٨,											
			KPIの分類 (対象) の凡例より選択ください	' <sub>J</sub> °	< ₹1.60 ·	選択肢> 注)	FR(I)~@7	相定す	SKPIの具体イソー	ジについて	t. [Rilar I	設問 2 (KP:	[ の意味付け・分類	i)  シートをご然!	弱ください		
		A-1480	***** >MEN\/CC1		1 インフ ② アウト	「ット	交作	金事業	なけることでは に投入される資源 による活動量(仕	(ヒト・モノ	・カネ・時間)			<u>, 1≻ F</u> &⊂®;	.m \/CC/V1e		
					③ 交付	金事業のアウトカム 的なアウトカム	交作	金事業	から直接的にもたい 施策・政策の総合	される成界	R·効果						
		<b>オ</b> .	施設整備計画の	l	当初信			当初値			当初値	[単位	] 当初信	直 [単位	立]		
		開始前	申請時点 整備計画上の「事業 (現時点) 」をご記載	<b>→</b>		計測年月			計測年月			<b>計測年月</b>		計測年月			
	<u>KPIの</u> 当初値	2	ください。	] →		年	月		年	月	- WI	年	月	年	月		
		(ii 力.	量年度事業のみ) 令和元年度の		令和元年 当初信	度以前の事業の		自動表現			3業の場合( 当初値	ま「一」のままで		直 [単位	立]		
		$\dashv$ $\vdash$	事業終了時点	] →		-	1 -	唐体 **	-	1	D##	-	1 5	-	÷1		
			(29年度事業のみ) 平成29年度増加分	<b> </b> →	目標値 (#	<b>旧分)</b> [単位	J Bi	漂値 (増	分) [単位	J	目標値(増充	P) [単位	] 目標値(#	開分) [単位	w.J		
			0年度以前の事業のみ) P成30年度増加分	] →													
	施設整備 計画の	(令和)	元年度以前の事業のみ) 令和元年度増加分	<b>]</b> →													
	申請時点での、	J. 1	令和2年度增加分	] →													
	KPIの 目標値設定	2   8	目標値がゼロの場合、 効果が発現し始める 明をご記載ください。	 	効果発	現開始時期(見込年	月	効果発明	見開始時期(見)	月	効果発現	開始時期 (見込	) 効果発耳 月	現開始時期(見 年	込) 月		
		ij.	上記キ~コ累計	İ	目標値(生			原値 (増			目標値(増允						
			(自動表示)	ı → İ	目標値や	目標年月を、半月	角数字で記	<u>入す</u> るご	とが出来ない、	その他上昇	表に記載困	 難な場合には	、以下備考欄をご	ご活用ください。			
			シ. <b>備考欄</b>	→													

図表 1-4 事業実施報告(様式)(2 枚目)

	(TI-\$20(ETW## 0.7.)	1	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	
	<ul><li>(平成29年度事業のみ)</li><li>ス. 平成29年度増加分の実</li></ul>		大根區 (福力)	[十四]	大根區 (477)	[+12]	大概區 (4/7)	[十四]	大树區 (相力)	[十位]	
	へ. 十版とり十度と1mのの夫 績値	→									
	(平成30年度以前の事業のみ)										
	セ. 平成30年度増加分の	$\rightarrow$									
	実績値										
	(令和元年度以前の事業のみ)	1									
	ソ. <b>令和元年度以前の事業のの</b> )	→									
	績値										
		1			1						]
KDIO		→									
KPIの 宝装値											
実績値 ※見込みではなく実績	タ. 令和2年度増加分の実 績値		目標値に対	する達成度合い	目標値に対	対する達成度合い	目標値に対す	する達成度合い	目標値に対	する達成度合い	
をご記載ください。	sind live	$\rightarrow$	#DEV/01 9/6		#DZV/01 %		#DEV/DE %		#DEV/DI %		
			※日煙値に対	する達成度合い(	%) は 自動7	で表示されます。適切	な表示となってい	ない場合のみ	ガルダウンで選択	リーナください。	
		]									1
			実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	
		→									
	チ. KPI増加分の		目標値に対	する達成度合い	目標値に対	対する達成度合い	目標値に対す	する達成度合い	目標値に対	する達成度合い	
	累計(実績)		evalue: %		FVALUET %		evalue: %		FUNLUET %		
		l ^									
						で表示されます。適切					
			実績値や年月	を、半角数字で記	入することが出え	来ない、その他上表(	記載困難な場	合には、以下備考	き欄をご活用くた	<b>ざい。</b>	
	ツ. 備考欄	→									
		1									
	チ)の目標達成・未達理由	→									
	ト達になった理由、及び ◆※の部のない(空) )										
木建の場合は	今後の解決策(案))										
O ## PT 99# \	[#E (/D+) Tarky	_	1027								
	[共同(代表)及び単独 の供用開始時期(まだ開始				して た脚かせん	<b>ゲ</b> さい					
	の供用開始時期(また開始 同(代表)及び単独事業のみ					V/CCV 10	, m m	. 300-671 0-4-5			
							(1) 開始	:選択肢>	(a) ++**mak/u	70.0400.0	
登佣》	対象施設の供用開始の状況	į.	具体的供用	開始時期 (見込む	_		(1)   <b>用</b> 短	消	(2) まだ開始し	CURCI	
				年	月						
「②まだ開!	始していない」場合は、その理	里由に	ついて、お聞かせ	ください。							
供	用を開始していない理由						1 #BB	の一部が未完成		(4) 施設を利用	する事業者が未決定
[6 <del>7</del> 6]	の他」を選択した場合の理由						0	での調整が未完了			5り、2年目の事業が終了していない
100	0161681/O/C-96100-EE	•					③ 指定	管理者等との調整が	未完了	⑥ その他	
○交付金事業の効果(±	地方創生への効果) 「全	員]									
把握・示唆され	ん場合、ていり合むこ記載へ	1000	10								
把握・示唆され	事業効果	ICCU					事業効果の内容	容·詳細			
	事業効果	ILCV	10				事業効果の内容	容∙詳細			
<凡例:選	事業効果 沢肢>			するかど 大いに成果り	温なりたシみかせる	場合	事業効果の内容	容∙詳細	ı		
<凡例:選 ① 1857創生に非	事業効果 択肢> 採に効果的であった 例:3	全てのド	《PIが目標値を達成	するなど、大いに成果がなかったものの、概ね成			事業効果の内容	答・詳細	[		
<凡例:選 ① 地方創生は ② 地方創生は ③ 地方創生は	事業効果  「沢肢〉  「深成)  「深成)  「深成)  「深成)  「深成)  「深成)  「深成)  「深れ)  「深れ)  「深れ)  「深れ)  「深れ)  「深れ)  「深れ)  「なった。 例:	全てのK 一部のK (PI連)	KPIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 或状況は芳しくなかっ	なかったものの、概ね成 たものの、事業開始前	果が得られたとみな よりも取組が前進・	せる場合 改善したとみなせる場合		客∙詳細 			
< 八 例 : 選 ① 地方創生に対 ② 地方創生に対 ③ 地方創生に必 ④ 地方創生に必	事業効果	全てのK 一部のF KPI連邦	KPIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 或状況は芳しくなかっ 実績値が開始前よりも	なかったものの、概ね成 たものの、事業開始前 5悪化した、もしくは取得	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 乱としても前進・改善	せる場合 改善したとみなせる場合 能したとは言い難いような均		客∙詳細			
〈凡例:選「 (型方前生は) ② 地方前生は(3) 地方前生は(4) 地方前生は(5) が東の有無は(5) が東の有無は(6) が成し(6) が表の有無は(6) が成し(6) が表の表面は(6) が表の表面は(6) が表の表面は(6) が表の表面は(6) が表面は(6)	事業効果	全てのK 一部のF KPI連邦	KPIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 或状況は芳しくなかっ 実績値が開始前よりも	なかったものの、概ね成 たものの、事業開始前 5悪化した、もしくは取得	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 乱としても前進・改善	せる場合 改善したとみなせる場合		吟·詳細			
<凡例:選注 <ul> <li>(このの単生)</li> <li>(このの単生)</li> <li>(このの単生)</li> <li>(本の前生)</li> <li>(本の前性)</li> <li>(本</li></ul>	事業効果    RR技   一	全てのK 一部のI KPI連店 KPIの写 整備対	(PIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 或状況は汚しくなかっ 実績値が開始前より引 象施設の供用開始i	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとみなせる場合 自したとは言い難いような場合 引来していないような場合	合	答,詳細			
<凡例:選       ① 思う前生は       ② 思う前生は       ③ 思う前生な       ④ 思う前生な       ⑤ 独の有能が       たこれらの設問でいう「全	野葉効果  「特別ない。	全てのK 一部のI KPI連店 KPIの写 整備対	(PIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 或状況は汚しくなかっ 実績値が開始前より引 象施設の供用開始i	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとみなせる場合 自したとは言い難いような場合 引来していないような場合	合	容·詳細			
<ul> <li>(人) (選)</li> <li>(大) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利</li></ul>	野薬効果  「保験〉 「深に効果的であった」(例:「当能程の現所かった」(例:「自能程の現所かった」(例:「現実がった」(例:「は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	全てのK 一部のI KPI連馬 KPIの写 整備対	《PIが目標値を達成 KPIが目標値に達した 或状況は劳しくなかっ 実施値が開始前より 象施設の供用開始 そのものではなく、	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	<b>る</b> 合を指します。		いただいた方の	み、お聞かせくださ	EU <sub>o</sub>
<ul> <li>(人) (選)</li> <li>(大) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利</li></ul>	野葉効果  「特別ない。	全てのK 一部のI KPI連馬 KPIの写 整備対	《PIが目標値を達成 KPIが目標値に達した 或状況は劳しくなかっ 実施値が開始前より 象施設の供用開始 そのものではなく、	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	<sup>8</sup> 合 を指します。 <b>設問5で「あ!</b>	) (①) 」と回答(		み、お聞かせくださ (投資に係る支出	<u>たい。</u> はは除く)に占める
<ul> <li>(人) (選)</li> <li>(大) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利</li></ul>	野薬効果  「保験〉 「深に効果的であった」(例:「当能程の現所かった」(例:「自能程の現所かった」(例:「現実がった」(例:「は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	全てのK 一部のI KPI連馬 KPIの写 整備対	《PIが目標値を達成 KPIが目標値に達した 或状況は劳しくなかっ 実施値が開始前より 象施設の供用開始 そのものではなく、	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	を指します。 ・ <b>設問5で「あ</b> 」 本事業終了の	<b>) (①) Jと回答</b> 翌年度における。 <sup>1</sup>	事業運営コスト		は除く)に占める
<ul> <li>(人) (選)</li> <li>(大) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利</li></ul>	野薬効果  「保险〉 「押に効率的であった」「押に。  「押に効率的であった」「押に ・ 用に対象があった」「押に ・ 用に対象があった」「押に ・ 用に対象が成立から、「押に はまだりからない」「押に ・ はまだりからない」「押に ・ には ・	全てのkk 一部のii KPI連原 KPIの更 整備対 整備対 お聞力	(PIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 級状況は男しくなかか 象態設の供用開始 そのものではなく、 かせください。	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	を指します。 ・ <b>設問5で「あ</b> 」 本事業終了の	<ul><li>(①) Jと回答</li><li>翌年度における。</li><li>会・一般財源の割</li></ul>	事業運営コスト 引合をそれぞれ#	(投資に係る支出 現算でお聞かせくだ。	は除く)に占めるさい。
<ul> <li>(人) (選)</li> <li>(大) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利</li></ul>	野薬効果  「保险〉 「押に効率的であった」「押に。  「押に効率的であった」「押に ・ 用に対象があった」「押に ・ 用に対象があった」「押に ・ 用に対象が成立から、「押に はまだりからない」「押に ・ はまだりからない」「押に ・ には ・	全てのkk 一部のii KPI連原 KPIの更 整備対 整備対 お聞力	《PIが目標値を達成 KPIが目標値に達した 或状況は劳しくなかっ 実施値が開始前より 象施設の供用開始 そのものではなく、	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	を指します。 ・ <b>設問5で「あ</b> 」 本事業終了の	<b>) (①) Jと回答</b> 翌年度における。 <sup>1</sup>	事業運営コスト 引合をそれぞれ#	(投資に係る支出 現算でお聞かせくだ。	は除く)に占める
<ul> <li>(人) (選)</li> <li>(大) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利) (利</li></ul>	野薬効果  「保险〉 「押に効率的であった」「押に。  「押に効率的であった」「押に ・ 用に対象があった」「押に ・ 用に対象があった」「押に ・ 用に対象が成立から、「押に はまだりからない」「押に ・ はまだりからない」「押に ・ には ・	全てのkk 一部のii KPI連原 KPIの更 整備対 整備対 お聞力	(PIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 級状況は男しくなかか 象態設の供用開始 そのものではなく、 かせください。	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	を指します。  設問5で「あり。  本事業終了の割	) (①) <b>」と回答</b> ( 翌年度における、 会・一般財源の割 事業収入の割合	事業運営コスト	(投資に係る支出 類等でお聞かせくだ。 一般	はは除く)に占める さい。 財源の割合
	野薬効果  「保険) 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同	全てのkk 一部のii KPI連原 KPIの更 整備対 整備対 お聞力	(PIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 級状況は男しくなかか 象態設の供用開始 そのものではなく、 かせください。	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	を指します。  設問5で「あ!  数問5で「あ!  事業収入の割  注)事業収入	<ul><li>(①) 」と回答に</li><li>翌年度における。</li><li>事業収入の割合</li><li>記録</li><li>・必要を</li><li>お表示</li><li>とは、事業の実施</li></ul>	事業運営コスト 引合をそれぞれ相	(投資に係る支出 現算でお聞かせくだる 一般 「る収入(商品・サ	は除く)に占めるさい。
	野薬効果  「保険) 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同	全てのkk 一部のii KPI連原 KPIの更 整備対 整備対 お聞力	(PIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 級状況は男しくなかか 象態設の供用開始 そのものではなく、 かせください。	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	を指します。  設問5で「あ」 本事業終了の。 事業収入の割  注)事業収入 利用料、企動	(①) Jと回答 型年度における。 会・一般財源の割 事業収入の割合 とは、事業の実施	事業運営コスト 引合をそれぞれ相	(投資に係る支出 現算でお聞かせくだる 一般 「る収入(商品・サ	はは除く)に占める さい。 財源の割合
	野薬効果  「保険) 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同	全てのkk 一部のii KPI連原 KPIの更 整備対 整備対 お聞力	(PIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 級状況は男しくなかか 象態設の供用開始 そのものではなく、 かせください。	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	を指します。 <b>登問5で[あ</b> 本事業終了の] ・ 事業収入の割 ・ 利用料、企ま	(①) 上回査 翌年度における。     令 一般財源の部  事業収入の割合  とは、事業の実施資金  :選択肢〉	事業運営コスト別合をそれぞれ概念	(投資に係る支出 投資でお聞かせくだる 一般 る収入(商品・サ	は除く)に占めるさい。 財源の割合 ービスの売上、施設
	野薬効果  「保険) 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同	全てのkk 一部のii KPI連原 KPIの更 整備対 整備対 お聞力	(PIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 級状況は男しくなかか 象態設の供用開始 そのものではなく、 かせください。	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	を指します。  設問 5で「あり。 本事業終了の「あり。 事業収入の割。 注)事業収入 利用料、企 、 入例。 (3) 1000	(①) Jと回答 型年度における。 会・一般財源の割 事業収入の割合 とは、事業の実施	事業運営コスト 引合をそれぞれ概念 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	(投資に係る支出 現算でお聞かせくだる 一般 「る収入(商品・サ	はは除く)に占める さい。 財源の割合
	野薬効果  「保険) 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同	全てのkk 一部のii KPI連原 KPIの更 整備対 整備対 お聞力	(PIが目標値を達成 KPIが目標値に達し 級状況は男しくなかか 象態設の供用開始 そのものではなく、 かせください。	はかったものの、概ね成たものの、事業開始前たものの、事業開始前 たものの、事業開始前 き悪化した、もしくは取終 前等の理由により、効態	果が得られたとみな よりも取組が前進・ 祖としても前進・改善 果発現時期がまた至	せる場合 改善したとかなせる場合 もしたとは言い難いような場合 別来していないような場合 の活用方法等のこと	を指します。  設問5で「おす。  設問5で「おす。  ・ 本事業終了の・ 事業収入の割・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(①) 上回査 翌年度における。     令 一般財源の部  事業収入の割合  とは、事業の実施資金  :選択肢〉	事業運営コスト別合をそれぞれ概念	(投資に係る支出 投資でお聞かせくだる 一般 「あ収入(商品・サ す。	は除く) に占める とい。 財源の割合ビスの売上、施設
	・ 事業効果  「保護〉 「帰じる関係であった」 「帰じる 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「帰じる」 「「帰じる」 「「帰じる」 「「帰じる」 「「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」	全てのk 一部のii (PI達度 (PIの更 を備対 <b>整備</b> 対 お聞力	(P) 日母最高速度 (P) 日母最高速度 (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母の (P) 日母	総対のための、概ね成功ないための、概ね成功を必要である。 にものの、事態では、もよくは収象 前等の埋由により、効が 施設整備計画に	東州等かれたかな から助原川所護・ 配としても前連・改建 現実現時間がまた型 記載された施設	せる場合 起したは悪い難しなうなが 東ルしていないような場合 の活用方法等のごと	を指します。 設開 5 で[あ] 本事業収入の計 注注)事業収入の計 (入例 (1 108 (2 98) (3 08)	(①) 上回答金 程序における、100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円	事業運営コスト 別合をそれぞれ概 国に伴って得られ など)を指しま	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ。 一般 る収入 (商品・サ す。	は除く) に占める とい。 財源の割合ビスの売上、施設
	野薬効果  「保険) 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、関係を表現している。」 「同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同じ、同	全てのk 一部のii (PI達度 (PIの更 整備対 整備す 記立化	PIが目標格を達成 RPIが目標値に達し、 最近状況はかりません。 家施設の共用開始 であるのではなく、 かせください。 の見込み	はかったもの。概如成 たもの。事でした。 悪化した。私くは印象 前等の理由により、効が 施設整備計画に が を を を を と と と は の を を は の を を を を を を を を を を を を を を	現が得られたかなか 力の制度が増加。 むとしても前途、改善 現実現時間がまごか 記載された施設 計画に記載された施設	せる場合 起したは悪い難しなうなが 東ルしていないような場合 の活用方法等のごと	を指します。 設開 5 で[あ] 本事業収入の計 注注)事業収入の計 (入例 (1 108 (2 98) (3 08)	(①) 上回答金 程序における、100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円	事業運営コスト 別合をそれぞれ概 国に伴って得られ など)を指しま	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ。 一般 る収入 (商品・サ す。	は除く) に占める とい。 財源の割合ビスの売上、施設
	・ 事業効果  「保险〉 「押に3庫前であった」「押に3 前間・ 1 月 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	全てのk 一部のi (PI達原 (PIの) を備対 <b>診を備</b> す <b>診を備す</b>	(PI) 日春福を達成 (PI) 日春福・選及 (PI) 日春福・選及 (PI) 日春福・選込 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI)	はかったもの。概ね成 たもの。事態の 悪化した。もれば取動 前等の理由により、効 施設整備計画(c) ださい。施設整備 ごついてもご記載くれ	現が得られたかなか 力の制度が増加。 むとしても前途、改善 現実現時間がまごか 記載された施設 計画に記載された施設	せる場合 起したは悪い難しなうなが 東ルしていないような場合 の活用方法等のごと	を指します。 設開 5 で[あ] 本事業収入の計 注注)事業収入の計 (入例 (1 108 (2 98) (3 08)	(①) 上回答金 程序における、100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円	事業運営コスト 引合をそれぞれ相 を 断に伴って得られ など)を指しま (4) 7割 (5) 6割 (6) 5割 いるかについて、	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ。 一般 る収入 (商品・サ す。	は除く) に占める とい。 財源の割合ビスの売上、施設
	・ 事業効果  「保险〉 「押に3庫前であった」「押に3 前間・ 1 月 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	全てのk 一部のi (PI達原 (PIの) を備対 <b>診を備</b> す <b>診を備す</b>	PIが目標格を達成 RPIが目標値に達し、 最近状況はかりません。 家施設の共用開始 であるのではなく、 かせください。 の見込み	はかったもの。概ね成 たもの。事態の 悪化した。もれば取動 前等の理由により、効 施設整備計画(c) ださい。施設整備 ごついてもご記載くれ	現が得られたかなか 力の制度が増加。 むとしても前途、改善 現実現時間がまごか 記載された施設 計画に記載された施設	せる場合 起したは悪い難しなうなが 東ルしていないような場合 の活用方法等のごと	を指します。 設開 5 で[あ] 本事業収入の計 注注)事業収入の計 (入例 (1 108 (2 98) (3 08)	(①) 上回答金 程序における、100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円	事業運営コスト 別合をそれぞれ概 国に伴って得られ など)を指しま	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ。 一般 る収入 (商品・サ す。	は除く) に占める とい。 財源の割合ビスの売上、施設
	P 業効果    保験   一	全てのk 一部のi (PI達原 (PIの) を備対 <b>診を備</b> す <b>診を備す</b>	(PI) 日春福を達成 (PI) 日春福・選及 (PI) 日春福・選及 (PI) 日春福・選込 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI) 日春 (PI)	はかったもの。概ね成 たもの。事態の 悪化した。もれば取動 前等の理由により、効 施設整備計画(c) ださい。施設整備 ごついてもご記載くれ	現が得られたかなか 力の制度が増加。 むとしても前途、改善 現実現時間がまごか 記載された施設 計画に記載された施設	せる場合 起したは悪い難しなうなが 東ルしていないような場合 の活用方法等のごと	を指します。 設開 5 で[あ] 本事業収入の計 注注)事業収入の計 (入例 (1 108 (2 908 (3 088	(①) 上回答金 程序における、100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円	事業運営コスト 引合をそれぞれ相 を 断に伴って得られ など)を指しま (4) 7割 (5) 6割 (6) 5割 いるかについて、	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ。 一般 る収入 (商品・サ す。	は除く) に占める とい。 財源の割合ビスの売上、施設
	野薬効果	全てのk 一部のD KPI連馬 E 整備す お聞力 お聞力	(P) 日母母を達成 (P) 日母母を達成 (P) 日母母では、 (P) 日母母では、 (P) 日母のではなく、 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではないない。 (P) 日母のではない。 。 (P) 日母のではないないない。 (P) 日母のではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	はかったもの。概ね成 たもの。事態の 悪化した。もれば取動 前等の理由により、効 施設整備計画(c) ださい。施設整備 ごついてもご記載くれ	現が得られたかなか 力の制度が増加。 むとしても前途、改善 現実現時間がまごか 記載された施設 計画に記載された施設	せる場合 起したは悪い難しなうなが 東ルしていないような場合 の活用方法等のごと	を指します。 設開 5 で[あ] 本事業収入の計 注注)事業収入の計 (入例 (1 108 (2 908 (3 088	(①) 上回答金 程序における、100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円	事業運営コスト 引合をそれぞれ相 を 断に伴って得られ など)を指しま (4) 7割 (5) 6割 (6) 5割 いるかについて、	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ。 一般 る収入 (商品・サ す。	は除く) に占める とい。 財源の割合ビスの売上、施設
	P 業効果    保験   一	全てのk 一部のD KPI連馬 E 整備す お聞力 お聞力	(P) 日母母を達成 (P) 日母母を達成 (P) 日母母では、 (P) 日母母では、 (P) 日母のではなく、 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではないない。 (P) 日母のではない。 。 (P) 日母のではないないない。 (P) 日母のではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	はからための、概ね成か たたのの、事態にたい 悪化した、もよくは取動等の埋由により、効が 施設整備計画により、効が を設整備計画により、が 施設整備計画により、が を できない。施設整備 こついてもご記載くが の進捗	東外等のためなったとかなったのでは、 の企しても前端・企業を 企としても前端・企業を 記載された施設 計画に記載された を 記載された を 記載された を に 記載された を に に に に に に に に に に に に に	世名場合 地域地によっな世名場合 地域はは、関いような場合 の活用方法等のごと 5-1	を指します。	(①) 上回答金 程序における、100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円	事業運営コスト 合をそれぞれ相 いた。 いた伴って得られなど)を指しま 4 7利 (5 6 5利 いるかについて、 理由	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ。 一般 る収入 (商品・サ す。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
	PR談  PR談  PRUN (	全てのk 一部のD KPI連馬 E 整備す お聞力 お聞力	(P) 日母母を達成 (P) 日母母を達成 (P) 日母母では、 (P) 日母母では、 (P) 日母のではなく、 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではない。 (P) 日母のではないない。 (P) 日母のではない。 。 (P) 日母のではないないない。 (P) 日母のではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	はからたらの、親ね成か たらの、事態の 悪化した。もれくは取 前等の埋由により、効が 施設整備計画(こ) が が が が が が が が が に が に が に が に が に が	東外等のためなったとかなった。 の企しても前端・改変で 記をしても前端・改変で 記をしても前端・改変で 記をしても前端・改変で 記をされた施設 計画に記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記載された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述された を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を記述さ を	世名場合 地域地によっな世名場合 地域はは、関いような場合 の活用方法等のごと 5-1	を指します。 数関5で[おか] 本事業終了の割 非第、企業収入の割 注注・事業収入の割 (へ R 例 (	(①) 」と回答 曜年度における。 会・一般財務の部 事業収入の割合 には、事業の実施 に対しての に対している。 に対している。 がおりに進捗している。	事業運営コスト 合をそれぞれ相 いた。 いた伴って得られなど)を指しま 4 7利 (5 6 5利 いるかについて、 理由	(投資に係る支出 選算でお聞かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4部 (8) 3部 (9) 2部 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
(八例: 選集	野菜効果	全てのは 中国連邦 (PI連邦 (PI連邦 (PIの (PIの を備対 お聞か お聞か こ立化	(PI) 門唇標格を達成 (PI) 肝唇標を達成 実施表現の 実施をの共用開始 等施設の共用開始 の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み る を 変数の共用開始 の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み の見込み のるり のるり のるり のるり のるり のるり のるり のるり	はかったもの。概如成 たもの。事でした。 悪化した。 をして、 施設整備計画(こ) 施設整備計画(こ) が たさい。 施設整備計画(こ) が で が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が が が の が が が の が の が が が の が の が が が が の が が が の が が が が が が が が の が が が が が が が が が が が が が	現が得られたかなから のも問題が帰還。 現代しても前端・改成を 現実現時間がまた。 記載された施設 計画に記載され たさむ。	せる場合 意識したようなせる場合 能したは意い間にようなが 即率していないような場合 の活用方法等のごと ち・1 た自立化の見込みに	を指します。 数関5で[おか] 本事業終了の割 非第、企業収入の割 注注・事業収入の割 (へ R 例 (	(①) 」と回答 曜年度における。 会・一般財務の部 事業収入の割合 には、事業の実施 に対しての に対している。 に対している。 がおりに進捗している。	事業運営コスト 合をそれぞれ相 いた。 いた伴って得られなど)を指しま 4 7利 (5 6 5利 いるかについて、 理由	(投資に係る支出 選算でお聞かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4部 (8) 3部 (9) 2部 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
		全ての体 一部のii (Pi達原 と解析 を備がする を を を を を を を を を を を を を を を を る る る る る る る る る る る る る る る る る る る る	(PI) 四層報を達成 (PI) 四層報に達して 東原はの「伊朗寺」(2000年) 東原はの伊朗寺」(2000年) 東原はの伊朗寺」(2000年) できなっ、中国・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本・「日本	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなうの のお助場が増進 設しても前端・必要を 記しても前端・必要を 記載された施設 計画に記載され できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるな。 できるななる。 できるななる。 できるなる。 できるな。 できるななる。 できるななる。 できる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるなななる。 できるなななる。 できるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	せる場合 を関いたは、関いようながら 利力とは意い関いようながら の活用方法等のごと ち-1 た自立化の見込みが したは、関大力 の活用方法等のごと も、(最大32) 田で具体的にご記載	を指します。	(①) Jと回答:      受年度における。      今一般財源の部  事業収入の割合      注は、事業の実施      等からの脳骨      :選択肢>      またはでれ以上      どおりに進捗してい      だおりに進捗してい      できる日始は      ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業運営コスト 合きそれぞれま に伴って得らなと)を指しま を指しま の	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ 一般 こる収入 (商品・サ す。 2 4制 8 3制 9 2制 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	PR談〉 「常に効果的であった」 「何: 「日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	全てのk 一部のii (P)[達原 学備対 整備する を を を を を に た た た た う う う な た う た う た う た う た う た う	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなうの のお助場が増進 設しても前端・必要を 記しても前端・必要を 記載された施設 計画に記載され できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるなる。 できるな。 できるななる。 できるななる。 できるなる。 できるな。 できるななる。 できるななる。 できる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるなななる。 できるなななる。 できるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	せる場合 を関いたは、関いようながら 利力とは意い関いようながら の活用方法等のごと ち-1 た自立化の見込みが したは、関大力 の活用方法等のごと も、(最大32) 田で具体的にご記載	を指します。	(①) Jと回答:      受年度における。      今一般財源の部  事業収入の割合      注は、事業の実施      等からの脳骨      :選択肢>      またはでれ以上      どおりに進捗してい      だおりに進捗してい      できる日始は      ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業運営コスト 合きそれぞれま に伴って得らなと)を指しま を指しま の	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ 一般 こる収入 (商品・サ す。 2 4制 8 3制 9 2制 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (		全てのk 一部のii (P)[達原 学備対 整備する を を を を た う う う な た た う う な た う う な う な う 、 な う 、 な う 、 な う 、 な う 、 を う 、 を う 、 を う 、 を う 、 を う く る う を う 、 を う 、 を う 、 を う を う を う と う と う と う と う と う と う と う	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなうの のお助場が増進 設しても前端・必要を 記しても前端・必要を 記載された施設 計画に記載され できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるなる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるなななる。 できるなななる。 できるななる。 できるななななる。 できるなななる。 できるなななる。 できるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	せる場合 を関いたは、関いようながら 利力とは意い関いようながら の活用方法等のごと ち-1 た自立化の見込みが したは、関大力 の活用方法等のごと あい、 のに のに のに のに のに のに のに のに のに のに	を指します。	(①) Jと回答:      受年度における。      今一般財源の部  事業収入の割合      注は、事業の実施      等からの脳骨      :選択肢>      またはでれ以上      どおりに進捗してい      だおりに進捗してい      できる日始は      ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業運営コスト 合きそれぞれま に伴って得らなと)を指しま を指しま の	(投資に係る支出 理算でお聞かせくだ 一般 こる収入 (商品・サ す。 2 4制 8 3制 9 2制 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	PR談〉 「常に効果的であった」 「何: 「日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	全ての体の内容のでは、 一部の内容を開始する。 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいを にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなうの のお助場が増進 設しても前端・必要を 記しても前端・必要を 記載された施設 計画に記載され できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処が立って できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処ががまる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自処がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できる自然がなる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるもななる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるとなる。 できるなる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるななる。 できるなななる。 できるなななる。 できるななる。 できるななななる。 できるなななる。 できるなななる。 できるなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	世の場合 地区は高い間にようなが 地区は高い間にようなが 東していないような場合 の活用方法等のごと 5-1 た自立化の見込みに た自立化の見込みに のは、(最大3つ) 面で具体的にご記載 あ、(例:「地方割生物	を指します。	(①) Jと回答 全・一般財源の書 事業収入の割 とは、事業の実施 等からの協賛 に 選択肢 と とおりに進捗してい とおりに進捗してい	事業運営コスト 合きそれぞれま に伴って得らなと)を指しま を指しま の	(投資に係る支出 (投資でお開かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4割 (8) 3割 (9) 2割 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	P 業 効果    R 該	全ての体の内容のでは、 一部の内容を開始する。 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいを にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 にいたのでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなったとかなった。 のとしても前端・火変 企としても前端・火変 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	世の場合 地区は高い間にようなが 地区は高い間にようなが 東していないような場合 の活用方法等のごと 5-1 た自立化の見込みに た自立化の見込みに のは、(最大3つ) 面で具体的にご記載 あ、(例:「地方割生物	を指します。	(①) Jと回答 望年度における。 会・一般財源の書 事業収入の割 注 とは、事業の実施 実施がらの協賛 に 選択肢 と とおりに進 持してい と おりに進 持してい し ドライン」、「地方語	事業運営コスト 場合をそれぞれ を い合をそれぞれなど)を指しま の	(投資に係る支出 (投資でお開かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4割 (8) 3割 (9) 2割 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	P 業 効果    R 該	全ての体のPiを開始する。 一部のPiを開始する。 でPiを開始する。 を含む。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなったとかなった。 のとしても前端・火変 企としても前端・火変 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	世の場合 地区は高い間にようなが 地区は高い間にようなが 東していないような場合 の活用方法等のごと 5-1 た自立化の見込みに た自立化の見込みに のは、(最大3つ) 面で具体的にご記載 あ、(例:「地方割生物	を指します。	(①) Jと回答 望年度における。 会・一般財源の書 事業収入の割 注 とは、事業の実施 実施がらの協賛 に 選択肢 と とおりに進 持してい と おりに進 持してい し ドライン」、「地方語	事業運営コスト 場合をそれぞれ を い合をそれぞれなど)を指しま の	(投資に係る支出 (投資でお開かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4割 (8) 3割 (9) 2割 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
(	P 業 効果    R 該	全ての体のPiを開始する。 一部のPiを開始する。 でPiを開始する。 を含む。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなったとかなった。 のとしても前端・火変 企としても前端・火変 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	世の場合 地区は高い間にようなが 地区は高い間にようなが 東していないような場合 の活用方法等のごと 5-1 た自立化の見込みに た自立化の見込みに のは、(最大3つ) 面で具体的にご記載 あ、(例:「地方割生物	を指します。	(①) Jと回答 望年度における。 会・一般財源の書 事業収入の割 注 とは、事業の実施 実施がらの協賛 に 選択肢 と とおりに進 持してい と おりに進 持してい し ドライン」、「地方語	事業運営コスト 場合をそれぞれ を い合をそれぞれなど)を指しま の	(投資に係る支出 (投資でお開かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4割 (8) 3割 (9) 2割 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
(	P 業 効果    R 該	全ての体のPiを開始する。 一部のPiを開始する。 でPiを開始する。 を含む。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなったとかなった。 のとしても前端・火変 企としても前端・火変 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	世の場合 地区は高い間にようなが 地区は高い間にようなが 東していないような場合 の活用方法等のごと 5-1 た自立化の見込みに た自立化の見込みに のは、(最大3つ) 面で具体的にご記載 あ、(例:「地方割生物	を指します。	(①) Jと回答 望年度における。 会・一般財源の書 事業収入の割 注 とは、事業の実施 実施がらの協賛 に 選択肢 と とおりに進 持してい と おりに進 持してい し ドライン」、「地方語	事業運営コスト 場合をそれぞれ を い合をそれぞれなど)を指しま の	(投資に係る支出 (投資でお開かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4割 (8) 3割 (9) 2割 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
(	P 業 効果    R 該	全ての体のPiを開始する。 一部のPiを開始する。 でPiを開始する。 を含む。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなったとかなった。 のとしても前端・火変 企としても前端・火変 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	世の場合 地区は高い間にようなが 地区は高い間にようなが 東していないような場合 の活用方法等のごと 5-1 た自立化の見込みに た自立化の見込みに のは、(最大3つ) 面で具体的にご記載 あ、(例:「地方割生物	を指します。	(①) Jと回答 望年度における。 会・一般財源の書 事業収入の割 注 とは、事業の実施 実施がらの協賛 に 選択肢 と とおりに進 持してい と おりに進 持してい し ドライン」、「地方語	事業運営コスト 場合をそれぞれ を い合をそれぞれなど)を指しま の	(投資に係る支出 (投資でお開かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4割 (8) 3割 (9) 2割 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
	P 業 効果    R 該	全ての体のPiを開始する。 一部のPiを開始する。 でPiを開始する。 を含む。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなったとかなった。 のとしても前端・火変 企としても前端・火変 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	世の場合 地区は高い間にようなが 地区は高い間にようなが 東していないような場合 の活用方法等のごと 5-1 た自立化の見込みに た自立化の見込みに のは、(最大3つ) 面で具体的にご記載 あ、(例:「地方割生物	を指します。	(①) Jと回答 望年度における。 会・一般財源の書 事業収入の割 注 とは、事業の実施 実施がらの協賛 に 選択肢 と とおりに進 持してい と おりに進 持してい し ドライン」、「地方語	事業運営コスト 場合をそれぞれ を い合をそれぞれなど)を指しま の	(投資に係る支出 (投資でお開かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4割 (8) 3割 (9) 2割 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
	P 業 効果    R 該	全ての体のPiを開始する。 一部のPiを開始する。 でPiを開始する。 を含む。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなったとかなった。 のとしても前端・火変 企としても前端・火変 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	世の場合 地区は高い間にようなが 地区は高い間にようなが 東していないような場合 の活用方法等のごと 5-1 た自立化の見込みに た自立化の見込みに のは、(最大3つ) 面で具体的にご記載 あ、(例:「地方割生物	を指します。	(①) Jと回答 望年度における。 会・一般財源の書 事業収入の割 注 とは、事業の実施 実施がらの協賛 に 選択肢 と とおりに進 持してい と おりに進 持してい し ドライン」、「地方語	事業運営コスト 場合をそれぞれ申 を記に伴って得られなど)を指しま (4) 7利 (5) 6利 (6) 5利 いるかについて、 理由	(投資に係る支出 (投資でお開かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4割 (8) 3割 (9) 2割 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合
	P 業 効果    R 該	全ての体のPiを開始する。 一部のPiを開始する。 でPiを開始する。 を含む。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを開始する。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 でPiを用きる。 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でけた目標値を達成 (XP)が目標値に関いた。	はかったもの、親ね成 たたのの、事項が 悪化した。柱人は取 前等の理由により、効が 施設整備計画に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	東外等のためなったとかなった。 のとしても前端・火変 企としても前端・火変 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないます。 にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	世の場合 地区は高い間にようなが 地区は高い間にようなが 東していないような場合 の活用方法等のごと 5-1 た自立化の見込みに た自立化の見込みに のは、(最大3つ) 面で具体的にご記載 あ、(例:「地方割生物	を指します。	(①) Jと回答 望年度における。 会・一般財源の書 事業収入の割 注 とは、事業の実施 実施がらの協賛 に 選択肢 と とおりに進 持してい と おりに進 持してい し ドライン」、「地方語	事業運営コスト 場合をそれぞれ申 を記に伴って得られなど)を指しま (4) 7利 (5) 6利 (6) 5利 いるかについて、 理由	(投資に係る支出 (投資でお開かせくだ 一般 る収入 (商品・サ す。) 2 4割 (8) 3割 (9) 2割 お選びください。	はは除く) に占める さし、 財務の割合

### 図表 1-5 事業実施報告(様式)(3枚目)

製用		3段階評価		事業実施や事業計画
フ 地球ケロルが実現が美しかは、ム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	2	3	反映したか
	実施していない	概ね実施した	確実に実施した	(反映した場合は「C
ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している	0	0	0	
イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズを捉えている ウ. 地域の特色ある資源や強みを活用している	0	0	0	
エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している	0	0	0	
	0	0	0	
カ、スケールメリットや人材・ノウハウ配通のため、複数の地域間で連携している	0	0	0	
事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存組織・ネットワークを活用している	0	0	0	
ク、関係者の役割・責任について明確化している	O	0	O E E E E E E E E E E E	C=7#87+0+1
「事業アイデア・事業手法の検討段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「O」と回答した事項につ	いし、具体的に事業を	<b>長施や事業計画寺にX</b>	けしとのように反映したから	記載くたさい。
事業の具体化段階】				
設問	1	3段階評価 2	3	事業実施や事業計画 反映したか
	実施していない	概ね実施した	確実に実施した	(反映した場合は「C
ケ. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している	0	0	0	
コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している、または知見ある外部専門家から助言を受けている	0	0	0	
サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している	0	0	0	
シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表すKPIを選定し、妥当な水準の目標値を設定している	0	0	0	
		**************************************		
「事業の具体化段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「〇」と回答した事項について、具体的に	B薬美施や事業計画	寺に対してのように反防	<b>火したかご記載くたさい。</b>	
[事業の具体化段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「O」と回答した事項について、具体的にも	<b>事業美施や事業計画</b>	寺に対してのように反時	<b>火したかご記載くたさい。</b>	
	<b>事業実施や事業計画</b>	寺に対してのように反り	<b>火したかご 記載くたさい。</b>	
<b>  単葉の実施・継続段階]</b>		3段階評価		事業実施や事業計画
	日菜実施や事業計画 1 実施していない		現したかご記載くたさい。 3 確実に実施した	事業実施や事業計 反映したか (反映した場合は「C
事業の実施・継続段階]	1	3段階評価 2	3	反映したか
事業の実施・継続段階】	1 実施していない	3段階評価 2 概ね実施した	3 確実に実施した	反映したか
事業の実施・継続段階】 設問 ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている	1 実施していない	3段階評価 2 概ね実施した	3 確実に実施した	反映したか
	1 実施していない ○	3段階評価 2 概ね実施した ○	3 確実に実施した ○	反映したか
事業の実施・継続段階]    設問     ス	1 実施していない ○	3段階評価 2 概ね実施した	3 確実に実施した ○	反映したか
事業の実施・継続段階] 設問  ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている せ. KPIの進捗について定期的に管理している ソ. 庁外に担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している タ. 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を徹成している	1 実施していない ○ ○	3段階評価 2 概ね実施した ○	3 確実に実施した ○ ○	反映にか(反映ルル場合は「C
事業の実施・継続段階] 設問  ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている セ. KPIの進捗について定期的に管理している リ. 庁外に担い手となるキーバーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している タ. 事業の目的・目標で生じつンある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を醸成している チ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている	1 実施していない ○ ○	3段階評価 2 概ね実施した ○	3 確実に実施した ○ ○	反映にか(反映ルル場合は「C
事業の実施・継続段階]    設問     ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている     世.	1 実施していない ○ ○	3段階評価 2 概ね実施した ○	3 確実に実施した ○ ○	反映にか(反映ルル場合は「C
事業の実施・継続段階]    設問     ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている     セ. ドドロ進捗について定期的に管理している     リ. 庁外に担い手となるキーバーソンや、事業を継続的に進めていてマンパワーを確保している     事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を確成している     手. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている     「事業の実施・継続段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「〇」と回答した事項について、具体的	1 実施していない ○ ○	3段階評価 2 概ね実施した ○ ○ ○	3 確実に実施した ○ ○	反映したが(反映した場合は「C
設問   設問   設問   公司   公司   公司   公司   公司   公司   公司   公	1 実施していない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3段階評価 2 概ね実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3 確実に実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	反映したか (反映したか)
設問   設問   表演   表談問   表談問   表談問   表談問   表談問   表談問   表談問   ままま施士体間で定期的にコミュニケーションを行っている   大きい進歩について定期的に管理している   大きい道・ドラットに担い手となるキーバーソンや、事業を継続的に進めていてマンパワーを確保している   事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納   子。 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている   事業の実施・継続段階   において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「〇」と回答した事項について、具体的   事業の評価・改善段階   設問   設問	1 実施していない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3段階評価 2 概ね実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3 確実に実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	反映したか (反映した場合は「C
設問   設問   表演   表談   表談   表談   表談   表談   表談   表談	1 実施していない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3段階評価 2 概ね実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3 確実に実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	反映したか (反映したか)
設問   設問   表演   表談   表談   表談   表談   表談   表談   表談	1 実施していない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3段階評価 2 概ね実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3 確実に実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	反映したか (反映したか)
事業の実施・継続段階]  2. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている せ、 KPLの進捗について定期的に管理している ソ、 庁外に担い手となるキーバーソンや、事業を継続的に進めてい、マンパワーを確保している 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業が比たらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を確成している チ・ 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている 「事業の実施・継続段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「〇」と回答した事項について、具体的 事業の評価・改善段階]  2. 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価検証している デ・ KPLの達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している	1 実施していない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3段階評価 2 概ね実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3 確実に実施した ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	反映したか (反映したか)

### 図表 1-6 事業実施報告(様式)(4枚目)

策立案の方法	[全昌]									
<ol> <li>貴団体が政策</li> </ol>	(本事業)を立案する	にあたって留意した項	目について、お聞かせくた	ごさい。(○はいくつでも)						
₹.	解決課題を発見するた 掲載されている政府統		SAS·V-RESAS、e-S	TATIC	オ. 解決語	果題の選定にあたり、	その課題が行政が	が解決すべき課題	題か確認を行った	
1.	解決課題を発見するな		赴いて、住民の意見を	聞いた		三段の検討にあたり、 類似事例の調査なる。		への参加、専門	引誌や情報誌の	
ウ.	解決課題の検討にあた	こり、地域の実態や二・	-ズの把握を目的とした	現地		・段の検討にあたり、 ・		かを行っている自	治体などへの	
_	訪問調査を実施した					見察を行った				
I.	解決課題の検討にあた アンケート調査を実施				ク. 政策	三段の選定にあたり、	有効性・経済性	<ul><li>・効率性の詳細</li></ul>	な検討を行った	
9-1. 政策立案を	行う上で、具体的に活用	したデータ(及びデー	タベース) があれば、おほ	聞かせください。 (〇はい	くつでも)					
	たデータ(及びデータベー									
₹-	-タ(及びデータベース)(	の活用有無	1	詳細(ウ・エでどのような)	テータを活用したか)	活用方法(どの	ようにデータを活り	用したか)		
	7. RESAS									
	イ. V-RESAS ゥ. e-STATに掲載	***カナいス政府統計	× -							
	オ. 活用していない									
	_		T=1=		/m	uro o extense.	***********			
9-2. 政策立案を	行う上で、収集に困ってい	る、または必要たか人	、手できていないテータか	あれば、こ記載くたさい。	(例:○○のデータがあれ	は○○に沽用できる	5ため提供しては	U( )		
	<b>「オ.活用していない」と回</b> 行う上で、データ(及びデ			_						
MAZE.	11011(1) 7 (20)	7· ( ) E/L/110	といるの主国について、	C 80 90 (72 C V %						
民連携の状況 10. 民間との連携		☑分(産・学・金・労・	言・士・その他)ごとに	お選びください。※その他	の場合は、自由記載欄に	詳細を記載の上、ご	記載ください。			
	産業界	大学	金融機関	労働団体	言論界	士業	その他※自由記	己載		
	MALORE 7 1	7.13	and to A to 4	73100011						
連携内容										
			※複数ある場合は上位	を選択						
	① 事業主体として参詣	<ul><li>(2) 協議会への</li></ul>	参加 (3) 個別							
民理解度 [全員			5-7/4	相談・打合せの実施	④ その他	⑤ 連携なし				
					<ul><li>④ その他</li></ul>	⑤ 連携なし				
	果や外部有識者等会議		公表しているかどうかにこ		<ul><li>④ その他</li></ul>	⑤ 連携なし				
		<	公表しているかどうかにご	かいて、お聞かせください。	<ul><li>④ その他</li></ul>	(多) 連携なし				
11. 本事業の結	果や外部有識者等会議 結果の公表有無	1	公表しているかどうかに (A例:選択肢> 公表している ②	いて、お聞かせください。 公表していない						
11. 本事業の結: 12. 本事業の結:	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議	の結果を地域住民に	公表しているかどうかにて (凡例:選択肢> 公表している ② 周知しているかどうかにつ	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら	びに事業開始後における名		お聞かせください。	。(○はいくつで	t)	
11. 本事業の結: 12. 本事業の結: また、実施し	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業能	の結果を地域住民に 別始前ならびに事業開	公表しているかどうかにこれで、「凡例:選択肢> 公表している ② 周知しているかどうかにこか後における開催数・1	のいて、お聞かせください。  公表していない  のいて、事業開始前なら  労味者数についても併せ	びに事業開始後における名	3手法の実施有無を		。(○はいくつで	も)	
11. 本事業の結: 12. 本事業の結: また、実施! (会議形式の	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業能の場合は、本事業を議題 手法(会議形式)> ※	の結果を地域住民に 制始前ならびに事業開	公表しているかどうかにて (凡例:選択肢> 公表している ② 周知しているかどうかにて 対始後における開催数・1 広報媒体形式の場合	のいて、お聞かせください。  公表していない  のいて、事業開始前なら  労味者数についても併せ	<b>びに事業開始後</b> におけるさ てお聞かせください。 果を定期的に発信している			。(○はいくつで	も)	
11. 本事業の結: また、実施し(会議形式なく周知:	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業ド の場合は、本事業を議題 手法(会議形式) > ※ 事業開始前]	の結果を地域住民に 別始前ならびに事業開 にして取り上げたもの、 ※対面・オンラインを	公表しているかどうかにて、「凡例:選択肢> 公表している ② 周知しているかどうかにて 助始後における開催数・・ 広報媒体形式の場合	かいて、お聞かせください。  公表していない  いて、事業開始前なら  労慈者数についても併せ は、本事業の内容や結婚	びに事業開始後におけるで てお聞かせください。 果を定期的に発信している 【事業開始	3手法の実施有無を ものについてお聞かも	せください。)			(1)
11. 本事業の結: また、実施し(会議形式なく周知:	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業 の場合は、本事業を議題 手法(会議形式)> ※ 事業開始前] 法の実施有無	の結果を地域住民に 制始前ならびに事業開	公表しているかどうかにこれ。 「凡例:選択肢> 「公表している	のいて、お開かせください。  公表していない  いいて、事業開始前なら  労務者数についても併せは、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結	びに事業開始後におけるがでは、 でお開かせください。 果を定期的に発信している 【事業開始 手法の実施	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		回)	も) 累積傍観者数	
11. 本事業の結: また、実施し(会議形式なく周知:	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業 の場合は、本事業を議題 手法(会議形式)> ※ 事業開始前 法の実施有無 ア・ワークショップ	の結果を地域住民に 別始前ならびに事業開 にして取り上げたもの、 ※対面・オンラインを	公表しているからかにて、八月門:選択肢> ②表しているからかにて、回期知しているからかにて、回知しているからかにて、対象体体形式の場合関わない (回) 果料	かいて、お聞かせください。  公表していない  いて、事業開始前なら  労慈者数についても併せ は、本事業の内容や結婚	びに事業開始後における行ってお開かせください。 果を定期的に発信している 「事業開始 手法の実施	格子法の実施有無を はものについてお聞かも <b>後1</b> 有無 シークショップ	せください。)	0)		٨
11. 本事業の結: また、実施し(会議形式なく周知:	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業 の場合は、本事業を議題 手法(会議形式)> ※ 事業開始前] 法の実施有無	の結果を地域住民に 別始前ならびに事業開 にして取り上げたもの、 ※対面・オンラインを	公表しているかどうかにこれ。 「凡例:選択肢> 「公表している	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労能者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	びに事業開始後におけるがでは、 でお開かせください。 果を定期的に発信している 【事業開始 手法の実施	8手法の実施有無を ものについてお聞かも <b>後1</b> 有無 レークショップ い聴会	せください。)	回)		
11. 本事業の結: また、実施し(会議形式なく周知:	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業能 の場合は、本事業を議題 手業開始前 法の実施有無 ア・ワークショップ イ・公聴会	の結果を地域住民に 別始前ならびに事業開 にして取り上げたもの、 ※対面・オンラインを	公表しているかどかにこれのに、 選択後 とましている とましている とましている とましている といるがにないる所能数・作式の場合 関わない (回) 累計 回回 回回 ロー	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労徳者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	びに事業開始後における行 てお開かせください。 果を定期的に発信している  「事業開始 手法の実施 「ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を手法の実施有無を はものについてお聞かせ 後1 有無 ラークショップ いを会 炎討会	せください。)	0		٨
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施 (会議形式、 <b>(周知</b> )	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業能 の場合は、本事業を議題 手達(会議形式) > 3 主義開始前 ア・ワークショップ イ・公聴会 り、検討会	の結果を地域住民は般的ならりに事業開として取り上げたもの、 ※対面・オンラインを制要は関係を対し、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	公表しているかどかにこれ、八例: 選択肢〉 2表しているかどうかにこれをしている 2 同知しているかどうかにこれが自然をはこれが可能をはこれが明確数・化広報媒体形式の場合関わない (回) 累料 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労徳者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	びに事業開始後における名でお聞かせください。 果を定期的に発信している 「事業開始 「事業開始 「事業の実施」 「ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を手法の実施有無を はものについてお聞かせ 後1 有無 ラークショップ いを会 炎討会	せください。)			٨
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施 (会議形式) <周知 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業形 の場合は、本事業を議題 手法(国議形式) > 3 事業開始約1 ア・ワークショップ イ・公聴会 り、検討会 エ・説明会	の結果を地域住民は般的ならりに事業開として取り上げたもの、 ※対面・オンラインを制要は関係を対し、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	公表しているかどかにこれ、八例: 選択肢〉 2表しているかどうかにこれをしている 2 同知しているかどうかにこれが自然をはこれが可能をはこれが明確数・化広報媒体形式の場合関わない (回) 累料 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労徳者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	びに事業開始後における名でお聞かせください。 果を定期的に発信している 「事業開始 「事業開始 「事業の実施」 「ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8手法の実施有無を ものについてお聞かも <b>後1</b> 有無 ロークショップ い聴会 検討会 現明会	せください。)			٨
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施 (会議形式・ <周知 ・ く周知 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 している手法別に、事業能 が場合は、本事業を議題 手葉開始前 一子・フークショップ イ・公聴会 ウ・検討会 エ・説明会 手法 (広報媒体形式) ・実施有無 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「現場を表する。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「は、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「な、までる。 「	の結果を地域住民に 制始的ならびに事業所 はとして取り上げたもの。 ※対面・オンラインを 緊積開催数	公表しているかどかにこれ、八例: 選択肢〉 2表しているかどうかにこれをしている 2 同知しているかどうかにこれが自然をはこれが可能をはこれが明確数・化広報媒体形式の場合関わない (回) 累料 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労徳者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	びに事業開始後における代でお明かせください。 果を定期的に発信している 事業開始 事法の実施 ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を を を を を を を を を を を を を を	素積開催数 (		累積傍観者数	٨
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施 (会議形式・ <周知 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 果でいる手法別に、事業を議師 の場合は、本事業を議師 手業開始前 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・校討会 エ・説明会 手法(広報解体形式) 手業開始前 あ・ホームページ	の結果を地域住民に 制始的ならびに事業所 はとして取り上げたもの。 ※対面・オンラインを 緊積開催数	公表しているからかにこれ、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労徳者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	びに事業開始後における行 でお問かせください。 果を定期的に発信している 「事業開始 手法の実施 「ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を手法の実施有無を はものについてお聞かせ 後1 有無 リークショップ い聴会 終討会 説明会 後1 有無 スームページ	素積開催数 (	0) 0 0 0	累積傍観者数	٨
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施 (会議形式・ <周知 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議的 よている手法別に、事業を議題 野業開始前 ア・ワークショップ イ・公聴会 り、検討会 エ・説明会 王・説明会 手法(広報媒体形式) 野業開始前 ホームページ キ・回覧板	の結果を地域住民に 制始的ならびに事業所 はとして取り上げたもの。 ※対面・オンラインを 緊積開催数	公表しているからかにこれ、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労徳者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	びに事業開始後における行 でお問かせください。 果を定期的に発信している  「事業開始 手法の実施 「ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を を を を を を を を を を を を を を	素積開催数 (	0) 0 0 0	累積傍観者数	٨
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施 (会議形式・ <周知 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議院 よびいる手法別に、事業能 が場合は、本事業を議題 手業開始的 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・検討会 エ・説明会 手法(広報媒体形式) 事業開始的 上、記明会 手法(広報媒体形式) 事業所有無 カ・ホームページ キ・回転 カ・馬板 ク・SNS	の結果を地域住民に 制始的ならびに事業所 はとして取り上げたもの。 ※対面・オンラインを 緊積開催数	公表しているからかにこれ、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労徳者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	でに事業開始後におけるだってお聞かせください。     果を定期的に発信している     「事業開始	を手法の実施有無を (ものについてお聞かせ 後1 有無 () ークショップ () 認会 () 飲付会 説明会 () 選加 () イン・ジョン覧板 () NS	素積開催数 (	0) 0 0 0	累積傍観者数	٨
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施 (会議形式・ <周知 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議院 果で外部有識者等会議院 よび場合は、本事業を 野業開始前 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・検討会 エ・説明会 手法(近軽媒体形式) 手装(既前) 法の実施有無 カ・ 説明会 手、記明会 ま、説明会 ま、説明会 ま、記明会 ま、記明会 の場合は、本事業経 の場合は、本事業経 の場合は、本事業経 の場合は、本事業経 の場合は、本事業経 のまた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の結果を地域住民に 制始的ならびに事業所 はとして取り上げたもの。 ※対面・オンラインを 緊積開催数	公表しているからかにこれ、例:選択接 ン窓している。 ② の開知しているからかにこなりる開始を、 な報媒体形式の場合 関わない  (回)  東村 回 回 回 回 回 回	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労徳者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	びに事業開始後における行 でお聞かせたさい。 果を定期的に発信している 事業の実施 ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8.手法の実施有無を tものについてお聞かせ <u>後1</u> 有無 ワークショップ いき 会 検討会 税明会 <u>後1</u> 有無 トームページ 回覧板 INS 自治体広報	素積開催数 (	0) 0 0 0	累積傍観者数	٨
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施 (会議形式・ <周知 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議院 果でいる手法別に、事業部 「大きな、本事業活動 手達(関始前) 「大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、	の結果を地域住民に 制始的ならびに事業所 はとして取り上げたもの。 ※対面・オンラインを 緊積開催数	公表しているからかにこれ、例:選択接 ン窓している。 ② の開知しているからかにこなりる開始を、 な報媒体形式の場合 関わない  (回)  東村 回 回 回 回 回 回	ひいて、お聞かせください。  公表していない  ひいて、事業開始前なら  労徳者数についても併せは、本事業の内容や結  情傍観者数 (人)	びに事業開始後におけるだってお聞かせぐださい。 果を定期的に発信している 事業開始 手法の実施 ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を	素積開催数 (	0) 0 0 0	累積傍観者数	٨
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施 (会議形式) (会議形式) (会議形式) (周知: (会議形式)	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 果で外部有識者等会議 よている手法 本事業を議題 まは (会議形式) > 3 主要開始前 ア・ワーショップ イ・公聴会 ワ・検討会 エ・説明会 手葉 (広報媒体形式) ・ 翼腕始前 カ・ホームページ キ・回覧検 タ・SNS タ・SNS タ・SNS タ・シャルを報 カ・ホームページ カ・ホームページ カ・ホームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーシ カ・ボームペーン カ・ボームペーン カ・ボームペーン カ・ボームペーン カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム カ・ボーム	の結果を地域住民は 動始的ならび、事業開 として取り上げたもの。 紫精開催数 学精開催数   詳細(その他	公表しているかどかにこれ例:選択接文 小窓している。 ② 別知しているかどかにこから終年における開始を、 広報媒体形式の場合 関わない (回) 果料 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	公表していない かいて、事業開始前なら かいて、事業開始前なら の時報者数についても併せは は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結 人	びに事業開始後における行 でお聞かせたさい。 果を定期的に発信している 事業の実施 ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を	素積開催数 (	0) 0 0 0	累積傍観者数	٨
11. 本事業の結まに、 (会議形式) (会議形式) (会議形式) (周知: [導] (周知: [12-1. 設問127. [12-1. 設問127] (12-1. 設計127] (12-1. 表計127] (12-1. 表計	果や外部有識者等会議	の結果を地域住民は 税齢的ならびに事業限 として取り上げたもの。 ※対面・オンラインを制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	公表しているかどかにこれの、	かって、お聞かせください。  「本表していない」  いて、事業開始前なら  労能者数についても併せ。 は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結  人人  人人  人  人  人  人  人  人  人	びに事業開始後におけるだってお聞かせぐださい。 果を定期的に発信している 事業開始 手法の実施 ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を	素積開催数 (	0) 0 0 0	累積傍観者数	٨
11. 本事業の結まに、 (会議形式) (会議形式) (会議形式) (周知: [導] (周知: [12-1. 設問127. [12-1. 設問127] (12-1. 設計127] (12-1. 表計127] (12-1. 表計	果や外部有識者等会議	の結果を地域住民は 税齢的ならびに事業限 として取り上げたもの。 ※対面・オンラインを制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	公表しているかどかにこれの、	かって、お聞かせください。  「本表していない」  いて、事業開始前なら  労能者数についても併せ。 は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結  人人  人人  人  人  人  人  人  人  人		を	素積開催数 (	0) 0 0 0	累積傍観者数	٨
11. 本事業の結まに、 (会議形式) (会議形式) (会議形式) (周知: [導] (周知: [12-1. 設問127. [12-1. 設問127] (12-1. 設計127] (12-1. 表計127] (12-1. 表計	果や外部有識者等会議	の結果を地域住民は 税齢的ならびに事業限 として取り上げたもの。 ※対面・オンラインを制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	公表しているかどかにこれの、	かって、お聞かせください。  「本表していない」  いて、事業開始前なら  労能者数についても併せ。 は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結  人人  人人  人  人  人  人  人  人  人		を手法の実施有無を はものについてお聞かせ を1 有無 フークショップ 以聴会 を討会 総明会 <b>後1</b> 有無 スームページ 可覧板 NNS 自治体広報 由自アプリ ・の他	なださい。) 緊痛期催数(  薬精期催数(  詳細(その他の	回) 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	架積傍観者数	人人人人人人人
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施に (会議形式)  (周知:  (周知:  (周知:  (周知:  (月別:  (周知:  (月別:  月別:	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 果や外部有識者等会議院 果でいる手法別に、事業を選 野業開始前 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・検討会 エ・説明会 エ・説明会 手業開始前 カ・ホームページ キ・回覧板 ク・SNS ケ・自治体広報 リ・スの他 コ・独自アプリ サ・スの他 は民への周知の	の結果を地域住民に 根始的なられ、事業限 として取り上げたもの。 ※対面・オンラインを「 薬精関催数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	公表しているかどかにこれの、	かって、お聞かせください。  「本表していない」  いて、事業開始前なら  労能者数についても併せ。 は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結  人人  人人  人  人  人  人  人  人  人		を	まください。)  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	回 回 回 回 回 5段階評価 3 558とも いえない	・ 菜積傍観者数	人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施(会議形式) <周知  「選手」  「日本 「	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 果や外部有識者等会議 果でいる手法別に、事業を議題  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の結果を地域住民に 収給的ならパに事業限 にして取り上げたもの。 ※対面・オンラインを「 薬精関催数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	公表しているかどかにこれの、	かって、お聞かせください。  「本表していない」  いて、事業開始前なら  労能者数についても併せ。 は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結  人人  人人  人  人  人  人  人  人  人		8手法の実施有無を ものについてお聞かも <b>後1</b> 有無 マークショップ 公教討会 説明会 <b>後1</b> 有無 マームページ 電力を伝表 は日アプリ の他	学細(その他の 学細(その他の 2 周知の効果は あまりなかった	回) 回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	深積傍観者数  記載)  日本 4 周知の効果は一定程度あった	人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施(会議形式) (会議形式) (周知) (周知) (周知) (月7) (月7) (月7) (月7) (月7) (月7) (月7) (月7	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 果や外部有識者等会議院 果でいる手法別に、事業を選 野業開始前 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・検討会 エ・説明会 エ・説明会 手業開始前 カ・ホームページ キ・回覧板 ク・SNS ケ・自治体広報 リ・スの他 コ・独自アプリ サ・スの他 は民への周知の	の結果を地域住民は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	公表しているかどかにこれの、	かって、お聞かせください。  「本表していない」  いて、事業開始前なら  労能者数についても併せ。 は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結  人人  人人  人  人  人  人  人  人  人		を	まください。)  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	回 回 回 回 回 5段階評価 3 558とも いえない	・ 菜積傍観者数	人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人人
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施(会議形式) (会議形式) (周知) (男知) (月7) (月7) (月7) (月7) (月7) (月7) (月7) (月7	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 果や外部有識者等会議 果でいる手法別に、事業を議題  「要別の場合は、本事業を議題 「要別の場合は、本事業を議題 「要別の場合は、本事業を議題 「要別の場合は、本事業を議題 「要別の場合は、本事業を議題 「要別の場合は、本事業を選題 「要別の場合は、本事業を関始的」 「また」の表現の実施有無 「カ・ホームページ 「本・回覧板 「ク・SNS」 「ク・独自アルーターク。 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「カースージーク。」 「スースージーク。」 「スースースージーク。」 「スースースージーク。」 「スースースー、」 「スースー、」	の結果を地域住民は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	公表しているかどかにこれの、	かって、お聞かせください。  「本表していない」  いて、事業開始前なら  労能者数についても併せ。 は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結  人人  人人  人  人  人  人  人  人  人		8手法の実施有無を ものについてお聞かも <b>後1</b> 有無 マークショップ 公教討会 説明会 <b>後1</b> 有無 マームページ 電域板 にNS 自治体広報 虫自フブリ の他	学細(その他の 学細(その他の はあまりなかった	回) 回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	深積傍観者数  記載)  日本 4 周知の効果は一定程度あった  ○	人 人 人 人 人 人 人 人
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施に会議形式 (会議形式) (周知・ (周知・ (月別・ (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果や外部有識者等会議 果や外部有識者等会議 果でいる手法別に、事業を議 野工ではる手法別と、本事業を議 野工ではる手法別と、本事業を議 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・検討会 エ・説明会 手法(広報媒体形式) 野業開始前 カ・ホームページ キ・回覧板 ク・SNS ケ・独自アルケージ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ カ・ボームページ は、経験手法のいずれかを する地域住民への周知の 民の事業に対する理解展 民人の事業に対する理解展	の結果を地域住民は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	公表しているかどかにこれの、	かって、お聞かせください。  「本表していない」  いて、事業開始前なら  労能者数についても併せ。 は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結  人人  人人  人  人  人  人  人  人  人			学報 (その他の まず細 (その他の まず細 (その他の まず細 (その他の まず細 (その他の まず 細 (その他の まず ぬ まず な まず な まず な まず な まず な まず な まず な	回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	深積傍観者数  記載)  日本報( 国知の効果は 一定程度あった ○	人 人 人 人 人 人 人 人
11. 本事業の結 12. 本事業の結 また、実施に会議形式 (会議形式) (周知: (男別: (男別: (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	果や外部有識者等会議 結果の公表有無 果でいる手法の場合は、本事業を議 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・枝討会 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・枝討会 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・枝討会 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・枝討会 ア・ワークショップ イ・公聴会 ウ・枝討会 ア・ローショップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の結果を地域住民に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	公表しているかどかにこれの、	かって、お聞かせください。  「本表していない」  いて、事業開始前なら  労能者数についても併せ。 は、本事業の内容や結 は、本事業の内容や結  人人  人人  人  人  人  人  人  人  人			学報明修数(  「学報 (その他の  「学報 (本の他の   「学報 (本の他ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	菜積傍観者数   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	人 人 人 人 人 人 人 人

### 図表 1-7 事業実施報告(様式)(5枚目)

### 2000年120日   2000年22日   2000	設問13で議会または外部組織による効果検証の(		① 宇施 た ② 宇施予定 ③ 宇施し	
日本語の中の中の主体を含また。	設問13で議会または外部組織による効果検証の(			ない (予定)
### 177 第2012 以外の場合を担任している。		外部組織による本事業の評価		
認知化の経費が対象を対象を対しているのが、効率性性を行いまたので異似と対して関いて、必動性性であい、(のはくでも)   2、対応的や特別を対している   2、対応的や特別を対している   2、対応的や特別を対している   3、総対ケーチのも成り、定額の「各数では物の連載を把側している   2、対応的や特別を対している   3、総対ケーチのも成り、定額の「各数では物の連載を把側している   2、対応的や特別を対している   3、総対ケーチのも成り、定額の「各数では物の連載を把側している   2、新計算性立ている   3、総対ケーチのも成め、定額の「各数では物の連載を把側している   3、総対ケーチのも成別を表面を対している   3、総対ケーチのも成別を表面を対している   3、総対ケーチのも成別を表面を対している   3、総対ケーチのも成別を表面を対している   3、総対ケーチのも成別を表面を対している   3、総対ケーチのも成別を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を			② 本事業の内容がKPI達成に有効とは言えない、との意見	
(大田・田田)				に計画の字体
② ・		<b>=</b>		
## 13 17 1			<u>—</u>	
議員主て「江東地上上と開発いた以外のあ、影響が任念とい。 をおより外間の風による効果検証の実施に含む、特に工丸した中容から場合に以下して記載くためい。  「公用: 選択扱う  「会社またが外間の風による効果検証の実施である。影響が任念とい。  「会社またが外間の風による効果検証の実施である。影響が任めたとい。  「会社をおより外間の風による効果検証の実施 知かり、上に以下くのよりカデータ収集・活用したが、その分析手法を選択し上上で可能の設置で非常にて記載が正常が正常が正常があった。例、その以外の情報がある。特別・大力・トによ効果の実施が、であり、たっかのより、一般のより、一般のより、一般のような、大力・大きな効果の実施が、であり、その分析・主を選択し上とで可能の設置で非常にて記載が正常が正常を持ている。  「会社よりが外間を加えたが、発生の大力・大きの外の影響が生たとい。  「会社よりが外間を加えため、発酵して水力・加えた。これには、できなが表が実施している。  「会社よりが外間を加えた。」上できからいであり、たったのようなデータ収集・活用したが、その分析・主を選択し上上で可能の設置で非常にて記載がためい。  「会社のの情報を表が、用している」と関す、サース・これには、それでものような関助しておい。(のはいくつき)  「おります」と、現体的に活用したデータ、(のはアータース) かられば、大きながによい。(のはいくつき)  「おります」と、現体的に活用したデータへのような研究を表がます。 「会社のような研究を表がます。 「会社のような研究を表がまます。 「会社のような表がまます。 「会社のような表がまます。 「会社のような表がまます。 「会社のような表が、」 「会社の表が表がまます。 「会社のような表が表が、」 (のはな表がまます。 「会社の表が表がまます。 「会社のような表がまます。 「会社の表が表がまます。 「会社のような表が、」 (のはな表がままます。 「会社の表が表がまます。 「会社の表が表がまます。 「会社の表が表がまます。 「会社の表が表がまます。 「会社の表が表がまます。 「会社のような表が、」 (のはな表がまます。 「会社の表が表がまます。 「会社のような表が、」 (のはなな表がまます。 「会社のような表が、」 (のはなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	エ. 事業における原因・阻害要因を明らかに	している ク. 新計画を立てている		
会主は外領地域により効果検証を決したといた方のみ、起動力化化を払。  過過13で「3 実施したと間高いたに大力の外、起動力化化を払。  過過13で「3 実施したと間高いたに大力の外、起動力化化を払。  過過13で「3 実施したと間高いたに大力の外、起動力化化を払。  (人用: 選択総)  (国際は13で「3 実施したと間高いたの、対力の対象を表しの表現のでは、でしたのでは、1 を担いた。1 をしいた。1 をしいたる1 をしいた。1 をしいたる1	に関する工夫			
### 127.1 (本無化上と開発したと比方のみ、お問かせて定し、				
議会表上が外部国際による効果特別支援した。				
議会表上が外部国際による効果特別支援した。				
議会表上が外部国際による効果特別支援した。	<b>☆問13で「小事施した」と同答いただいた方のみ</b>	お聞かせください。		
図			<凡例:選択肢>	
図   回動型などに近期地上と開発したがありためら、お腹性化を払い。   図さませが発明機能による効果物品の実施・選手、民間のでは高からからあります。	効果検証を通じた事業見	直しの状況		る
### 200 日本の				が図られていない
議会まは公外発出権による効果検証の実施に出た。上に以外ででのようなデータ的収集・活用したが、その分析手法を選択した上で可能の範疇で詳細にご配核がたとい。 (例、2回2年977~トによる効果の把握など  (本の場所を使用している)  (本の場所を使用している。または必要がガルチできていないデータが参加は、ご記載がためい。(例:〇〇のデーが参加は〇〇に活用できるため原用してはしい。)  (本の事業を進めか中で特に苦労したことを連携が大手できていないデータが参加は、ご記載がためい。(例:〇〇のデーが参加は〇〇に活用できるため原用してはしい。)  (本の事業を進めか中で特に苦労したことで連携が必要が対象すできていないデータが参加は、ご記載がためい。(例:〇〇のデーが参加は〇〇に活用できるため原用してはしい。)  (本の事業を進めが中で特に苦労したことで連携が必要が対象するできないとない。(例:〇〇のデーが参加は〇〇に活用できるため原用してはしい。)  (本の事業を進めが中で特に苦労したことで連携が必要が対象するできないとない。(例:〇〇のデーが参加は〇〇に活用できるため原用してはしい。)  (本の事業を進めが中で特に苦労したことで連携が必要が対象するできないとない。(例:〇〇のデーが参加は〇〇に活用できるため原用してはしい。)  (本の事業を進めが中で特に苦労したことで連携が必要が対象するのが表している。(例:〇〇のデーが参加は「のできないを原用してはしい。)  (本の事業を進めが中で特に苦労したことで連携が必要が対象するののできない。(例:○○ののデーののできない。)  (本の事業を進めが中で特に苦労したことで連携が必要が対象するののできない。(例:「中のかまななない」できない。(例:「中のかまなななない」を受いている。(例:○○のできないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	た問13で「①実施した」と回答いただいた方のみ、		S DATE OF THE STATE	
分析手法   日本的な中で表している。	議会または外部組織による効果検証の実施に当た	<ol> <li>上記以外でどのようなデータを収集・活用したか、その分</li> </ol>	<sup>}</sup> 析手法を選択した上で可能な範囲で詳細にご記載ください。	
(人内): 瀬内松 (文内) (文内) (文内) (文内) (文内) (文内) (文内) (文内)		効果の卍握など)		
####################################	分析手法		具体的な内容	
####################################				
無限証を行う上で、具体的に活用したデータ (及びデータペース) があれば、試測がせて含む。(COはいくつでも)  2. 活用したデータ (及びデータペース) について、それぞれどのように活用したが、ご記載などさい。  データ (及びデータペース) の活用有無  「データ (及びデータペース) の活用有無  「ストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストース	<凡例:選択肢> ① 定量分析(KPI除K	)と定性分析を実施している ② 定量分析(KPI除・	() を実施している       ③ 定性分析を実施している       ④ 実施し	ていない
(表現したデータ (及びデータペース) について、それぞれどのように活用したか、ご記載ださい。    データ (及びデータペース) の活用有無   詳細(ウ・エでどのようなデータを活用したか   活用方法(どのようにデータを活用したか   活用方法(どのようにデータを活用したか   活用した   ・	におけるデータ(及びデータベース)の活用 [全員	IJ		
原用方法(どのようにデータを活用したか)  「京、RESAS  イ、V-RESAS  ・ なった。 ・ また日に「機能されている政府経計等  ・ また日の他(地域独自の総計調査やアンケード調査等)  オ・活用していない  「現構に置っている。または必要だが入手できていないデータが参れば、ご記載ください。(例:〇〇のデータが参れば〇〇に活用できるため提供してほしい。)  「現検証を行う上で、収集に置っている。または必要だが入手できていないデータが参れば、ご記載ください。(例:〇〇のデータが参れば〇〇に活用できるため提供してほしい。)  「現検証を行う上で、データ(及びデータへース)を活用していない理由について、ご記載ください。  「現実施証を行う上で、データ(及びデータへース)を活用していない理由について、ご記載ください。  「報に高力したこと、(3つまで) (特にない場合は空機)  「日本の事業を進める中で特に舌労したことや理題だと感じたことを上位から順に最大で3つまで、お遊びください。  「特にない場合は空機)  「日本の事業を進める中で特に舌労したことや理題だと感じたことを上位から順に最大で3つまで、お遊びください。  「日本の事業を進める中で特に舌労したことや理題だと感じたことを上位から順に最大で3つまで、お遊びください。  「日本の事業を進める中で特に舌労したことや見からかけ、「日本の事業を連歩のかけ、「日本の事業を連歩をかけませい。」 「日本の事業を進める中で特に活労したことを表している。 「日本の事業を連歩をかけませい。」 「日本の事業を加速している。 「日本の事業・日本の 「日本の事業・日本の 「日本の事業・日本の 「日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業・日本の事業を表していて、関係を範囲で具体的にご記載ください。 また、改善が実施を検討するにあわっていて、関係を範囲で具体的にご記載ください。 また、改善が実施を持ちた点を力能がなどとい。  お問目もの課題・舌が上たったみよる題かなどだとか。 お題かなださい。 現実は表述した点をお題かなで言いいて、可能な範囲で具体的にご記載ください。 お問目もの課題で言かただいた方のみ、表題かなどださい。			<b>5</b> )	
7. RESAS  7. V-RESAS  9. e-STATIC 掲載されている政府統計等  正 その他 総総論自め続計連音やアンケート調音等)  オ. 活用していない  か単検証を行う上で、収集に困っている。または必要だが入手できていないデータがあれば、ご記載ください。(例:○○のデータがあれば○○に活用できるため提供してほしい。)  か単検証を行う上で、収集に困っている。または必要だが入手できていないデータがあれば、ご記載ください。(例:○○のデータがあれば○○に活用できるため提供してほしい。)  (制定ないと回答していただいた力のみ、お聞かせください。    日本度の事業を進める中で特に苦労したことで課題だと続いたこを上位から順に限大で3つまで、お選びください。  「中央組織を持ち上で、データ (及びデータペース) を活用していない理由について、ご記載ください。    日本度の事業を進める中で特に苦労したことで課題だと続いたことを上位から順に限大で3つまで、お選びください。    「中央組織を持ち上で、データ (及びデータペース) を活用していない理由について、ご記載ください。    「中央組織とない場合は全側)    「中央組織とない場合を開発を開発と続いたことを上位から順に限大で3つまで、お選びください。    「中央組織を持ち上が上で、「日本の場合を開発といるといる場合を開発を開発しているとの調整・金融が、国際のでは、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに	た、活用したデータ(及びデータベース)について、それ	れぞれどのように活用したか、ご記載ください。		
	データ(及びデータベース)の活用有無	詳細(ウ・エでどのようなデータ	を活用したか) 活用方法(どのようにデータを活用したか)	
フ. e-STATに掲載されている政府統計等	ア. RESAS			
正、その他(地域独自の統計調査やアンケー調査等)  オ、活用していない  原検証を行う上で、収集に困っている、または必要だが入手できていないデータがあれば、ご記載ください。(例:○○のデータがあれば○○に活用できるため提供してほしい。)  の関15で「木活用していないと図案していただいた方のみ、お開かせください。  効果検証を行う上で、データ(及びデータペース)を活用していない理由について、ご記載ください。  物に古労したこと、ラータ(及びデータペース)を活用していない理由について、ご記載ください。  物に古労したこと(3つまで)  (特に古り場合は空間)  「中華国産体制の特別 ② 甲基原体制の特別 ② 甲基原体制の自動 ② 甲基原体制の自動 ② 甲基原体制の自動 ② 甲基原体制の自動 ② 甲基原体制の自動 ② 甲基原体制の自動 ② 甲基原体制の自動 ② 甲基原体性に必要・含量形成 ② 甲基原体制に必要・含量形成 ② 甲基原体的に対応 ② 甲基原体的にご記載ください。 ③ 中国原体的にご記載ください。 ② 西京・アナ・根側内(特別・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・	イ. V-RESAS			
カ、活用していない	ウ. e-STATに掲載されている政府紛	計等		
課題15で「木活用していない」と回答していただいた方のみ、お願かせください。   20	エ. その他(地域独自の統計調査やアン	ケート調査等)		
2間15で「木・落用していない」と回答していただいた方のみ、お側かせください。  「現実検証を行う上で、データ(及びデータへ・ス)を活用していない専由について、ご記載ください。  「特に苦労したこと(3つまで) (特に古りしたことや課題だと感じたことを上位から順に最大で3つまで、お選び人ださい。  「特に苦労したこと(3つまで) (特に古り場合は全種) (特に古い場合は全種) (特に古い場合は全種) (特に古い場合は全種) (第一項表達の時間 (2) 「東京組織体験の時間 (3) 「東京組織体験の時間 (3) 「東京組織体験の時間 (4) 「東京組織体験の時間 (4) 「東京組織体験の時間 (4) 「東京組織体験の時間 (4) 「東京組織体験の時間 (5) 「アグ・組織が、(2) 「東京組織体験の時間 (6) 「アグ・組織が、(2) 「アグ・組織が、(2) 「アグ・組織が、(2) 「アグ・組織が、(3) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・収集を (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・	オ. 活用していない	•	<u> </u>	
2間15で「木・落用していない」と回答していただいた方のみ、お側かせください。  「現実検証を行う上で、データ(及びデータへ・ス)を活用していない専由について、ご記載ください。  「特に苦労したこと(3つまで) (特に古りしたことや課題だと感じたことを上位から順に最大で3つまで、お選び人ださい。  「特に苦労したこと(3つまで) (特に古り場合は全種) (特に古い場合は全種) (特に古い場合は全種) (特に古い場合は全種) (第一項表達の時間 (2) 「東京組織体験の時間 (3) 「東京組織体験の時間 (3) 「東京組織体験の時間 (4) 「東京組織体験の時間 (4) 「東京組織体験の時間 (4) 「東京組織体験の時間 (4) 「東京組織体験の時間 (5) 「アグ・組織が、(2) 「東京組織体験の時間 (6) 「アグ・組織が、(2) 「アグ・組織が、(2) 「アグ・組織が、(2) 「アグ・組織が、(3) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・組織が、(4) 「アグ・収集を (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・ルード (4) 「アグ・	効果検証を行うとで、収集に困っている。または必要	ビが3 ギブキアいかいデータがあわげ ご記載/ださい (仮	M・○○のデータがあわげ○○に活用できるため場付してほし、)	
別と検証を行う上で、データ(及びデータベース)を活用していない理由について、ご記載ください。    特に苦労したこと (3つまで) (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (中美地連体制の検討 (2) 早業地音や物の分析 (2) 早業地音が終わりかき有る人材の確保・育成 (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (4) 早業・財政の人の対応 (5) 房制・計201への対応 (5) 房制・計201への対応 (5) 房制・計201への対応 (6) アウ・組織の (4) 手間地を介めまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	MANUAL CITY OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL OF CONTROL	CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF	7. COST TRANSMISSION CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR CONTRACTOR C	
別と検証を行う上で、データ(及びデータベース)を活用していない理由について、ご記載ください。    特に苦労したこと (3つまで) (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (中美地連体制の検討 (2) 早業地音や物の分析 (2) 早業地音が終わりかき有る人材の確保・育成 (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (4) 早業・財政の人の対応 (5) 房制・計201への対応 (5) 房制・計201への対応 (5) 房制・計201への対応 (6) アウ・組織の (4) 手間地を介めまままままままままままままままままままままままままままままままままままま				
別と検証を行う上で、データ(及びデータベース)を活用していない理由について、ご記載ください。    特に苦労したこと (3つまで) (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (特にない場合は空間)   (中美地連体制の検討 (2) 早業地音や物の分析 (2) 早業地音が終わりかき有る人材の確保・育成 (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (3) ビネスモデル・資金制のの終す (4) 早業・財政の人の対応 (5) 房制・計201への対応 (5) 房制・計201への対応 (5) 房制・計201への対応 (6) アウ・組織の (4) 手間地を介めまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	という は 活用していない と回答していただいだ	・方のみ、お聞かせください。		
特に苦労したこと (3つまで) (特にない場合は空間)  (人門 : 選択肢〉  ① 手葉単葉体制の校封 ② 手葉型を対した/リハウをする人材の様化・育成 ② ナジネスモデル・理念部のの検封 ③ セジネスモデル・理念部のの検封 ③ 東葉斯海斯(施設・役割)の検封 ⑤ 原本・非常部への対応 ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (3) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「中の他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載がたさい。    ① この他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載がたさい。    ② この課題・合意形は ② 大田中請事業の場合のみ、選択がたさい。 (5) ※ ② については、共同申請事業の場合のみ、選択がたさい。    ② この中語・合意形は 第一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一ついては、共同申請事業の場合のみ、選択がたさい。    ② 大田中請事業の場合のみ、選択がたさい。 (4) ・ この表が表を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素の中語時点での想定との相違点に対し、事業の実施や(令和2年度内)において、修正・改善により取組を輸進させた点を影響がせください。  ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 説物16の課題・活労といて同意した内容はついて、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 ・ 記述は、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
特に苦労したこと (3つまで) (特にない場合は空間)  (人門 : 選択肢〉  ① 手葉単葉体制の校封 ② 手葉型を対した/リハウをする人材の様化・育成 ② ナジネスモデル・理念部のの検封 ③ セジネスモデル・理念部のの検封 ③ 東葉斯海斯(施設・役割)の検封 ⑤ 原本・非常部への対応 ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (3) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「中の他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載がたさい。    ① この他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載がたさい。    ② この課題・合意形は ② 大田中請事業の場合のみ、選択がたさい。 (5) ※ ② については、共同申請事業の場合のみ、選択がたさい。    ② この中語・合意形は 第一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一ついては、共同申請事業の場合のみ、選択がたさい。    ② 大田中請事業の場合のみ、選択がたさい。 (4) ・ この表が表を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素の中語時点での想定との相違点に対し、事業の実施や(令和2年度内)において、修正・改善により取組を輸進させた点を影響がせください。  ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 説物16の課題・活労といて同意した内容はついて、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 ・ 記述は、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
特に苦労したこと (3つまで) (特にない場合は空間)  (人門 : 選択肢〉  ① 手葉単葉体制の校封 ② 手葉型を対した/リハウをする人材の様化・育成 ② ナジネスモデル・理念部のの検封 ③ セジネスモデル・理念部のの検封 ③ 東葉斯海斯(施設・役割)の検封 ⑤ 原本・非常部への対応 ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (3) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「中の他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載がたさい。    ① この他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載がたさい。    ② この課題・合意形は ② 大田中請事業の場合のみ、選択がたさい。 (5) ※ ② については、共同申請事業の場合のみ、選択がたさい。    ② この中語・合意形は 第一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一ついては、共同申請事業の場合のみ、選択がたさい。    ② 大田中請事業の場合のみ、選択がたさい。 (4) ・ この表が表を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素の中語時点での想定との相違点に対し、事業の実施や(令和2年度内)において、修正・改善により取組を輸進させた点を影響がせください。  ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 説物16の課題・活労といて同意した内容はついて、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 ・ 記述は、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
特に苦労したこと (3つまで) (特にない場合は空間)  (人門 : 選択肢〉  ① 手葉単葉体制の校封 ② 手葉型を対した/リハウをする人材の様化・育成 ② ナジネスモデル・理念部のの検封 ③ セジネスモデル・理念部のの検封 ③ 東葉斯海斯(施設・役割)の検封 ⑤ 原本・非常部への対応 ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (3) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「アウ・組織が、停却・原理・制度課金の。 (4) ⑥ 「中の他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載がたさい。    ① この他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載がたさい。    ② この課題・合意形は ② 大田中請事業の場合のみ、選択がたさい。 (5) ※ ② については、共同申請事業の場合のみ、選択がたさい。    ② この中語・合意形は 第一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一つの意識 ・ 一ついては、共同申請事業の場合のみ、選択がたさい。    ② 大田中請事業の場合のみ、選択がたさい。 (4) ・ この表が表を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素を検討するようたフェンを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載がたさい。 また、改善対策素の中語時点での想定との相違点に対し、事業の実施や(令和2年度内)において、修正・改善により取組を輸進させた点を影響がせください。  ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 設御16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 ・ 説物16の課題・活労といて同意した内容はついて、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 ・ 記述は、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	計12年度の事業を進める中で特に苦労したことや課息	ほだと感じたことを <b>上位から順に</b> 最大で3つまで、お選びくだ		
(特にない場合は空棚)  (八月の・選択肢) (1) 年来無重体が内が対 (2) 年来要素が技術/ソリンを有する人材の操作・育成 (3) ビンネスモデル・資金製のの検対 (4) 年来事業所 (施設・物域外の事業者、住民)との開発・含意形成 (5) 規制・日認すのの財法 (6) 現場来無能は近江投計・工程等の展出 (7) 月外・組織外 (地域か・物域外の事業者、住民)との開発・含意形成 (6) 現場来無能は近江投計・工程等の展出 (7) 月外・組織外 (地域か・物域外の事業者、住民)との開発・含意形成 (6) 現場来無能は、近畿・投資・の財活 (6) 月外・組織外 (特別・原理・財政外等 (6) 月外・組織外 (特別・原理・財政外等 (6) 月外・組織外 (特別・原理・財政外等 (6) 月外・組織外 (特別・原理・財政外等 (7) 月外・組織外 (地域か・事域外の事業者、住民)との開発・含意形成 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (6) 日本の政策 (				
② 「学・組織が、(他師が、受疑の中華語、住民)との開発・会業形の ② 「学・組織が、(他師が、受疑の中華語、住民)との開発・会業形の ② 「学・組織が、(他師が、受疑の中華語、住民)との開発・会業形の ② 「学・組織が、(他師が、受疑の申請・ 日間・ 日間・ 日間・ 日間・ 日間・ 日間・ 日間・ 日間・ 日間・ 日間				
② 早業経営では続わりのを有する人材の確保・育成 ③ マラネモデル・資金額の検討 ④ 平業実験専所(施力・公会)の終封 ⑤ アカ・北部のへの対応 ⑥ アカ・北部のへの対応 ⑥ アカ・北部の「中部・原理・財政政策)との調整・合意形成 ⑥ アカ・北部の (特別・原理・財政政策)との調整・合意形成 ⑥ アカ・北部の (特別・原理・財政政策)との調整・合意形成 ⑥ アカ・北部の (特別・原理・財政政策)との調整・合意形成 ⑥ アカ・北部の (特別・原理・財政政策)との調整・合意形成 ② その他(例・予期もから部準規変化が起こた 等) ※ ② については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。  「他その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載ください。 ② ため (例・予用もから部準規変化が起こた 等) ※ ② については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。  「設問16を回答いただいた方のみ・各間かせください。  「設問16を回答いただいた方のみ・と間かせください。 は、改善対策条を検討するようかことを考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。(例・1地方創生事業実施のためのガイドライン」、地方創生専係交付金の活用事例集りなど) 注)施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中(令和2年度内)において、修正・改善により取組を前進させた点をお聞かせください。  整問16を回答いただいた方のみ・お聞かせください。  数問16を回答いただいた方のみ・お聞かせください。 数問16を回答いただいた方のみ・お聞かせください。 数問16を回答いただいた方のみ・お聞かせください。 数問16を回答いただいた方のみ・お聞かせください。 数問16を回答いただいた方のみ・お聞かせください。 数問16を回答いただいた方のみ・お聞かせください。 数問16を回答いただいた方のみ・お聞かせください。 数問16を回答いただいた方のみ・お聞かせください。			(ラ) 庁外・組締外(地域内・地域外の重要素 住屋) との	調整・合意形成
② 事業事態所 (施設・設備) の終封 ③ 原列・行送可への対応 ⑤ 原列・行送可への対応 ⑥ 行み・組織の (管理) 財政策等)との関を・合意形成  「①その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載ください。  「①その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載ください。  「②またいただいた方のみ、お聞かせください。  設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。  設問16の課題 苦労で1番目に回答した内容に対応して、取組を進めなが修正・改善を行われた場合、もしくは解決できた場合、その内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 また、改善対策素を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。 (例:「他の創生事業実施のためのガイトライン」、「他の創生事業実施のためのガイトライン」、「他の創生事業実施のためのガイトライン」、「他の創生事態などさい。 注)施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中(令和2年度内)において、修正・改画により取組を構造させた点をお聞かせください。  設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。  設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。  設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。  設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。  設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。			⑧ 現場実態を踏まえた設計・工程等の見直し	E H20000
(5) 原動・丹窓切への対応 (6) 下ウ・組織内(幹部、原理、財政課等)との開発・合意形成 (7) 中・組織内(幹部、原理、財政課等)との開発・合意形成 (7) 中・組織内(幹部、原理、財政課等)との開発・合意形成 (7) 中・経験がある。 (8) 下ウ・組織内(幹部、原理、財政課等)との開発・合意形成 (8) 下ウ・組織内(特部、原理、財政課等)との開発・合意形成ださい。 (8) 国16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 (8) 国16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 (8) 国16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 (9) : 地か創生事業未動のためのオイライン」、「地か創生事業未動のためのオイライン」、「地か創生事業未動のためのオイライン」、「地か創生事係交付金の活用事例集力な) 注) 施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中(令和2年度内)において、修正・改善により取組を創進させた。会を制力せて定さい。 (8) : 地か創生事業未動のためのオイライン」、「地か創生事係交付金の活用事例集力な) (2) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
(金) 「ウキ・砂川・ウギが、原は、料飲業等)との関係・合意形成 ※②については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。  「迎その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載ください。  (金) 「のその他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載ください。  (金) 「のその他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載ください。  (金) 「のその他」を選択した場合は、その内容に対応して、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、もしくは解決できた場合、その内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 (金) 「地方創生事業実施の比めのガイドライン」、「地方創生関係交付金の添用事例集」など)  (本) 「他方創生事業実施の比めのガイドライン」、「地方創生関係交付金の添用事例集」など)  (本) 「他方創生事業実施の比めのガイドライン」、「地方創生関係交付金の添用事例集」など)  (本) 「他方創生事業実施の比めのガイドライン」、「地方創生関係交付金の添用事例集」など)  (本) 「他方創生事業実施の比めのガイドライン」、「地方創生関係交付金の添用事例集」など)  (本) 「他方創生事業実施の比めのガイドライン」、「地方創生関係交付金の添用事例集」など)  (本) 「他方創生関係交付金の添用事例集」など)  (本) 「他方創生関係交付金の添用事例集」など)  (本) 「他方創生を開催させた点をお聞かせください。  (本) 「他方創生関係交付金の添用事例集」など、「他方創生関係交付金の添用事例集」など)  (本) 「他方創生を関係などに、「他方創生を表した内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。  (本) 「他方創生を表した内容について、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策素の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。				
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			だかい	
設則16の課題・苦労で1番目に回答した内容に対応して、取組を進めなが修正・改善を行われて場合、もしくは解決できた場合、その内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 また、改善対策案を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。 (例:「地方館士琳集実施のためのガイドライン」「地方館士琳係交付金の適用事例集」はど)注 ) 施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中(令和2年度内)において、修正・改議により取組を前差させた点をお聞かせください。 <b>診問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 診問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。</b>	FOR	19718」で選択した場合は、その内谷を具体的にご記載(7	ICCV 16	
設則16の課題・苦労で1番目に回答した内容に対応して、取組を進めなが修正・改善を行われて場合、もしくは解決できた場合、その内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 また、改善対策案を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。 (例:「地方館士琳集実施のためのガイドライン」「地方館士琳係交付金の適用事例集」はど)注 ) 施設整幅計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中(令和2年度内)において、修正・改画により取組を前差させた点をお聞かせください。 <b>診問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 診問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。</b>	F@7			
設則16の課題・苦労で1番目に回答した内容に対応して、取組を進めなが修正・改善を行われて場合、もしくは解決できた場合、その内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。 また、改善対策案を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。 (例:「地方館士琳集実施のためのガイドライン」「地方館士琳係交付金の適用事例集」はど)注 ) 施設整幅計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中(令和2年度内)において、修正・改画により取組を前差させた点をお聞かせください。 <b>診問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。 診問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。</b>	<u>Γ⊕τ</u>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
注)施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中(令和2年度内)において、修正・改善により取組を前進させた点をお聞かせてださい。		<i>١١</i> <u>.</u>		
登 <mark>間16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。</mark> 設問16の課題 舌労として回答した内容について、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。	. 設問16を回答いただいた方のみ、お問かせくださ 設問16の課題・苦労で1番目に回答した内容に対	†応して、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、ŧ		A <sub>o</sub>
設問16の課題・苦労として回答した内容について、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。	. 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせくださ 説問16の課題・苦労で1番目に回答した内容に対 また、改善対策案を検討するにあたって参考とした	l応して、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、も 青報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。	(例:「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など)	$\Lambda_{o}$
設問16の課題・苦労として回答した内容について、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。	. 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせくださ 設問16の課題・苦労で1番目に回答した内容に対 また、改善対策案を検討するにあたって参考とした	l応して、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、も 青報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。	(例:「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など)	٠١,
設問16の課題・苦労として回答した内容について、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。	. 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせくださ 設問16の課題・苦労で1番目に回答した内容に対 また、改善対策案を検討するにあたって参考とした	l応して、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、も 青報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。	(例:「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など)	·1 <sub>0</sub>
	. 設問16を回答いただいた方のみ、お開かせくださ 説問16の課題・苦労で1番目に回答した内容にか また、改善対策案を検討するにあたって参考とした 注)施設整備計画の申請時点での想定との相違。	Iなして、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、も 青朝についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。 はに対し、事業の実施中(今和2年度内)において、修正・改論に	(例:「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など)	, 1 <sub>0</sub>
注) 施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、今後対応する予定の修正・改善案をお聞かせください。	・ 設問16を回答いただいた方のみ、お開かせくださ 設問16の課題・否労で1番目に回答した内容に求 また、改善対策案を検討するにあたって参考しただ 注)施設整備計画の申請時点での想定との相違を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	I応して、取組を進めなが多修正・改業を行われた場合、も 青報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。 IC対し、事業の実施中(今和2年度内)において、修正・改善( が上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上、本語( 以上 、本語( 以上 、本語( ) 以上 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( ) 、本語( )	(毎:「地方創生期某実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の流用事例集」など) により取組を削減させた点をお聞かせください。	, l <sub>o</sub>

### 図表 1-8 事業実施報告(様式)(6枚目)

	Em [AB]				
	要因 【全員】 業の成功要因について、実施した工夫(	及びその特徴)とともにお聞かっ	せください。(上から重要な順に	:最大3つ)	<凡例:選択肢>
	事例の成功要因				(i) 推進力のある事業主体の形成
	71171M7134				② 部署横断的なコミュニケーションの密な実施による意識の醸成
	実施した工夫及びその特徴				③ 複数担当者による事業の推進
					<ul><li>(4) 民間活力を軸とした官民(民官)協働の推進</li></ul>
_					(5) 着実で実効性のある効果検証による強靭な事業運営
	事例の成功要因				⑥ 地域間連携の充実
					<ul><li>② 政策間連携の充実</li></ul>
	実施した工夫及びその特徴				⑧ 事前の調査、分析による課題の明確化と事業の目指すべき方向付け
					課題の優先順位付けを行い、適切な順序で方策を検討
					適切なKPIの設定
L	事例の成功要因				① 魅力的な地域資源の活用
					② 高い自立性の確保
	実施した工夫及びその特徴				専門的知見を持つた外部人材の活用/外部人材が活躍しやすい環境整備
L					地域人材の育成による事業の自立性、継続性の担保
					国 地域住民の理解と参画、地域ぐるみの機運の醸成
					⑥ データの活用(RESAS・V-RESAS、e-STATIC掲載されている政府統計等)
					砂 その他
17-1. 「地	也方創生関係交付金の活用事例集」の対	。載事例として、本事業を取り.	上げるべきかについて、お聞かせ	ください。	<凡例:選択肢>
	事例の自己推薦				計画を上回る大きな効果を上げた事業として推薦する
L					<ul><li>② 課題解決のための取組内容が他団体の参考となるため推薦する</li><li>③ 課題や苦労が他団体への示唆に富むため推薦する</li></ul>
					おおびいコングが同じは中でのからない。     おおびいの理由により推薦する
IJ⊐n+'n.	イルス感染症の影響 [全員]				
	コロナウイルス感染症による事業への影響	<b>変と事業の進捗状況について、</b>	事業への影響度や今後の方針	を選択した上で可能な範	囲で詳細にご記載ください。
	事業への影響度			旦体	的な内容
	724			2411	***************************************
	<凡例:選択肢> ① 多大な影響を受	ナている	② 一定程度の影響を受	けている	③ 影響を受けていない
_	コロナを踏まえた本事業の今後の方針			5.0	4
	JUTを踏まえた本事業の写使の方針			具体	的な内容
	<凡例:選択肢> ① 事業を継続(コ	1ナ福においても計画通りに事業を継ぎ	売する(または、概ね同内容で継続する	5))	事業の絡小 (コロナの影響に伴い事業を絡小する)
		コナ禍という環境に適応し、取組を更に		(5)	
	③ 事業の改善 (コ		下回ったことから見直し(改善)を行う	(または、行った)) ⑥	事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))
18-1 新	型コロナウイルス感染症の蔓延以降に実施	ー 細、た、本事業における対応内	窓について、お聞かせください。	(()(t)()(**)	
10 1. 4/1.	ア. 現状及び今後(先行き)の再				このコミュニケーション、ワークスタイルの変化への対応
	イ. アフターコロナの環境を踏まえた		1-3/E)/ PERD-0-C/		系者の役割の再定義
-	<ul><li>ウ. アフターコロナでの新たなリスクの</li></ul>		計画) 体制の整備		5場と既存市場の再評価(ニーズ・需要の再確認など)
-	エ. 本事業で提供している製品・サ				ターゲット・付加価値向上策の再検討
			5 (400)		パリ協定を踏まえたコロナからの復興施策の実施(グリーンリカバリー)
				# SDCc#	
-	オ、デジタル技術の導入	- SPICE/I		==	, () my Callot (Callot ) / () / () / () / () / () / () / () /
Ē	オ. テンダル技術の導入 カ. 住民やユーザーの安全・健康へ	の配慮		シ. その他	
		の配慮		==	
18-2. 新	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ		『可能な範囲で詳細にご記載く』	シ. その他 その他の詳細	
18-2. 新	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回		可能な範囲で詳細にご記載くが	シ. その他 その他の詳細 ださい。	
18-2. 新	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ		可能な範囲で詳細にご記載くが	シ. その他 その他の詳細 ださい。	
18-2. 新	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回		・可能な範囲で詳細にご記載く/	シ. その他 その他の詳細 ださい。	
18-2. 新	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回	复状況について、選択した上で	可能な範囲で詳細にご記載 </td <td>シ. その他 その他の詳細 ださい。</td> <td></td>	シ. その他 その他の詳細 ださい。	
	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ 型コロナウイルス感染症からの、事業の回 コロナの影響からの回復有無 < 凡例: 選択肢 > ① 回復海か	复状況について、選択した上で	② 回復できていない	<ul><li>シ. その他 その他の詳細</li><li>ださい。</li><li>具体</li></ul>	的な内容
18-3. 本	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コウカを潜からの回復有無  < 凡例: 選択肢> 事業が新型コロナウイルス感染症への対身 (例: テレフーケ施設整備、子育て拠点	复状況について、選択した上で まや支援として寄与する事例だ を備など)	② 回復できていない	<ul><li>シ. その他 その他の詳細</li><li>ださい。</li><li>具体</li></ul>	的な内容
18-3. 本	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ 型コロナウイルス感染症からの、事業の回 コロナの影響からの回復有無 < 凡例:選択肢〉 ① 回復用か 事業が新型コロナウイルス感染症への対対	复状況について、選択した上で まや支援として寄与する事例だ を備など)	② 回復できていない	シ、その他 その他の詳細 ださい。 - 具体	的な内容
18-3. 本	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コウカを潜からの回復有無  < 凡例: 選択肢> 事業が新型コロナウイルス感染症への対身 (例: テレフーケ施設整備、子育て拠点	复状況について、選択した上で はや支援として寄与する事例だ を確なと)	② 回復できていない	シ、その他 その他の詳細 ださい。 - 具体	的な内容
18-3. 本	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロケの影響からの回復有無 (人間・選択肢) コ (ショニュー・事業が新型コロナウイルス感染症への対象・デレーが施設整備、チ育て拠点) 新型コロナウイルス感染症対策への高	复状況について、選択した上で で で で 支援として 寄与する 事例だ。 と 倫はと う	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を遂	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 様択した上で可能な範囲で	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容
18-3. 本	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロケの影響からの回復有無 (外・選択肢) (1) 回復用からの可能を関係が、デレンーが施設整備、デ育て拠点が、新型コロナウイルス感染症対策への落め、新型コロナウイルス感染症対策への高く、(外・選択肢) (4) まました。	复状況について、選択した上で で で で 支援として 寄与する 事例だ。 と 倫はと う	② 回復できていない	シ、その他 その他の詳細 ださい。 - 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容
18-3. 本1	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロカ影響からの回復有無	复状況について、選択した上で 関わり支援として寄与する事例だ。 を を を を は な と は で を と は で を を を を を を を を を を を を を	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 寄与していない	シ、その他 その他の詳細 ださい。  具体  提択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容
18-3. 本 ( <b>-ドバック</b> ) 19. 地方i	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回 コロナの影響からの回復有無 < 凡例:選択肢	复状況について、選択した上で 対や支援として寄与する事例だ。 を備など) 与 しいて、全国の地方公共団体に	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 番与していない こより報告された「地方創生拠点	シ、その他 その他の詳細 ださい。  具体  提択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容
18-3. 本 ( <b>-ドバック</b> ) 19. 地方i	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロカ影響からの回復有無	复状況について、選択した上で 対や支援として寄与する事例だ。 を備など) 与 しいて、全国の地方公共団体に	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 番与していない こより報告された「地方創生拠点	シ、その他 その他の詳細 ださい。  具体  提択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容
18-3. 本 ( <b>-ドバック</b> ) 19. 地方i	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回 コロナの影響からの回復有無 < 凡例:選択肢	复状況について、選択した上で 対や支援として寄与する事例だ。 を備など) 与 しいて、全国の地方公共団体に	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 番与していない こより報告された「地方創生拠点	シ、その他 その他の詳細 ださい。  具体  提択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容
18-3. 本 イー <b>トバック</b> 19. 地方 として	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロケルを潜からの回復有無 (人間・選択肢) (例:テレフーが施設整備、子育て拠点! 新型コロナウイルス感染症対策へのあ対 (例:テレフーが施設整備、子育て拠点! 新型コロナウイルス感染症対策への高 (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・運用性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係	复状況について、選択した上で 対や支援として寄与する事例だ。 を備など) 与 しいて、全国の地方公共団体に	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 番与していない こより報告された「地方創生拠点	シ、その他 その他の詳細 ださい。  具体  提択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容
18-3. 本 イードバック 19. 地方が として。	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロナの影響からの回復有無 (人用 : 選択陸)	复状況について、選択した上で 気や支援として寄与する事例だ。 を確なと) ち しいて、全国の地方公共団体に して、で変弱があ	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 寄与していない  ② 寄与していない  こより報告された「地方創生拠点  のましたら、ご記載ください。	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 単択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容 のからない 告(様式 2)」の集計・分析を実施しフィードバックレポート
18-3. 本 イードバック 19. 地方が として。	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロケルを潜からの回復有無 (人間・選択肢) (例:テレフーが施設整備、子育て拠点! 新型コロナウイルス感染症対策へのあ対 (例:テレフーが施設整備、子育て拠点! 新型コロナウイルス感染症対策への高 (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・選択肢) (1) 本与して (人間・運用性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係性・関係	复状況について、選択した上で 気や支援として寄与する事例だ。 を確なと) ち しいて、全国の地方公共団体に して、で変弱があ	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 寄与していない  ② 寄与していない  こより報告された「地方創生拠点  のましたら、ご記載ください。	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 単択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容 のからない 告(様式 2)」の集計・分析を実施しフィードバックレポート
18-3. 本 イードバック 19. 地方が として。	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロナの影響からの回復有無 (人用 : 選択陸)	复状況について、選択した上で 気や支援として寄与する事例だ。 を確なと) ち しいて、全国の地方公共団体に して、で変弱があ	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 寄与していない  ② 寄与していない  こより報告された「地方創生拠点  のましたら、ご記載ください。	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 単択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容 のからない 告(様式 2)」の集計・分析を実施しフィードバックレポート
18-3. 本 イードバック 19. 地方が として。	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロナの影響からの回復有無 (人用 : 選択陸)	复状況について、選択した上で 気や支援として寄与する事例だ。 を確なと) ち しいて、全国の地方公共団体に して、で変弱があ	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 寄与していない  ② 寄与していない  こより報告された「地方創生拠点  のましたら、ご記載ください。	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 単択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容 のからない 告(様式 2)」の集計・分析を実施しフィードバックレポート
18-3. 本 イードバック 19. 地方が として。 イドライン、1 20. 内閣//	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ 型コロナウイルス感染症からの、事業の回 コロナの影響からの回復有無 《凡例:選択肢》	复状況について、選択した上で 気や支援として寄与する事例だ。 26億など) 50いて、全国の地方公共団体に についてのご意見・ご要望があ	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を達 ② 寄与していない  こより報告された「地方創生拠点 のましたら、ご記載ください。  刺生関係交付金の活用事例集	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 単択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容 のからない 告(様式 2)」の集計・分析を実施しフィードバックレポート
イードバック 19. 地方が として イドライン、入間 20. 内間	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの、事業の回コロケの影響からの回復有無 (人) (例: デレワーが振沙整備、子育て拠点! 新型コロナウイルス感染症対象へのあり(例: デレワーが振沙整備、子育で拠点! 新型コロナウイルス感染症対象への適当型に対象への適当と呼ば (全員) 別生販点整備交付金事業実施結果に、お知らせしております。フィードバックレポー! お知らせしております。フィードバックレポー! 神から公表しているび 地方創生事業実施	复状況について、選択した上で 対や支援として寄与する事例だ。 を備など) 与 ひいて、全国の地方公共団体に いについてのご意見・ご要望があ のためのガイドライン」や「地方意	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を遂 ② 寄与していない こより報告された「地方創生拠点りましたら、ご記載ください。 刺生関係交付金の活用事例集	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 単択した上で可能な範囲で 具体	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容 のからない 告(様式 2)」の集計・分析を実施しフィードバックレポート
イードバック 19. 地方 として、 イトライン、1 20. 内閣 21. 設定に	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ 型コロナウイルス感染症からの、事業の回 コロナの影響からの回復有無 《凡例:選択肢》	タ状況について、選択した上で 対や支援として寄与する事例だ。 を確なと) ち のいて、全国の地方公共団体に いこいてのご意見・ご要望があ のためのガイドライン」や「地方倉	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を遂 ② 参与していない こより報告された「地方創生拠点 別主以たら、ご記載ください。 別生関係交付金の活用事例集 なる改善 [全員] 内容さご記載ください。	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 選択した上で可能な範囲で 具体 電影備交付金事業実施報	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容 のからない 告(様式 2)」の集計・分析を実施しフィードバックレポート
イードバック 19. 地方 として、 イトライン、1 20. 内閣 21. 設定に	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの。事業の回コロナの影響からの回復有無 (人間・ ) (別の原産を発生) (別・ ) タ状況について、選択した上で 対や支援として寄与する事例だ。 を確なと) ち のいて、全国の地方公共団体に いこいてのご意見・ご要望があ のためのガイドライン」や「地方倉	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を遂 ② 参与していない こより報告された「地方創生拠点 別主以たら、ご記載ください。 別生関係交付金の活用事例集 なる改善 [全員] 内容さご記載ください。	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 選択した上で可能な範囲で 具体 電影備交付金事業実施報	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容 のからない 告(様式 2)」の集計・分析を実施しフィードバックレポート	
(一ドバック) 19. 地方 として、 (トライン、) 20. 内閣 21. 設定!	カ. 住民やユーザーの安全・健康へ型コロナウイルス感染症からの。事業の回コロナの影響からの回復有無 (人間・ ) (別の原産を発生) (別・ ) タ状況について、選択した上で 対や支援として寄与する事例だ。 を確なと) ち のいて、全国の地方公共団体に いこいてのご意見・ご要望があ のためのガイドライン」や「地方倉	② 回復できていない と考えられる場合、その有無を遂 ② 参与していない こより報告された「地方創生拠点 別主以たら、ご記載ください。 別生関係交付金の活用事例集 なる改善 [全員] 内容さご記載ください。	シ、その他 その他の詳細 ださい。 具体 選択した上で可能な範囲で 具体 電影備交付金事業実施報	的な内容 詳細にご記載ください。 的な内容 のからない 告(様式 2)」の集計・分析を実施しフィードバックレポート	

### 1.2 事業実施報告の送付・回収

令和3年9月下旬にメール添付にて、拠点整備交付金事業を実施する全ての地方公共団体担当者宛に、事業実施報告(様式)を送付し、令和3年10月中旬を期限として回答を依頼した。

また、回答内容に関し、明らかな誤記載や項目間の不整合等については、地方公共団体への確認を行い修正を求めた。

### 第2章 事業実施報告の整理・分析

地方公共団体から提出のあった「事業実施報告」の回答結果に基づき、分析を行った。

### 2.1 分析方針

分析は令和4年2月末までに提出された事業実施報告1,768件を対象とした。

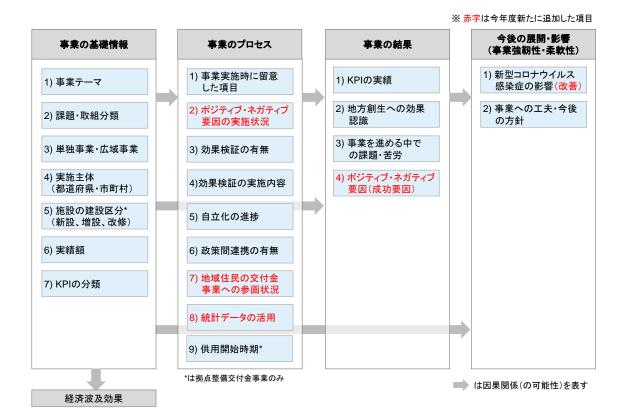
採択件数は 1,835 事業であり、そのうち事業取下げ等を除いた報告対象件数は 1,768 事業であるため、回収率は 100%である。

また、分析は事業実施報告の設問項目の単純集計結果及び項目間のクロス集計結果を基に実施した。その際、各設問項目を以下の大分類に整理した上で、項目間の因果関係にも着目して分析を行った(例:事業のプロセスが事業の結果に与えた影響の分析等)。

- 事業の基礎情報 (2.2.1 参照)
  - 事業テーマ、課題分類別、単独・広域の別、実施主体の別(都道府県・市町村)、 実績額、施設の建設区分
- 事業のプロセス (2.2.2 参照)
  - 事業実施時に留意した項目、効果検証の状況有無・内容、自立化の進捗、政策間 連携の状況
- 事業の結果 (2.2.3 参照)
  - KPIの実績、地方創生への効果認識、事業実施時に感じた課題・苦労
- · 経済波及効果 (2.2.4 参照)

項目間の因果関係を含む分析の全体イメージは以下の通り。

図表 2-1 事業実施報告 分析の全体イメージ



### 2.2 事業実施報告の分析結果

事業の基礎情報、事業のプロセス、事業の結果、今後の展開、経済波及効果について分析 結果を示す。

### 2.2.1 事業の基礎情報

地方公共団体から提出のあった「事業実施報告」の単純集計結果は以下の通り。

図表 2-2 事業実施報告の提出数 (令和4年2月末時点)

※広域事業は、構成地方公共団体がそれぞれ提出

				事業実	施報告の	提出数		
	事業テーマ	単独事 業	広域事 業(代表)	広域事 業(連携)	計	都道府 県事業	市町村 事業	計
A.しごと創生	A-1.ローカルイノベーション	202	5	17	224	116	108	224
	A-2.農林水産	359	1	1	361	203	158	361
	A-3.観光	434	6	4	444	77	367	444
B.地方への	B-1.生涯活躍のまち	63	0	0	63	1	62	63
ひとの流れ	B-2.移住・人材	213	1	1	215	22	193	215
C.働き方改革	C-1.若者雇用対策	7	0	0	7	1	6	7
	C-2.ワークライフバランス	35	0	0	35	2	33	35
D.まちづくり	D-1.小さな拠点	158	0	0	158	6	152	158
	D-2.コンパクトシティ	258	1	2	261	33	228	261
計		1,729	14	25	1,768	461	1,307	1,768

### 1) 事業テーマ別

事業テーマ別では、しごと創生分野(ローカルイノベーション、農林水産、観光)が、 全体の約6割を占める。中でも、観光分野が最も多く、全体の3割弱を占める。働き方 改革分野(若者雇用対策、ワークライフバランス)が最も少なく、全体の2%程度。

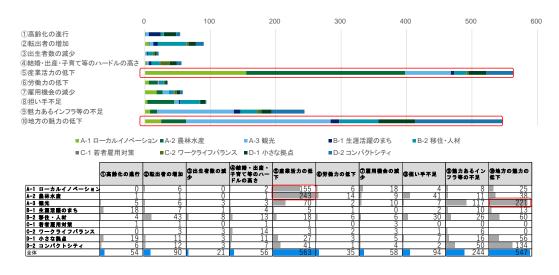
■ A-1 ローカルイノベーション 13% 15% ■ A-2 農林水産 ■ A-3 観光 9% ■ B-1 生涯活躍のまち 総数 20% 1,768 0% ■ B-2 移住・人材 事業 ■ C-1 若者雇用対策 12% ■ C-2 ワークライフバランス ■ D-1 小さな拠点 25%

図表 2-3 事業テーマ別事業数

### 2) 課題分類別

地方公共団体が拠点整備交付金事業において解決したい課題として「産業活力の低下」、「地方の魅力の低下」が多く挙げられ、それらの解決策として選択される事業テーマはローカルイノベーション、農林水産、観光分野が多い。

■ D-2 コンパクトシティ

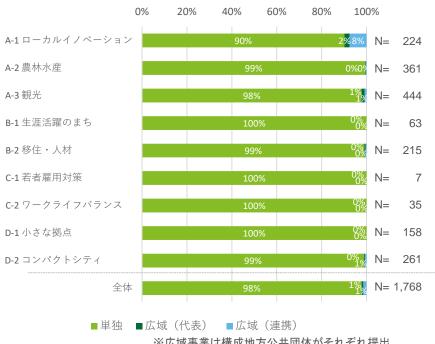


図表 2-4 課題(事業テーマ別)

### 3) 単独事業・広域事業の別

単独/広域別では単独事業が大半を占めている。ローカルイノベーションは広域事業の割合が1割を占め、地域と連携して事業を実施するケースがみられる。

図表 2-5 単独事業・広域事業別の事業数

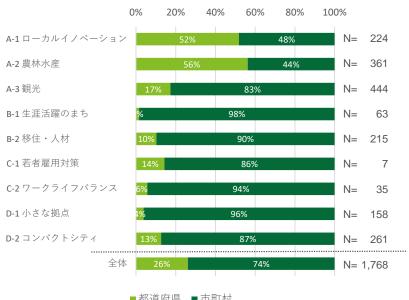


※広域事業は構成地方公共団体がそれぞれ提出

### 4) 事業主体の別

実施主体の別(都道府県、市町村)では、全体の3割弱が都道府県であり、残りが市 町村である。農林水産やローカルイノベーションの分野で都道府県事業の割合が 5~6 割と高い。

図表 2-6 実施主体別の事業数



■都道府県 ■市町村

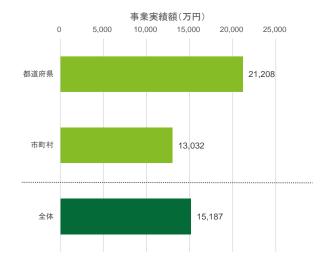
### 5) 事業実績額

1事業当たりの事業実施額(国費単費合計)は平均で1億5,187万円。事業テーマ別では、ローカルイノベーション分野が最も大きく、平均2億1,434万円。

事業実績額(万円) 5000 10000 15000 20000 25000 A-1 ローカルイノベーション 21,434 N= 224 A-2 農林水産 16,081 N= 361 A-3 観光 15,166 N= 444 B-1 生涯活躍のまち 13,463 N= 63 B-2 移住・人材 10,835 N= 215 C-1 若者雇用対策 13,054 7 N= C-2 ワークライフバランス 13,066 N= 35 D-1 小さな拠点 11,609 N= 158 D-2 コンパクトシティ 15,074 N= 261 全体 15,187 N= 1.768

図表 2-7 1事業当たりの事業実績額(事業テーマ別)

実施主体別では、都道府県事業の平均 2 億 1,208 万円に対して、市町村事業は平均 1 億 3,032 万円でおよそ 1.6 倍の開きがある。



図表 2-8 1事業当たりの事業実績額(事業主体別)

### 6) 施設の建設区分別

施設の建設区分(事業テーマ別)は、全体の4割弱が新築である。特に、農林水産分野や若者雇用対策、ワークライフバランス分野で新築の割合が全体の割合と比較して高い。

20% 0% 40% 60% 80% 100% A-1 ローカルイノベーション 28% 13% N= 224 A-2 農林水産 N= 358 A-3 観光 442 B-1 生涯活躍のまち B-2 移住・人材 33% 10% N= 215 C-1 若者雇用対策 7 C-2 ワークライフバランス N= 35 D-1 小さな拠点 9% N= 158 D-2 コンパクトシティ 全体 N= 1,759 ■新築 ■増築 ■改築 ■模様替 ■回答なし ※「建設区分」が未回答の案件(9件)は、試算から除く

図表 2-9 施設の建設区分(事業テーマ別)

### 2.2.2 事業のプロセス

内閣府では、地方創生推進交付金を活用した事業の立案・改善のための手引きとして、平成 29 年度に「地方創生事業実施のためのガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)を作成し、平成 30 年 4 月に公表した(令和 3 年 3 月改訂)。ガイドラインでは、地方創生推進交付金事業に求められる「先導性要素」(自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、地方創生人材の確保・育成、デジタル社会の形成への寄与)を念頭に置いて、事業に取り組むにあたって基本的に踏まえるべきことや、気をつけたい工夫・留意点を掲載することで、地方公共団体による適切な事業実施を促している。

拠点整備交付金事業の実施に当たっても、このガイドラインに沿った事業のプロセスが 求められることから、事業実施報告の中で、事業実施時に留意した項目を質問することによ り、事業のプロセスが適切に実施されているか否かを確認した。具体的には、ガイドライン で定められた「取り組むべきこと」の各項目について実施の有無を質問した。 ガイドラインで定められた「取り組むべきこと」を基に設定した確認項目は以下の通り。

PDCA の段階	取り組むべきこと	事業実施報告における確認項目					
事業アイデア・ 事業手法の検討	課題・ニーズの 共有と明確化	ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題や ニーズを明確化している					
<plan></plan>	定量的・客観的な 分析	イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズ を捉えている					
	地域資源の活用	ウ. 地域の特色ある資源や強みを活用している					
	外部人材・知見の活 用	エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している					
	政策間連携	オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、 団体内の複数部局や様々な分野の民間企業と連携し ている					
	地域間連携	カ. スケールメリットや人材・ノウハウ融通のため、 複数地域間で連携している					
	既存組織・ネット ワークの活用	キ. 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等 の既存組織・ネットワークを活用している					
	関係者の役割・責任 の明確化	ク. 関係者の役割・責任について明確化している					
事業の具体化 <plan></plan>	自走を意識した計画	ケ. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性を もって自走していくことのできるプロセスを明確化 している					
	経営視点からの検証	コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある 人材を活用している、または知見ある外部専門家か ら助言を受けている					
	詳細な工程計画	サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位 等)を策定している					
	適切な KPI 設定	シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表す KPI を 選定し、妥当な水準の目標値を設定している					
事業の実施・継続 <do></do>	主体間コミュニケー ション	ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている					
	こまめな進捗と質の 管理	セ. KPI の進捗について定期的に管理している					
	安定した人材の確保	ソ. 担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している					
	地域の理解醸成を 促す情報提供	タ. 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、 事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業 実施に対する納得感を醸成している					
	地域主体の参加促進	チ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善 に参加できる仕組みをつくっている					
事業の評価・改善 <check action=""></check>	外部による効果検証	ツ. 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価 検証している					
	KPI 未達成の要因 分析	テ. KPIの目標達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している					
	事業改善方針の 明確化	ト. 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移し ている					
	事業改善方針の 反映	ナ. 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に 反映している					

上記のうち「外部による効果検証」については、議会・外部機関それぞれによる効果検証の実施状況について集計し、分析を実施した。また、自立化の進捗について、将来の自立化の見込みや進捗状況について集計し、分析を実施した。

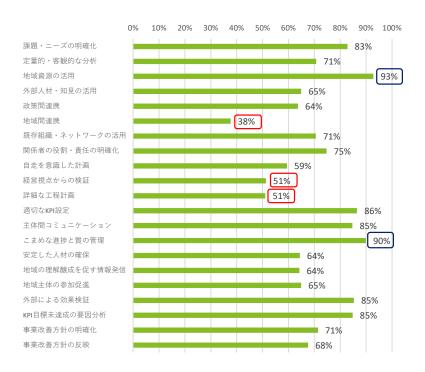
なお、これらの事業のプロセスが事業の結果にどう影響を与えているかについては、次の「事業の結果」の項で分析を行う。

#### 1) 事業実施時に留意した項目

### (ア)全体傾向

「取り組むべきこと」の実施率は、項目別では、「地域資源の活用」、「こまめな進捗と質の管理」の実施率が9割以上と高い。

一方で、単独事業が大半を占めることから、「地域間連携」が低く 4 割弱であった。また、「経営視点からの検証」、「詳細な工程計画」の実施率は全体の約 5 割と比較的低いが、これらの項目は、事業の自立化に向けて重要となる項目である。資金調達の方法や事業採算性など、事業が継続性を持って自走していくことのできるプロセスを明確化することが重要である。



図表 2-10 「取り組むべきこと」の実施状況

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 課題・ニーズの明確化 54% 定量的・客観的な分析 地域資源の活用 78% 外部人材・知見の活用 政策間連携 地域間連携 11% 既存組織・ネットワークの活用 41% 関係者の役割・責任の明確化 22% 自走を意識した計画 経営視点からの検証 26% 詳細な工程計画 **17**% 適切なKPI設定 主体間コミュニケーション こまめな進捗と質の管理 67% 安定した人材の確保 地域の理解醸成を促す情報発信 24% 地域主体の参加促進 外部による効果検証 68%

図表 2-11 「取り組むべきこと」の実施状況 (参考、令和2年度調査結果)

### (イ)事業テーマ別の傾向

KPI目標未達成の要因分析

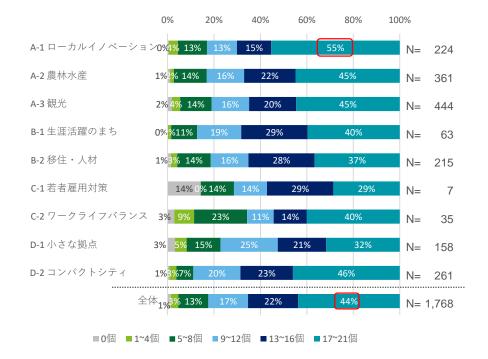
事業改善方針の明確化 事業改善方針の反映

「取り組むべきこと」21 項目の8割以上(17項目以上)を実施した事業の割合は全体の4割強。事業テーマ別ではローカルイノベーション分野でその割合が他テーマより特に大きい。

31%

28%

53%



図表 2-12 実施した取組数 (事業テーマ別)

事業テーマ別の取組内容を見ると、主に以下の特徴がある。

- ・ ローカルイノベーション分野:他分野と比べて「地域間連携」等の実施率が高い。他分野に比べて広域事業の割合が高いこともあり、地域間連携の割合が高いと考えられる。
- ・ 若者雇用対策分野:「定量的・客観的な分析」、「外部人材・知見の活用」、「地域の理解醸成を促す情報発信」が他分野と比べて実施率が高い一方、「業務改善方針の明確化」、「関係者の役割・責任の明確化」等の項目の実施率が低い。
- ・ ワークライフバランス分野:「地域資源の活用」、「地域間連携」、「自走を意識 した計画」の実施率が他分野と比べて低くなっている。テーマの性質上、地域 資源の活用と組み合わせて実施されるケースは少ないものと考えられる。
- ・ 小さな拠点分野:「経営視点からの検証」、「詳細な工程計画」等の実施率が他分野と比べて低い。

図表 2-13 「取り組むべきこと」の実施状況

全体と比べて10ポイント 以上高い項目 全体と比べて10ポイント 以上低い項目

以上四0.4月日										
取り組むべきこと	全体	A-1 ローカル イノベーション	A-2 農林水産	A-3 観光	B-1 生涯活躍 のまち	B-2 移住・ 人材	C-1 若者雇用 対策	C-2 ワークラ イフバランス	D-1 小さな 拠点	D-2 コンパク トシティ
	N=1768	N=224	N=361	N=444	N=63	N=215	N=7	N=35	N=158	N=261
ア. 課題・ニーズの明確化	83%	79%	82%	82%	87%	86%	83%	82%	84%	83%
イ. 定量的・客観的な分析	71%	72%	71%	73%	71%	67%	83%	71%	62%	72%
ウ. 地域資源の活用	93%	95%	95%	95%	87%	91%	83%	68%	84%	95%
エ. 外部人材・知見の活用	65%	67%	65%	67%	68%	59%	83%	64%	52%	71%
才. 政策間連携	64%	69%	58%	64%	69%	60%	50%	64%	61%	70%
力. 地域間連携	38%	51%	44%	39%	34%	34%	33%	21%	27%	28%
キ. 既存組織・ネットワークの活用	71%	77%	71%	69%	73%	63%	50%	75%	67%	74%
ク. 関係者の役割・責任の明確化	75%	71%	78%	75%	73%	75%	50%	67%	73%	76%
ケ. 自走を意識した計画	59%	65%	62%	60%	54%	55%	67%	45%	52%	62%
コ. 経営視点からの検証	51%	59%	49%	56%	56%	44%	50%	42%	33%	57%
サ.詳細な工程計画	51%	61%	53%	49%	45%	50%	33%	45%	37%	54%
シ. 適切なKPI設定	86%	89%	93%	87%	86%	82%	83%	88%	76%	85%
ス. 主体間コミュニケーション	85%	81%	81%	86%	86%	83%	83%	82%	86%	91%
セ. こまめな進捗と質の管理	90%	95%	91%	88%	92%	85%	100%	85%	90%	91%
ソ. 安定した人材の確保	64%	69%	61%	63%	62%	66%	67%	67%	59%	71%
タ. 地域の理解醸成を促す情報発信	64%	70%	69%	61%	65%	63%	83%	63%	54%	65%
チ. 地域主体の参加促進	65%	67%	68%	61%	70%	63%	67%	58%	63%	67%
ツ. 外部による効果検証	85%	90%	84%	84%	86%	90%	83%	82%	82%	82%
テ. KPI目標未達成の要因分析	85%	89%	90%	84%	86%	82%	100%	82%	77%	82%
ト. 事業改善方針の明確化	71%	76%	73%	70%	78%	73%	33%	64%	60%	74%
ナ. 事業改善方針の反映	68%	72%	72%	63%	67%	71%	67%	59%	55%	71%

実施主体別にみると、都道府県と市町村で実施状況に大きな差異が見られる項目はなかった。

図表 2-14 「取り組むべきこと」の実施状況 (実施主体別)

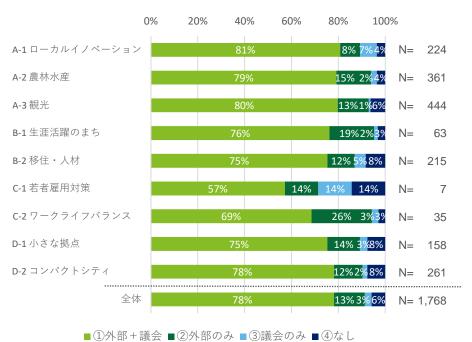
取り組むべきこと	全体	都道府県	市町村	
がか近のようこと	N=1768	N=461	N=1307	
ア. 課題・ニーズの明確化	83%	75%	85%	
イ. 定量的・客観的な分析	71%	72%	70%	
ウ. 地域資源の活用	93%	92%	93%	
エ. 外部人材・知見の活用	65%	62%	66%	
才. 政策間連携	64%	54%	67%	
力. 地域間連携	38%	44%	35%	
キ. 既存組織・ネットワークの活用	71%	69%	71%	
ク. 関係者の役割・責任の明確化	75%	70%	77%	
ケ. 自走を意識した計画	59%	55%	61%	
コ. 経営視点からの検証	51%	44%	54%	
サ. 詳細な工程計画	51%	56%	49%	
シ. 適切なKPI設定	86%	92%	85%	
ス. 主体間コミュニケーション	85%	75%	88%	
セ. こまめな進捗と質の管理	90%	92%	89%	
ソ. 安定した人材の確保	64%	58%	67%	
タ. 地域の理解醸成を促す情報発信	64%	66%	64%	
チ. 地域主体の参加促進	65%	60%	66%	
ツ. 外部による効果検証	85%	84%	86%	
テ. KPI目標未達成の要因分析	85%	89%	83%	
ト. 事業改善方針の明確化	71%	69%	72%	
ナ.事業改善方針の反映	68%	69%	67%	



### 2) 効果検証の状況

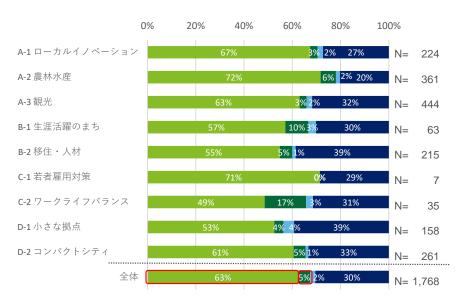
### (ア)事業テーマ別の効果検証の状況

事業テーマ別にみると、全体の 8 割弱の事業が、外部及び議会双方の効果検証を実施(実施予定を含む。)しており、大部分の事業がいずれかの効果検証を行っている。



図表 2-15 効果検証の状況(事業テーマ別)

全体の6割強の事業は、効果検証において改善が必要との指摘はされていない。 効果検証を受けて適切な改善が図られた事業は、全体の5%にとどまる。

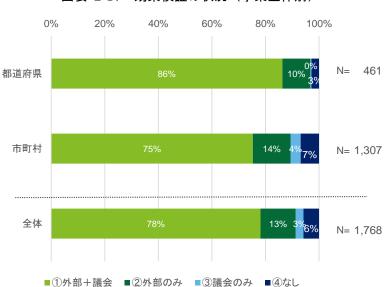


図表 2-16 効果検証を受けた改善(事業テーマ別)

- ■①効果検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている
- ■②効果検証において「改善が必要」との指摘があり、適切な改善が図られている
- ■③効果検証において「改善が必要」との指摘はあったが、現状では適切な改善が図られていない
- ■効果検証未回答

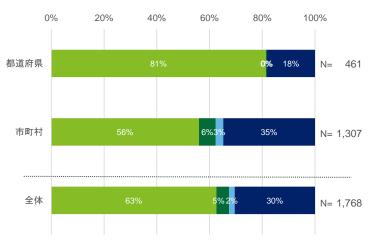
### (イ) 実施主体別の効果検証の状況

都道府県事業は、市町村事業に比べて外部及び議会双方の効果検証を実施(実施 予定を含む。) した割合が高い。



図表 2-17 効果検証の状況(事業主体別)

都道府県事業は、市町村事業に比べて、効果検証における改善の指摘を受けなかった割合が高い。



図表 2-18 効果検証を受けた改善(事業主体別)

- ■①効果検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている
- ■②効果検証において「改善が必要」との指摘があり、適切な改善が図られている
- ■③効果検証において「改善が必要」との指摘はあったが、現状では適切な改善が図られていない
- ■回答なし(効果検証未実施のため)

### 3) 効果検証の実施内容

### (ア) 全体傾向

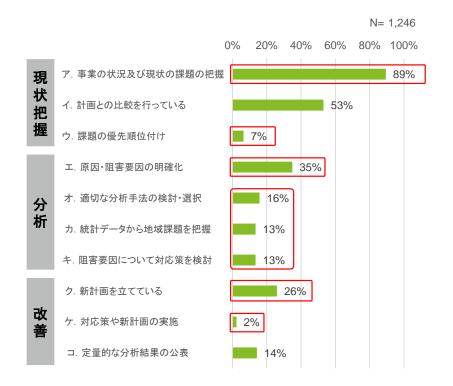
効果検証の実施内容について、「現状把握」、「分析」、「改善」の各プロセスに分けて具体的な効果検証プロセスの実施有無を調査した。

「現状把握」については、「ア.事業の状況及び現状の課題の把握」は約9割の自治体が実施しているが、「ウ.課題の優先順位付け」は7%と低い。「分析」については、「エ. 原因・阻害要因の明確化」を実施している自治体は35%であり、その他の分析項目の実施率は $1\sim2$ 割であった。

「改善」については、「ク. 新計画を立てている」自治体は 26%であるが、「ケ. 対応策や新計画の実施」は 2%に留まった。

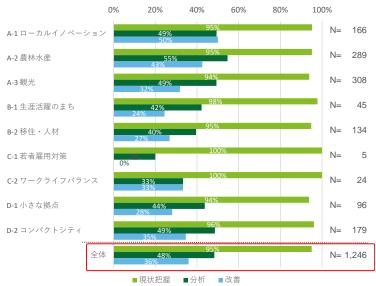
現状把握は大部分の自治体で取り組まれているが、分析や改善の実施は一部の 自治体に留まっていることが示された。

図表 2-19 効果検証プロセスの実施有無



### (イ) 事業テーマ別の傾向

事業テーマ別では、効果検証プロセスの「現状把握」、「分析」、「改善」各プロセスの実施状況について、実施項目を1個以上実施している割合では「現状把握」 95%、「分析」48%、「改善」36%であった。



図表 2-20 効果検証プロセスの実施有無まとめ(事業テーマ別)

注) 外部または議会の効果検証を実施済の自治体のみ対象

#### (ウ) 事業年度別の傾向

現状把握のプロセスについては、「ア.事業の状況及び現状の課題の把握」が、事業初年度では7割強、事業途中では8割強の事業で実施されている。一方で、分析及び改善のプロセスについては、いずれの事業フェーズでも実施率が低い。

現状把握では、課題の把握は行われている割合が高いものの、「ウ.課題の優先順位付け」を実施している事業は少ない。

分析については、「エ.原因・阻害要因の明確化」の実施は3割強程度で、「オ.適切な分析手法の検討・選択」の実施は1割強、「キ.阻害要因について対応策を検討」している割合は2割強であった。

図表 2-21 効果検証プロセスの実施の有無(事業年度別)



※令和2年度実施中の事業について、令和2年度時点で の事業フェーズを「事業初年度」「事業途中」で分類し、効 果検証の実施内容をカウント

# (エ)事業テーマ別の傾向

実施計画時点では、全体の85%の事業で自立化が見込まれている。

テーマ別にみると、農林水産やローカルイノベーションの分野において自立化を 見込む割合が高い。一方で、若者雇用対策、ワークライフバランス、小さな拠点の 分野においては、自立化を見込んでいない割合が比較的高い。

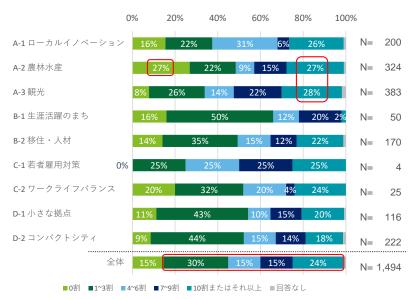
図表 2-22 実施計画時点の自立化の見込み(事業テーマ別)



- ■①あり(事業収入のみで自立) ■②あり(地方公共団体の一般財源負担を含む事業収入以外の収入も含めて自立)
- ■3自立化なし ■回答なし

交付金事業終了の翌年度において事業収入が占める割合の見込みについてみる と、8割以上が事業収入を見込んでいる。

事業テーマ別にみると、農林水産分野では、3割弱の事業が事業収入を見込んでいない一方で、3割弱の事業が事業収入で全ての事業運営コストをカバーできる見込みとなっている。観光分野も同様に、3割弱の事業が事業収入で全ての事業運営コストをカバーできる見込みとなっている。



図表 2-23 事業収入が占める割合(事業テーマ別)

- 注)交付金事業終了の翌年度における、事業運営コスト(投資に係る 支出は除く)に占める事業収入の割合を回答
- 注)事業計画で「自立化の見込みあり」としている事業が集計対象

令和2年度の事業実施を踏まえた自立化の進捗状況について、5割の事業が必要な事業収入を確保できる見込みである。一方で、供用開始から日が浅いまたは供用開始前の事業も多く、1割程度の事業は現時点でこれらの財源確保の目処が立っていない。

テーマ別に比較すると、農林水産、若者雇用対策の分野では、必要な事業収入等 を確保している割合が高い。一方で、若者雇用対策、ワークライフバランス、小さ な拠点の各分野では、2割程度が必要な事業収入を確保できる目処がたっていない。

0% 20% 40% 60% 80% 100% A-1 ローカルイノベーション 34% 5<mark>%2</mark>% N= 200 A-2 農林水産 A-3 観光 B-1 生涯活躍のまち B-2 移住・人材 170 C-1 若者雇用対策 C-2 ワークライフバランス D-1 小さな拠点 D-2 コンパクトシティ N= 222 ■①必要な自主財源等を確保できる目処が立っている ■②必要額の一部を確保できる目処が立っている

図表 2-24 自立化の進捗状況 (事業テーマ別)

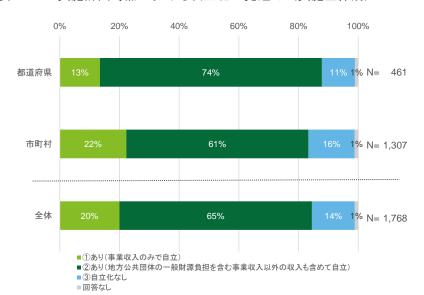
注)事業計画で「自立化の見込みあり」としている事業が集計対象

■③自主財源等を確保できる目処は立っていない

■ ④供用未開始

### (オ) 実施主体別の傾向

都道府県事業において、自立化を見込む割合が市町村事業に比べて高い。

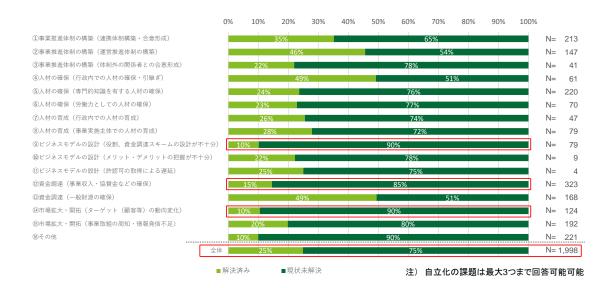


図表 2-25 実施計画時点における自立化の見込み (実施主体別)

### (カ) 自立化の課題

自立化の課題をみると、8割弱の事業において、課題が現状未解決となっている。 なかでも、ビジネスモデル設計(役割、資金調達スキームの設計)、資金調達(事 業収入・協賛金などの確保)、市場拡大・開拓 (ターゲットの動向変化)の課題の 未解決割合が大きかった。

図表 2-26 自立化の課題 (解決済・未解決)

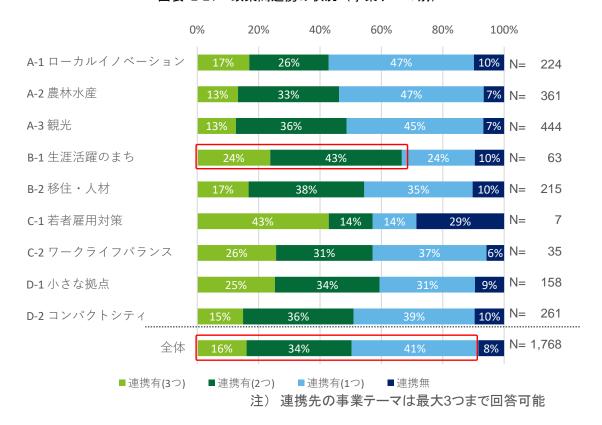


#### 4) 政策間連携の状況

#### (ア) 事業テーマ別の傾向

政策間連携の状況を分析するため、交付金事業において連携する事業テーマ数を調査した結果を以下に示す。

9割以上の事業が、他分野と連携していると回答した。特に、生涯活躍のまちでは、2分野以上と連携している割合が6割を超えており、多角的な政策として展開されている。



図表 2-27 政策間連携の状況(事業テーマ別)

交付金事業の事業テーマ別に、連携先の事業テーマを調査した結果を以下に示す。

全体の傾向として、観光分野が連携先として最も多く、全事業の 3 割弱が観光 分野と連携している。次いで、農林水産、移住・人材の順で多い。

テーマ別では、観光とコンパクトシティの組み合わせが最も多く、その他、観光 と移住・人材、観光と若者雇用対策等の組み合わせも多い。

図表 2-28 連携対象の事業テーマ (※自テーマ間の連携は除く)

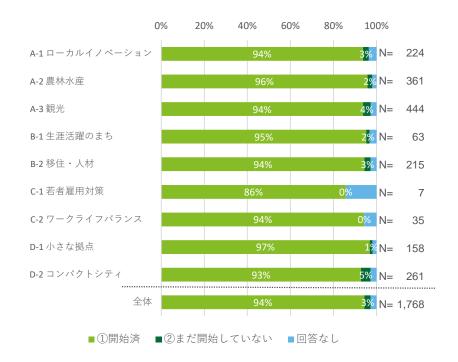
連携元	全体	A-1 ローカル イノベーション	A-2 農林水産	A-3 観光	B-1 生涯活躍の まち	B-2 移住・人材	C-1 若者雇用 対策	C-2 ワーク ライフバランス	D-1 小さな拠点	D-2 コンパクト シティ
連携先	N=1768	N=224	N=361	N=444	N=63	N=215				
A-1 ローカル イノベーション	7%	0%	13%	5%	11%	7%	14%	14%	6%	8%
A-2 農林水産	23%	25%	0%	38%	21%	27%	29%	9%	31%	23%
A-3 観光	29%	16%	31%	0%	38%	46%	43%	14%	37%	65%
B-1 生涯活躍の まち	8%	4%	1%	4%	0%	13%	0%	14%	26%	11%
B-2 移住・人材	14%	39%	12%	11%	14%	0%	14%	37%	14%	12%
C-1 若者雇用 対策	9%	13%	8%	6%	14%	18%	0%	20%	8%	5%
C-2 ワーク ライフバランス	3%	4%	0%	2%	6%	7%	29%	0%	3%	2%
D-1 小さな拠点	4%	1%	2%	3%	14%	4%	0%	6%	0%	8%
D-2 コンパクト シティ	1%	0%	0%	1%	3%	1%	0%	0%	4%	0%

(注) 連携元の事業テーマごとに、連携先として回答された事業テーマ別の事業数(自テーマを除く)を集計し、連携元の事業テーマ総数で除した結果を表示「全体」列については、連携先として回答された事業テーマ別の事業数(自テーマを除く)を集計し、事業総数で除した結果を表示連携先の事業テーマは最大3つまで回答可能

### 5) 供用開始時期

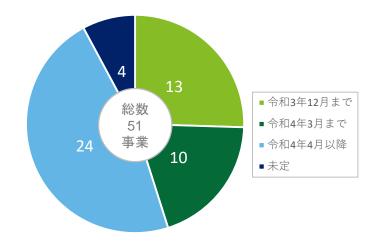
# (ア)事業テーマ別の傾向

事業実施報告時点で全体の9割以上が供用を開始している。



図表 2-29 供用開始状況 (事業テーマ別)

事業実施報告時点で供用を開始していない事業について、供用開始予定時期の 内訳は以下の通り。5割弱が令和3年度内の供用開始を予定している。

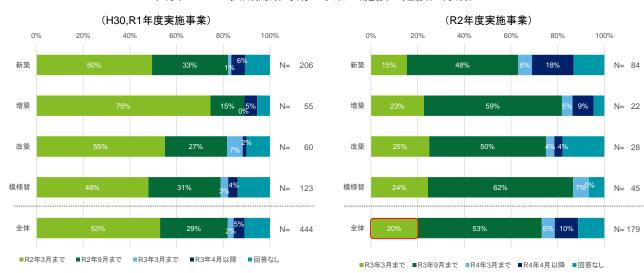


図表 2-30 供用を開始していない事業の供用開始予定時期

# (イ) 施設の建設区分別の傾向

令和 2 年度事業をみると、当該年度内に供用開始した事業は 2 割。建設区分別では、新築においてその割合がやや低い。

また、平成30年度、令和元年度実施事業をみると、令和元年度内に供用開始した事業は5割強。建設区分別では、増築においてその割合が高い。



図表 2-31 供用開始時期の状況 (施設の建設区分別)

## 2.2.3 事業の結果

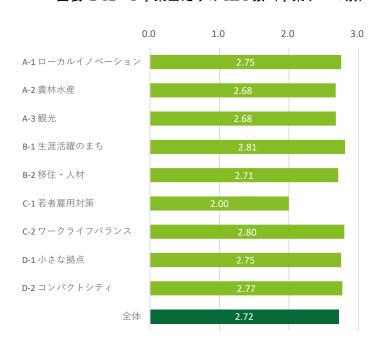
拠点整備交付金事業は、交付金を活用して地方創生の拠点となる施設を整備するものであり、交付金の活用年度は主として施設の建設・改修等が行われている。そのため大半の事業において、事業のアウトプットやアウトカム等の効果が発現するのは、施設が本格的に供用される交付金活用年度の翌年度以降となっている。本調査の対象期間である令和 2 年度事業については、令和 3 年度以降の施設の供用の結果を踏まえて変化する可能性があることに留意が必要である。

#### 1) KPI の実績

### (ア)事業テーマ別の傾向

#### ① KPIの設定状況

1事業当たりの KPI 数は平均 2.7 個であった。事業テーマ別に比較すると、若者雇用対策分野は平均 2.0 個と少なくなっているが、それ以外の分野では、1事業当たりの KPI 数にテーマ別の大きな差異は見られない。



図表 2-32 1 事業当たりの KPI 数 (事業テーマ別)

#### ② KPI の分類

KPI 全体の半数弱が③交付金事業のアウトカムであり、④総合的なアウトカムと合わせると、全体の約 9 割がアウトカム指標となっている。テーマ別では、移住・人材や若者雇用対策分野における④総合的なアウトカムの割合が高く、5割以上を占める。

移住・人材分野では、移住者数の増加などといった KPI が設定されやすく、 これらの KPI は交付金事業以外の既存の施策等による効果も含まれるため、 総合的アウトカムの割合が高いものと考えられる。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% N= 617 A-1 ローカルイノベーション %12% 966 N= A-2 農林水産 N= 1,189 A-3 観光 N= 177 B-1 生涯活躍のまち **%** 12% N= 583 B-2 移住・人材 N= 14 C-1 若者雇用対策 98 C-2 ワークライフバランス N= D-1 小さな拠点 %11% N= 435 D-2 コンパクトシティ N = 723全体 77% N = 4,802**■**①インプット ■②アウトプット

図表 2-33 KPI の分類 (事業テーマ別)

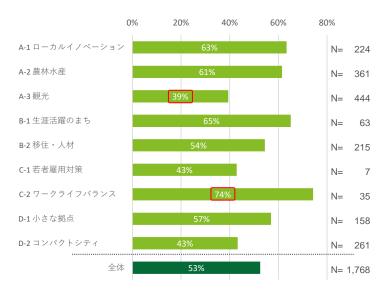
#### ③ KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合

■③交付金事業のアウトカム

少なくとも一つの KPI 目標を達成した事業は、全体の約 5 割であった。テーマ別では、ワークライフバランス分野で達成率が高く、一方で観光分野の達成率は4割弱にとどまる。

■ ④総合的なアウトカム

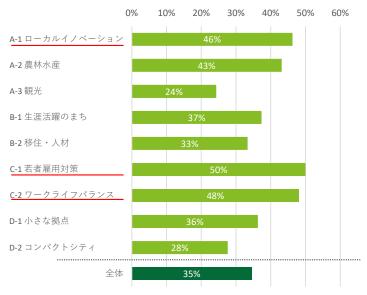
図表 2-34 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(事業テーマ別)



#### ④ 目標値に達した KPI の割合

目標値に達した KPI は全体の 4 割弱。テーマ別では、ローカルイノベーションや若者雇用対策、ワークライフバランス の分野で達成率が高い。一方で、観光、コンパクトシティ分野では達成率が低い。

図表 2-35 目標値に達した KPI の割合 (事業テーマ別)

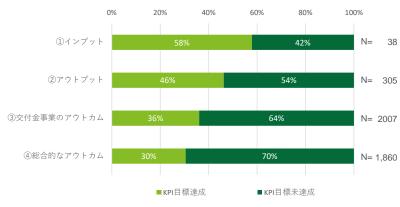


※目標値ゼロ、実績値ゼロの場合は分母から除く

ここで、KPI の分類別の目標達成割合を見てみると、①インプットで 6 割弱、②アウトプットが 5 割弱となっている一方で、④総合的なアウトカムの KPI 目標達成割合は低い結果となっている。

総合的アウトカムは、交付金事業以外の要因にも影響を受けるためその他の KPI に比べて達成率が低いものと考えられる。

なお、KPIの設定では、②アウトプットと③交付金事業のアウトカムの両方が設定されている状態が望ましい。



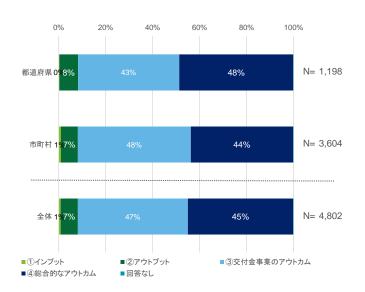
図表 2-36 KPI の分類別の目標達成状況

※目標値ゼロ、実績値ゼロの場合は分母から除く

#### (イ) 実施主体別の傾向

# ① KPIの分類

実施主体別にみると、都道府県事業と市町村事業で、KPI の分類に大きな差異はみられなかった。



図表 2-37 KPI の分類 (実施主体別)

# ② KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合

都道府県事業と市町村事業で KPI 目標を達成した事業の割合に大きな差異はない。

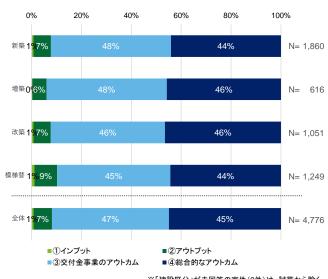
0% 20% 40% 60% 80% 100% 都道府県 53% N= 461 N= 1,307 N= 1,768

図表 2-38 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(実施主体別)

# (ウ) 施設の建設区分別の傾向

## ① KPI の分類

施設の建設区分によって、KPIの分類に大きな差異は見られない。



図表 2-39 KPI の分類 (施設の建設区分別)

※「建設区分」が未回答の案件(9件)は、試算から除く

# ② KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合

施設の建設区分によって、KPI 目標を達成した事業の割合に大きな差異は 見られない。

図表 2-40 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合 (施設の建設区分別)

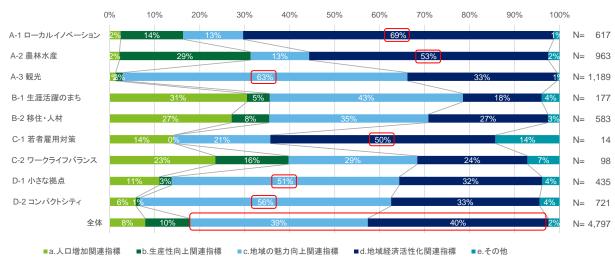


# (エ) KPI の区分と課題との関係

### ① 分野ごとの KPI の区分

KPI の分類について、地域経済活性化関連の指標を設定している割合は、最も多く 40%、次に地域の魅力向上関連の指標が 39%であった。

地域経済活性化関連の指標は、ローカルイノベーション、農林水産、若者雇用対策の分野で多く、地域の魅力向上関連の指標は、観光分野、コンパクトシティ分野で多かった。

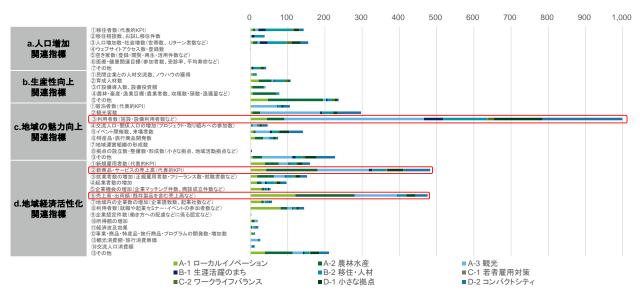


図表 2-41 事業テーマ別設定 KPI の分類

※「KPIの分類」が未回答のKPIは、試算から除く。

設定される KPI としては、利用者数(施設・設備利用者数など)が最も多く、新商品・サービス売上高(代表的 KPI)、売上高・出荷額(既存製品を含む売上高など)が続く。

図表 2-42 KPI の分類



### ② KPIの達成率と課題・取組との関係

自治体の課題・取組の分類別に KPI 目標を達成した事業の割合をみると、 全体では、課題として「④結婚・出産・子育て等のハードルの高さ」や「⑦雇 用機会の減少」を挙げた事業では KPI 達成率が高く、「⑨魅力あるインフラ等 の不足」や「⑩地方の魅力の低下」では KPI の達成率が低い。

課題と取組の組み合わせの傾向をみると、KPI 達成率が高い組み合わせと 低い組み合わせが存在する。

KPI 目標を達成した事業の割合(「自治体の課題・取組」の分類別) 図表 2-43

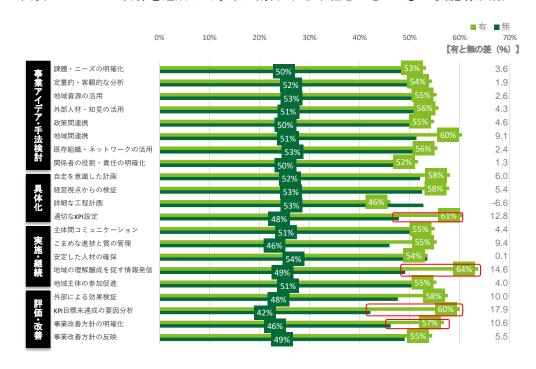
																:比べて 'ント以上 [[目	=		1	全体と比  0ポイン  低い項目	卜以上
											自治	台体の取締	lн								
		全体	a. J	人口を増加	させる耳	文組		b. 生	産性を向	上させる	取組			c. 地域	の魅力を	向上させ	る取組		d. 地域の	)経済を活せる取組	
			①移住促進	②転出防	③子育 て・介護 支援	④施設・ 設備整備	①民間ノ ウハウ活 用	②人材育 成	<ul><li>③情報システム導入</li></ul>	④設備導 入・整備	⑤働き方 改革	⑥高齢者 の雇用促 進	<ul><li>①地域ブランド化</li></ul>	②地域資源の活用 /再注目	③地域間 連携	④拠点の 導入・整 備	知識の継	⑥観光客 の受入れ 体制整備	単の発	②製品・ サービス 開発/販 売促進	③産業創 出支援
_		N=1762	N=78	N=27	N=49	N=33	N=2	N=50	N=17	N=162	N=10	N=6	N=93	N=0	N=8	N=778	N=8	N=55	N=135	N=123	N=117
	①高齢化の進行	53. 7%	57. 1%	20.0%	-	50.0%	-	50.0%	-	-	0.0%	60.0%	-	-	-	66.7%	-	-	0.0%	-	-
	②転出者の増加	55. 6%	52. 8%	44.4%	100.0%	64.3%	-	-	-	-	-	-	66. 7%	-	-	55.6%	-	-	100.0%	0.0%	50.0%
	③出生者数の減少	52. 4%	60.0%	-	45.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0%	-	-	-	-	-
自	④結婚・出産・子育て等の ハードルの高さ	75. 0%	100.0%	100.0%	82.9%	100.0%	-	0.0%	-	-	75. 0%	-	-	-	-	40.0%	-	-	-	-	-
治体	⑤産業活力の低下	57. 9%	66. 7%	0.0%	-	-	100.0%	40.0%	63.6%	69. 1%	100.0%	-	60.0%	-	100.0%	47.7%	-	75.0%	60.0%	51.5%	53.8%
の課	⑥労働力の低下	60.0%	75. 0%	0.0%	-	0.0%	-	75.0%	100.0%	50.0%	100.0%	-	0.0%	-	-	100.0%	-	-	50.0%	-	50.0%
題	⑦雇用機会の減少	74. 1%	100.0%	60.0%	-	-	-	-	-	75. 0%	0.0%	-	100.0%	-	100.0%	80.0%	-	-	70.0%	100.0%	66. 7%
	⑧担い手不足	66.0%	63.6%	50.0%	-	0.0%	-	75.0%	66. 7%	57. 1%	100.0%	-	75. 0%	-	-	76.9%	-	-	63. 2%	100.0%	0.0%
	⑨魅力あるインフラ等の不足	42. 6%	0.0%	0.0%	-	0.0%	-	-	-	-	-	-	50.0%	-	-	43.7%	33.3%	29.4%	75. 0%	71. 4%	28. 6%
	⑩地方の魅力の低下	43. 1%	16. 7%	-	-	75.0%	-	_	-	-	-	100.0%	41.7%	-	60.0%	42.6%	40.0%	36.7%	62. 5%	40.0%	62. 5%

※「自治体の課題」において、未回答が6件

## (オ)事業実施時に留意した項目との関係性

ガイドラインで定められたそれぞれの「取り組むべきこと」について、これを実施した事業と実施しなかった事業とで KPI 目標の達成に違いが生じるかを分析した。その結果、21 項目中 19 項目について、これを実施した事業の方が KPI 目標の達成割合が高い結果となった。

特に、「適切な KPI 設定」、「地域の理解醸成を促す情報発信」、「KPI 目標未達成の要因分析」、「事業改善方針の明確化」といった項目は、実施の有無によって KPI 目標を達成した事業の割合に大きな差が生じており、これらの項目の実施が、KPI 目標の達成に貢献している可能性が考えられる。



図表 2-44 KPI目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施有無別)

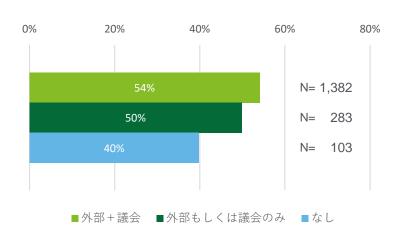
実施した「取り組むべきこと」の項目数別の KPI 目標を達成した事業の割合を見たところ、「取り組むべきこと」の実施数が多いほど KPI 目標を達成した事業の割合が高い傾向がみられた。

350 100% 事業数 90% **─**割合 293 300 80% 目標達成した事業の割合 |前後3値での移動平均値| 250 70% 60% 200 事業数 50% 150 125 127 40% 117 112 102 101 30% 100 83 71 63 20% 49 50 25 10% 0 0個 1個 2個 3個 4個 5個 6個 9個 10個 11個 12個 13個 14個 15個 16個 17個 18個 19個 20個 21個 実施した「取り組むべきこと」の数

図表 2-45 KPI目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施数別)

### (カ) 効果検証の状況との関係性

外部及び議会での効果検証を実施した事業は、外部もしくは議会のみで効果検証を行った事業や効果検証を行わなかった事業と比べて、KPI 目標を達成した割合が高くなっており、効果検証の充実が KPI 目標の達成に寄与していると考えられる。



図表 2-46 KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別)

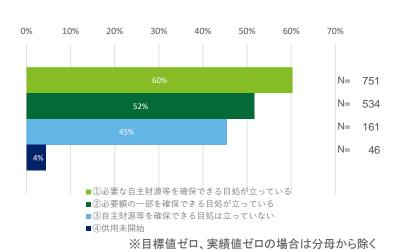
各効果検証のプロセスの実施有無別に KPI 目標の達成割合をみると、特に、ア. 事業の状況及び現状の課題把握、イ. 計画との比較、及びク. 新計画については、 実施の有無が大きく達成率に影響していると考えられる。

40% 50% 55% 65% N= 1,129 ア 事業の状況及び現状の課題を把握してい る N= 639 計画との比較を行っている N= 1,099 N= 81 ゥ 課題の優先順位付けを行っているか 事業における原因・阻害要因を明らかにし ている N= 436 N= 1,332 適切な分析手法を検討し選択している 53% N= 170 統計データ等の証拠から、定量的・客観的 に地域の課題を把握している N= 1.598 N= 324 阻害要因について対応策を検討している ク N= 新計画を立てている N= 1,739 対応策や新計画の実施を行っている N= 355 定量的な分析結果を公表しているか N= 1,413

図表 2-47 KPI 目標を達成した事業の割合(各効果検証のプロセスを実施有無)

#### (キ) 財源確保の進捗との関係性

必要な財源を確保できる、または一部確保できる目途が立っている事業は、確保の目途が立っていない事業と比較して、KPI 目標を達成した事業の割合が高くなっている。目標達成のために必要な財源を確保することが重要と考えられる。



図表 2-48 KPI 目標を達成した事業の割合 (財源確保の進捗状況別)

### 2) 地方創生への効果認識

### (ア)事業テーマ別の傾向

全体の 8 割が地方創生に効果があったと回答し、地方創生に非常に効果的であったと認識された事業は全体の 2 割弱。

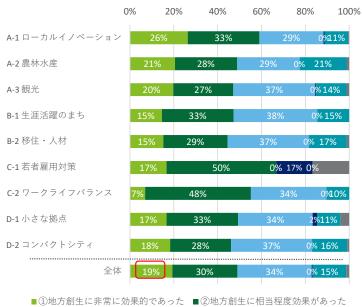
一方で、全体の 15%の事業が効果の有無はまだわからないと回答している。これは、供用開始から間もない事業が多いことが要因として挙げられる。

0% 20% 40% 80% 100% 224 A-1 ローカルイノベーション 22% 33% 0%12% N= 1%14% N= A-2 農林水産 2<mark>% 16%</mark> N= 444 A-3 観光 14% 25% B-1 生涯活躍のまち 0%13% N= 63 B-2 移住・人材 1%11% N= 215 C-1 若者雇用対策 7 C-2 ワークライフバランス 0%14% N= 35 D-1 小さな拠点 25% 2% 18% N= 158 D-2 コンパクトシティ 1% 18% N= 261 全体 1<mark>% 15% N= 1,768</mark> 27%

図表 2-49 地方創生への効果認識の状況 (事業テーマ別)

- ■①地方創生に非常に効果的であった
- ■②地方創生に相当程度効果があった
- ■③地方創生に効果があった
- ■④地方創生に対して効果がなかった
- ■⑤効果の有無はまだわからない
- ■回答なし

図表 2-50 地方創生への効果認識の状況 (参考、令和 2 年度調査結果)



- ■③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ■⑤効果の有無はまだわからない
- ■回答なし

### (イ) 施設の建設区分別の傾向

新築・増築は、その他の建設区分に比べて、地方創生に非常に効果的であったと 回答された割合がやや高い。

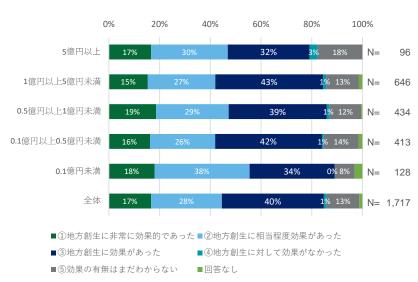
図表 2-51 地方創生への効果認識の状況 (施設の建設区分別の傾向)



- ■①地方創生に非常に効果的であった ■②地方創生に相当程度効果があった
- ■③地方創生に効果があった
- ■④地方創生に対して効果がなかった
- ■⑤効果の有無はまだわからない ■回答なし
  - ※「建設区分」が未回答及び共用未開始事業(9件)は、試算から除く

#### (ウ) 事業費別の傾向

事業費別の傾向を見てみると、事業費によって地方創生への効果認識の状況に大きな差異は見られなかった。地方創生に相当程度効果があったと回答された割合まで含めると、事業費 0.1 億円未満の事業が、地方創生への効果認識が比較的高い。なお、事業費 5 億円以上の事業に関しては、効果の有無はまだわからないと回答された割合が他に比べて大きく、効果の発現までの期間が長いことがうかがえる。



図表 2-52 地方創生への効果認識の状況 (事業費別の傾向)

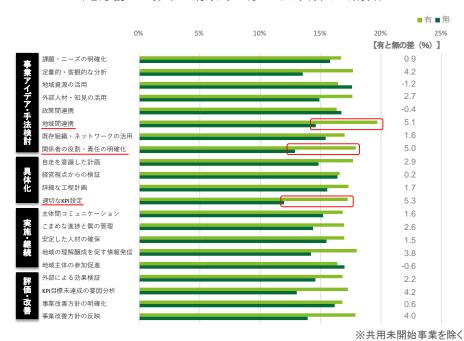
※共用未開始事業を除く

### (エ) 事業実施時に留意した項目との関係性

21項目中18項目について、「取り組むべきこと」を実施した事業の方が地方創生への効果認識が高い。

特に、「地域間連携」、「関係者の役割・責任の明確化」、「適切な KPI 設定」といった項目は地方創生への効果認識に貢献していると考えられる。

図表 2-53 地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施有無別) (地方創生に非常に効果的であったと回答した割合)



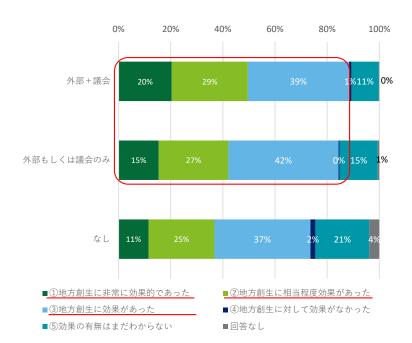
実施した「取り組むべきこと」の項目数別の地方創生に非常に効果的であったと認識された事業の割合を見てみると、概ね、「取り組むべきこと」の実施数が増加するにつれてその割合が高まる傾向。事業プロセスの充実が、地方創生への効果認識に好影響を及ぼしているものと考えられる。

図表 2-54 地方創生への効果認識の状況 (「取り組むべきこと」の実施数別) (地方創生に非常に効果的であったと回答した割合)



#### (オ) 効果検証の状況との関係性

外部及び議会による効果検証を実施している事業は、外部もしくは議会のみで 効果検証を実施している事業と比べて地方創生の効果を認識している割合が高く、 効果検証の充実が地方創生に効果的であると考えられる。



図表 2-55 地方創生への効果認識の状況(効果検証の状況別)

### 3) 事業実施時に感じた課題・苦労

#### (ア) 課題・苦労の内容

①事業推進体制の検討、②事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成、 ⑦庁外・組織外との調整・合意形成に課題・苦労を抱えた事業が多い。それぞれ、 全体(1,768 事業)の 1~2 割程度が課題・苦労があったと回答。また、3 割弱の 事業で「その他」が課題・苦労として挙げられ、新型コロナウイルスの影響が多く 挙げられた。

図表 2-56 課題・苦労の内容



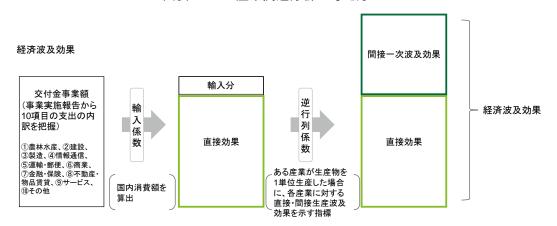
## 2.2.4 経済波及効果

各事業における支出額を基に、拠点整備交付金事業全体としての経済波及効果を産業連 関分析により試算した。なお、ここでは、間接一次波及効果まで試算対象とした。

#### 1) 産業連関分析の考え方

事業実施報告では 13 部門分類を前提としつつ、支出先に分類し難い項目(鉱業、電力等)を「その他」に括り、10 項目の提出を求めた。

その後、「その他」の支出額を 9 項目の比率毎に分配し、13 部門ベースで産業関連分析を実施。算出された鉱業、電力等の波及効果は「その他」として再度整理した。



図表 2-57 産業関連分析の考え方

※輸入係数、逆行列係数は総務省「平成27年産業連関表」の13部門分類表を使用

### 2) 拠点整備交付金事業の経済波及効果

#### (ア) 交付金事業費の支払内訳

本調査の対象とした拠点整備交付金事業の交付金事業総額(国費単費合計)は、約2,486億円。事業テーマ別の交付金事業額の支払先内訳は以下の通り。

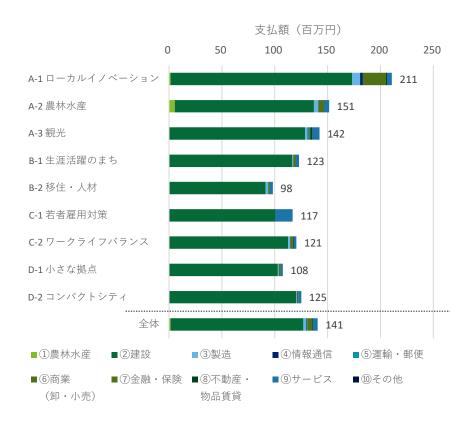
いずれのテーマにおいても、②建設の割合が高く、拠点整備交付金事業費全体の 約9割を占める。

事業テーマ別では、生涯活躍のまち、ワークライフバランス、小さな拠点、コンパクトシティの分野において、特に建設部門への支払割合が高く、95%程度。ローカルイノベーション分野では、商業部門への支払が1割程度ある。

図表 2-58 交付金事業費の支払内訳(事業テーマ別)

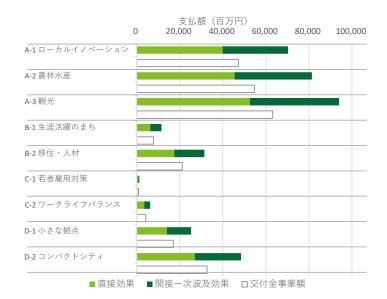
支払額(百万円) 10,000 20,000 30,000 40,000 50,000 60,000 70,000 A-1 ローカルイノベーション A-2 農林水産 54,671 A-3 観光 63,205 B-1 生涯活躍のまち 7,744 B-2 移住・人材 21,111 C-1 若者雇用対策 819 C-2 ワークライフバランス 4,218 D-1 小さな拠点 17,008 D-2 コンパクトシティ 32,653 ■①農林水産 ■②建設 ■3製造 ■ ④情報通信 ■⑤運輸・郵便 ■⑦金融·保険 ■⑧不動産· ■⑨サービス ■⑥商業 ■⑩その他 (卸・小売) 物品賃貸

図表 2-59 1事業当たりの交付金事業費の支払内訳(事業テーマ別)



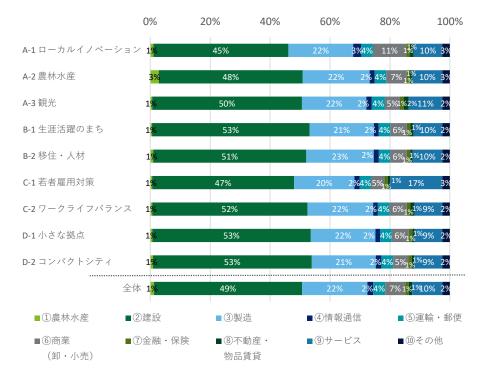
#### (イ) 経済波及効果

交付金事業の直接効果及び間接一次波及効果の合計は、いずれのテーマでも交付金事業費の 1.5 倍程度。



図表 2-60 交付金事業費及びそれに対する直接効果、間接波及効果

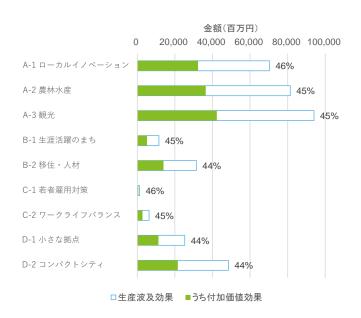
経済波及効果の部門別内訳を見ると、建設部門の経済波及効果が大きく、概ね全 てのテーマで 5 割程度を占める。次いで、製造、サービスの各部門が大きい。



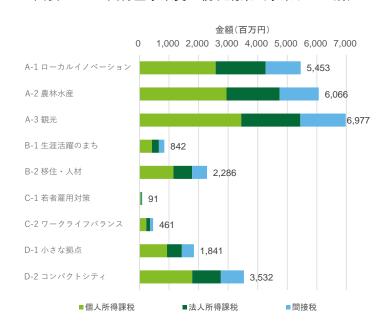
図表 2-61 経済波及効果の部門別内訳

交付金事業費の付加価値効果は、いずれのテーマにおいても、生産波及効果(直接効果+間接一次波及効果)の 4~5 割程度。交付金事業費の税収効果(個人所得課税+法人所得税+間接税)は、いずれのテーマにおいても、交付金事業費の約 1 割、生産波及効果の 7%程度。

図表 2-62 交付金事業費の付加価値効果 (事業テーマ別)



図表 2-63 交付金事業費の税収効果(事業テーマ別)



# 第3章 事例研究

## 3.1 事例研究の対象とする事例の抽出

分析対象とした拠点整備交付金事業 1,768 事業の中から、以下の観点を考慮して詳細調 査対象とする 36 事例を抽出した。

さらに、詳細調査の結果及び有識者からの意見等を踏まえて、36 事例の中から代表的事例を計9事例選定し、ヒアリング調査の対象とした。なお、昨年度同様今年度のヒアリング調査についても、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、主にオンライン会議のツールを活用してリモートでヒアリングを実施した。

### 1) 水平展開すべき特徴的な事業

- ・ 6つの先導性要素(自立性、官民協働、政策間連携、地域間連携、事業推進主体 の形成、地方創生人材の確保・育成)に関して特徴的な取組を実施している事業
- ・ 事業実施報告において、事例集の掲載事例として自己推薦された事業
- ・ 「地方創生拠点整備交付金の交付対象事業における特徴的な取組事例」に掲載されている事業
- ・ Society 5.0 等の最新技術を活用した事業
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響への対策や支援を行う事業
- ・ 事業実施前後において、事業に対する地域住民の理解醸成に努めており、その内 容が特徴的な事業

#### 2) 進捗が芳しい、もしくは前向きに取り組んでいる事業

- ・ 事業実施報告において、KPI(交付金事業のアウトカム、もしくは総合的なアウトカム)の実績値が目標値を上回る事業
- ・ 事業実施報告において、事業の工夫点が詳述されており、内容が特徴的な事業
- ・ 事業実施報告において、交付金事業が地方創生に「非常に効果的であった」もし くは「相当程度効果があった」と回答した事業

# 3) 適切な事業実施プロセスを踏んでいる事業

- ・ 事業実施報告において、「取り組むべきこと」21項目の多くに留意した事業
- ・ 事業実施報告において、計画策定時に KPI 達成に貢献する工夫が多く行われている事業
- ・ 事業実施報告において、事業計画〜実施〜効果検証段階のいずれかにおいて、定 量的・客観的データの活用を行っている事業
- ・ 実効的な効果検証(計9項目)の多くを実施しており、効果検証に関する工夫が 詳細に示されている事業

事業分野別の詳細調査対象事例数、ヒアリング調査対象事例数は以下の通り。

図表 3-1 事業テーマ別事業数

		調査対象	象事例数
事業分野	事業テーマ	詳細調査対象	ヒアリング調 査対象 (内数)
	A-1 ローカルイノベーション	6	1
A. しごと創生	A-2 農林水産	4	1
	A-3 観光	4	1
B. 地方への人の流れ	B-1 生涯活躍のまち	4	1
B. 地方への入り流れ	B-2 移住・人材	4	1
C. 働き方改革	C-1 若者雇用対策	2	1
し. 側さ万以中	C-2 ワークライフバランス	4	1
D ++ 32 h	D-1 小さな拠点	4	1
D. まちづくり	D-2 コンパクトシティ	4	1
	合計	36	9

# 3.2 詳細調査の実施

# 3.2.1 詳細調査の実施

詳細調査では、以下に示す調査票を作成のうえ、対象となる地方公共団体に情報提供を依頼した。その後、電話やメール等により以下の項目について確認を行った。

図表 3-2 詳細調査における確認項目

確認項目①	•	ポジティブ・ネガティブ要因の検証
		マネジメントサイクルの各段階の実施事項、工夫
		それによる効果
確認項目②		関与した部署、職員数
		事業の実施主体
確認項目③		KPI 指標の考え方
		目標値設定の考え方
確認項目④	•	KPI 指標以外の定量的・客観的データ活用
確認項目⑤		KPI 指標に限らない交付金事業の地方創生への効果
確認項目⑥		効果検証の実施状況
		効果検証時点の KPI 等事業進捗状況
確認項目⑦		新型コロナウイルス感染症の影響
確認項目⑧		事業に対する住民理解度の醸成方法
確認項目⑨	•	地域経済への効果 (地元事業者への支払額)

### 図表 3-3 事前情報照会票(様式)(1枚目)

#### 地方創生拠点整備交付金事業の効果検証に関する調査 調査票

本調査では、地方創生拠点整備交付金事業の実施報告の内容に鑑み、いくつかの事業を対象として、調査を実施します。 本情報照会では、貴団体の実施した以下の事業を対象として、取組の示唆やコッ・留意事項等を抽出・整理することを目的としています。 なお、ご回答内容について、後日お電話等で確認させていただく場合がありますが、あらかじめご了承いただけますと幸いです。

~~ 以下 回答欄 ~~

地方公共団体名	テーマ	事業名

: 記述式 : プルダウン選択式

#### 1. マネジメントサイクルの各段階ごとの実施事項、工夫について

上記事業について、マネジメントサイクル (PDCA) の各段階ごとに、「どのような取組を行ったか」、「滞りなく進めるために、どのような工夫を行ったか (あるいはどのような工夫をしておけばよかったとお考えか)」、また「その取組や工夫を行ったことによる効果、良かったこと」をご教示ください。 また、事業を実施する中で「実施すべきでなかった」「別の対応を探るべきであった」など、反省点として捉えている項目があれば、その内容と要因についてご教示くださ

い。 ※特に、工夫や失敗がみられた項目を中心にご回答ください。(全てを埋める必要はありません。)

		回答欄(必要に応じて、大きさの調整や行の追加を行ってください)							
段階	項目	工夫点 or 反省点	実施事項・工夫点(または反省点)	工夫に伴う効果(反省点の要因)					
	課題・ニーズの明確化 ・地域の課題・ニーズの共有と明確化 ・定量的・客観的な分析 ・事業コンセブトの明確化								
事業アイデア・ 事業手法の 検討 <plan></plan>	<ul><li>事業手法の検討</li><li>・地域資源の活用</li><li>・外部の人材・知見の活用</li><li>・異なる政策間・複数の地域間での</li><li>連携の検討</li></ul>								
	事業実施体制の構築 ・既存の組織・ネットワークの活用 ・関係者の役割・責任の明確化								
事業の具体化	自立性の確保 ・自走を意識した計画 ・経営の視点からの検証								
<plan></plan>	達成すべき目標・水準の設定 ・詳細な工程計画の策定 ・効果・進捗を確認できるKPIの設定								
事業の	事業の実施 ・事業主体間の緊密なコミュニケーション ・こまめな進捗と質の管理 ・事業主体が有効に機能した事業実施								
実施·継続 <do></do>	事業の継続 - 安定した人材の確保・育成 - 地域の理解館成を促す情報提供 - 地域主体の更なる参加促進								
事業の 評価・改善	事業の評価体制・方法 ・専門的視点からの現状把握・評価 ・外部組織・議会等による多角的検証 ・KPI未達成の要因分析・課題の把握								
<check <br="">Action&gt;</check>	改善への取組 ・事業改善・見直し方針の明確化 ・事業実施の報告・次年度事業計画 への反映								

その他、上記観点に当てはまらない取組や工夫、留意点がありましたら、下記にご記入ください。(例:~の工夫も行っている、Society5.0関連の設備を導入しているなど

その他

~~ 裏面へ つづく ~~

#### 2. 事業の実施体制について

交付金事業の実施体制についてご教示ください。

貴団体内の体制について ※本事業の遂行(企画立案、進歩管理、関係機関との調整等)を 担当している部署、職員についてご教示ださい。									
中心的役割を 果たした部署	左記の他に関与した部署 (部署名を列挙願います)	直接的に関与し た職員数							
		,							

事業の実施主体について ※本事業を主体となって推進している組織についてご教示ください。 実施計画の「事業推進主体の形成」の <u>実績</u> を記載して行さい。								
実施主体の属性	実施主体の名称							
設立時期	複数の団体で構成される場合の構成団体 (団体名を列挙願います)							

# 図表 3-4 事前情報照会票(様式)(2枚目)

3. KPIの指標設定・目標設定について

	指標名	, , , ,	**1 (その他の場合下記は 載)	E記 KPI分類	目的・ねらい
1 -	1910 . + +° / 199 o fe	見点(例)を以下			
(IoTi 浄的データ:従来	技術等を活用して そからある既存の紹	充計データ	ティブデータ 消費購買活動などの動的な: 台体所有のデータ))	データ)	
本事業の <b>KPI</b> の	<b>の設定</b> に当たり	、取り組んだ工	<del>夫</del> についてご教示ください	。(複数回答可)	
載例:					
都道府里の担当					
民間企業にデー 地方公共団体 ・ KPI設定り 定量的・客観	-タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・3 的データとは、8	客観的データの 経済センサスやF	ン ン活用状況について RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
民間企業にデー 地方公共団体 ・ KPI設定り 定量的・客観	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	客観的データの 経済センサスやF	RESAS, V-RESAS, 6		日的・ねらい
民間企業にデー地方公共団体が 地方公共団体が . KPI設定り 定量的・客観 本事業の企画	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体が 地方公共団体が . KPI設定り 定量的・客観 本事業の企画	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体3・ KPI設定以 ・ KPI設定以 定量的・客観 本事業の企画 事業の段階	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体3・ KPI設定以 ・ KPI設定以 定量的・客観 本事業の企画 事業の段階	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体3 ・ KP1設定り 定量的・客観 本事業の企画 事業の段階	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体3 ・ KP1設定り 定量的・客観 本事業の企画 事業の段階	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体 ・ KPI設定以 ・ 定量的・客観 本事業の食階 ・ 企画段階	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体 ・ KPI設定以 ・ 定量的・客観 本事業の食階 ・ 企画段階	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体 地方公共団体 ・ KPI設定り ・定量的・客観 本事業の食階 ・企画段階 ・企画段階	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体と ・ KPI設定り ・ 定量的・客観 本事業の段階 企画段階 ・ 変施段階	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体 地方公共団体 ・ KPI設定り ・定量的・客観 本事業の食階 ・企画段階 ・企画段階	- タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・1 的データとは、別 、運営、効果材	 客観的データの 経済センサスやI 検証の各段階に	RESAS、V-RESAS、6 当たり、使用したデータ	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	
民間企業にデー地方公共団体と	タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・・ 的データとは、前 運営、効果材 データ区分	客観的データの経済センサスや「検証の各段階に有無	RESAS、V-RESAS、G 当たり、使用したデータ 名称	<mark>分類</mark> をご教示ください。 出 <b>所</b>	目的・ねらい
地方公共団体 は、KPI設定以 定量的・客観 本事業の企画 事業の段階 企画段階	タの提供を求めた 独自で集計した。 以外の定量的・・ 的データとは、前 運営、効果材 データ区分	客観的データの経済センサスや「検証の各段階に有無	RESAS、V-RESAS、G 当たり、使用したデータ 名称	分類をご教示ください。 出所 (その他の場合下記に記載)	目的・ねらい

# 図表 3-5 事前情報照会票(様式)(3枚目)

					17 110711				
	金事業の地方創生へ に限らない本事業実施				ご教示くださ	, 1 <sub>0</sub>			
	効果がありましたら可能	な範囲	目で数値	を含めて自由記述機	にご記入くた	<b>さい。</b>			
-	PI指標以外の 施による地方創生への 効果把握								
		1	内容						
-	上記①で「有」と回答された場 合、その内容		詳細						
(.	2	内容							
	※定量・定性の区別は問いません。 そのため、実感的に感じた事項でも		詳細						
そのため、実感的に感じた事項でも 構いません。		3	内容詳細						
3 (上記27	でご回答いただいた内容が、		5十744						
当初想定して	ていなかった効果であった場 合)								
	効果の発現要因								
	<b>検証の実施状況につ</b> り おける <mark>効果検証の実施</mark>	_	こついてる	ご教示ください。また、	選択肢で回	答が十分でないと	:きは補足等欄にご記入をお原	<b>頂いいたしま</b> ?	<b>f</b> .
	実施主体			頻度(予定含む)		用(予定含む)	検証内容		証方法
選択肢									
補足等									
	おける効果検証時点の					·/+=-	o 40 - 6-4 - 1 - 10-10-1	- 4± m + -*	-7.7 (+7)
	芟事業の効果検証が現 <b>果検証時の事業進捗</b> れ		で未実所	也で不事業か令和元年	牛度からの組	統事業である場合	合は、令和元年度の効果検証	の結果をご	記入ください。
上記の質	問に関連して、効果検	正の結	黒、どの	ような対応をとったかる	可能な範囲	でご教示ください。	(意見・要望を受けて事業計画を	見直した、運用	用等の改善を行った等)
	効果検証の結果								
新型コロ:	<b>コロナウイルス感染症</b> ナ <mark>ウイルス感染症による</mark> ください。(例:事業の	影響(	こついて	ご教示ください。影響が	がある場合は	、可能な範囲で植	<b>情いませんので令和2年に受け</b> が	た影響と令和	3年に受けた影響を
-40=	***************************************				*-*** /+*	. /BI = 0	A-T-LITE N-E-TESSANIC A-D-A-(D-A-D-A-)	·* 7 **\	
<b>E</b> 付金事	美か新型コロナウイルス <mark>を</mark>	梁症	対策に	な立った点等かあれば	こ教示くたさ	い。(例:テレワ-	−ク支援、遠隔診断、AR/VR	.導人等)	
	<u>に対する住民理解度(</u> に対する本事業の必要				事業に対する	5理解度の把握力	<b>7法</b> についてご教示ください。		
①地域住	民に対する本事業の PR状況								
②地域住	民に対する本事業の								
	PR方法	٠,		の他」					
		地域	住民の	理解度を把握					
(3	地域住民の			D取組有無 場合のみ)					
理解度把握方法		理解度の把握方法 (「有」の場合のみ)							
				内容					
本事業実		効果を					<b>直接支払った相手先</b> についてる	ご教示ください	را <sub>ه</sub>
	<b>大きい順</b> に、総支払額 足している場合は枠外				上しをガハー	かる じと記入くだ	CV 10		
No.	相手先	事業者	1名	業	種	※支払先が本社	支払先事業所所在地 以外の事業所(支店、営業所等) 当該事業所の所在地	の場合は、	令和2年度支払額 [単位:千円]
1							-MT-20/1-7/1/11/15		
2									
3									

以上

# 3.2.2 ヒアリング調査の実施

ヒアリング調査では、事前に送付した調査票、事業実施計画、事業実施報告等を基にインタビュー、意見交換、視察等を行った。ヒアリング調査を実施した事例は以下の通り。

図表 3-6 ヒアリング調査の実施事例

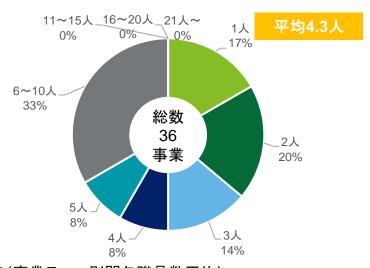
No.	事業テーマ	地方公共団体名	事業名
1-1	ローカル イノベーション	兵庫県	次世代ものづくり拠点・高機能レーザー3次元加工 センター整備事業
2-1	農林水産	栃木県	スマート酪農技術開発拠点整備事業
3-1	観光	鳥取県大山町	「新複合店舗」建設による大山参道にぎわいの復活
4-1	生涯活躍のまち	愛媛県新居浜市	四国初!移住促進拠点施設としての国家公務員宿 舎活用計画
5-1	移住・人材	島根県川本町	「学び」の交流拠点整備事業計画
6-1	若者雇用対策	和歌山県有田川町	旧田殿保育園施設リノベーション整備事業
7-1	ワークライフ バランス	富山県氷見市	ひみ自然体験・こども「遊」発型働き方改革推進拠 点整備計画
8-1	小さな拠点	長野県豊丘村	道の駅を核とした小さな拠点整備計画
9-1	コンパクトシティ	長野県池田町	まちなかの賑わい拠点整備事業

### 3.3 詳細調査の結果

### 3.3.1 地方公共団体内の実施体制

#### 1) 関与職員数

拠点整備交付金事業の実施に直接的に関与した職員数は、「1人」から「21人~」まで自治体によって様々であるが、「6~10人」が最も多く約3割を占め、平均は4.3人であった。事業テーマ別関与職員数平均は、「ワークライフバランス」では平均9人と多く、「ローカルイノベーション」や「コンパクトシティ」では平均3人と少なくなっている。



図表 3-7 地方公共団体内の関与職員数

拠点(事業テーマ別関与職員数平均)

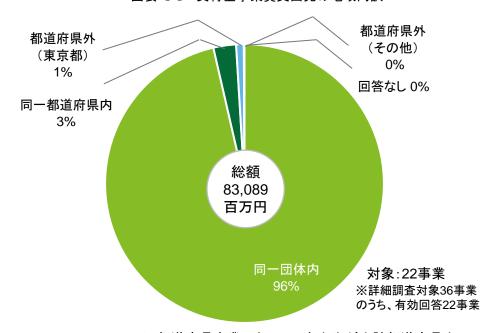
ローカルイノベーション	3人
農林水産	4人
観光	5人
生涯活躍のまち	4人
移住•人材	4人

若者雇用対策	5人
ワークライフバランス	9人
小さな拠点	4人
コンパクトシティ	3人

### 3.3.2 交付金事業費支出先の地域内訳

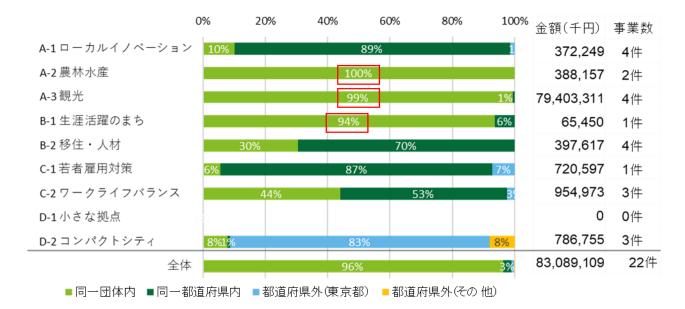
交付金事業費の支出先に関して、同一地方公共団体内事業者(都道府県事業における同一都道府県内事業者への支払を含む)が96%、同一都道府県内への支払割合は3%となっている。

なお、これら支出先の地域内訳は、事例研究の対象とした事業(36 事業)のうち、有効回答 22 事業における結果であり、拠点整備交付金事業全体における地域内訳ではないことに留意が必要である。



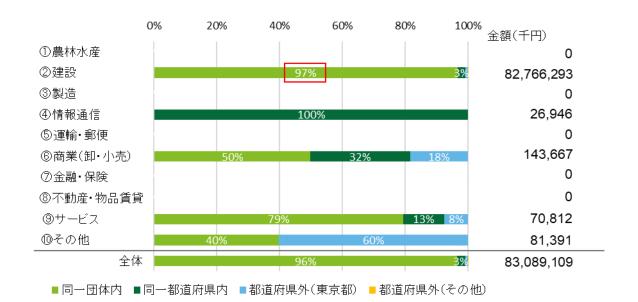
図表 3-8 交付金事業費支出先の地域内訳

※都道府県事業において、支出先が当該都道府県内 事業者の場合は「同一団体」に分類 事業テーマ別に見ると、農林水産や観光、生涯活躍のまちの分野で、同一地方公共団体内 事業者への支払割合が他に比べて高く、9割以上を占めている。



図表 3-9 交付金事業費支出先の地域内訳(事業テーマ別)

支払先の業種別に見ると、支出金額の最も大きい建設分野において、同一地方公共団体内事業者に約9割強が支払われている。



図表 3-10 交付金事業費支出先の地域内訳(支払先業種別)

## 第4章 地方創生関係交付金事業の効果を高める要因

事業実施報告の整理・分析の結果(第2章)、事例研究の結果(第3章)及び検討委員会委員の意見を踏まえ、地方創生関係交付金事業の効果を高めると考えられるポジティブな要因を抽出した。このポジティブな要因は、事業の流れの中で、どの段階で実施するかも重要であり、地方創生関係交付金事業をより効率的に、効果的に行うためにはポジティブな要因を適切なタイミングで実施することが重要である。また、その中でも地方公共団体が特に留意すべき重要な要因について、有識者の意見を踏まえ抽出した。

#### 4.1 地方創生関係交付金事業の効果に対するポジティブ要因

事業実施報告の整理・分析の結果を踏まえ、事例研究を通じて検証し抽出した地方創生関係交付金事業の効果に対するポジティブ要因は以下の通りである。

#### 図表 4-1 地方創生関係交付金事業の効果に対するポジティブ要因

- 1 定量的なデータによる課題発見、掘り起こし
- 2 現場に赴いて住民意見を聴取する
- 3 アンケート・ヒアリング調査による課題・ニーズ確認、検証
- 4 多角的な情報に裏打ちされた解決すべき課題の特定
- 5 他の類似先進事例を研究し、事前にリスク・機会を把握する
- 施策手法を検討するにあたり住民への説明を行い、地域に受け入れられる施策であることを確認する
- 7 施策手法案の有効性、経済性、効率性等の詳細な検討を実施する
- 8 事業目的、解決課題を踏まえ適切なKPIを設定する
- の 既存組織、ネットワークなどを活用し、事業推進体制を構築する。
- 10 複数担当者により事業を推進する
- 11 着実で実効性のある効果検証による強靭な事業運営を実施する
- 12 住民参加型の会議で意見交換を行うとともに、多様な広報媒体を通じて住民への周知を行う
- 13 事業実施中に状況や事業推進の課題を把握する
- 44 事業推進に係る解決すべき課題の優先順位付け
- 15 定量的なデータを活用し課題を分析する
- 16 阻害要因を特定し、対応策を検討する
- 17 効果検証において定量的に分析し、結果を公表する

また、これらの要因を「組織の検討・決定の流れ」及び「事業の流れ」を踏まえて整理した場合、下記の通りとなる。

図表 4-2 「組織の検討・決定の流れ」及び「事業の流れ」を踏まえた 地方創生関係交付金事業の効果に対するポジティブ要因の整理結果

#### 1) 事業の流れ (アイデア・手法の検討段階)

解決課題を発見するため、統計情報(公開されている定量的なデータなど)を活用した事業ほど、KPI 目標を達成した割合が高い傾向にある。また、解決課題の発見において、定期的に現地に赴き、住民意見の聞き取りを行った事業についても、KPI 目標を達成した割合が同様に高い傾向を示している。つまり、住民の意見や定量的なデータの分析結果を踏まえ、交付金事業によって解決すべき課題を抽出しておくことが、事業の成否を分ける重要な要因であると考えられる。

また、抽出した課題について「地域の実態やニーズの把握を目的としたアンケート調査」等の結果を基に、課題の特定、優先順位付けを行った事業ほど、自立化の目途が立っている割合が高い傾向にある。つまり、地域の複数ある課題を発見すること、また発見した課題のうち優先的に解決する課題の特定を行うことが、事業の効果を高めるうえで重要である。

また、既存組織・ネットワークを活用して事業の構築を行った事業ほど、KPI 目標を達成した割合が高い傾向にある。そのため、事業手法を検討する際、地方公共団体等が有する既存組織・ネットワークの活用を踏まえて事業構築を行うことも、事業の効果を高める

うえで重要である。

#### 2) 事業の流れ(具体化・実施段階)

施策手法の検討に当たり、類似した取組を行っている地方公共団体などへの現地視察を 実施し、事例を研究した上で、施策手法を立案している事業ほど、自立化の目途が立って いる割合が高い傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、事業を発展・継 続している傾向にある。同様に、施策手法の検討に当たり、検討会やワークショップでの 住民への説明を行い、地域に受け入れられる施策であることを確認している事業ほど、 KPI を達成している割合が高い。また、政策手段の選定に当たり、有効性・経済性・効率 性の詳細な検討を行った事業でも、地方創生への効果認識が高い傾向にある。

施策手法の検討段階から住民を巻き込み理解を促す取組を行うと共に、先進事例を研究 したうえで有効性、経済性、効率性の観点から詳細な施策の検討・決定を行うことが、事 業の効果を高める重要な要因であると考えられる。

施策手法の検討・決定のみではなく、事業目的等を踏まえた事業の KPI を適切に設定することも重要である。また、事業を実施する際、複数担当者を配置し事業を推進していくことも事業の効果を高めるうえで重要である。

#### 3) 事業の流れ (評価・改善段階)

事業実施中に状況及び事業推進の課題をモニタリングしている事業ほど、KPIを達成している割合が高い傾向にある。事業を実施する中でも課題を把握し、その優先順位付けを行って対策を講じることが、事業の効果を高める重要な要因であると考えられる。加えて、これらの把握・優先順位付けした課題について、統計データ等の証拠から、定量的・客観的にも把握している事業ほど、自立化の目途が立っている割合が高い傾向にある。

また、着実で実効性のある効果検証によって、事業運営の強靭化を図ることは、事業の効果を高めるうえで重要な要因である。効果検証を通じて、課題を発見し、有識者の意見を聞き、改善策を講じるといったサイクルで事業を運営している事業ほど、地方創生への効果認識が高く、効果検証を通じて対応策を検討している事業ほど新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、事業を発展・継続している傾向にある。

さらに、効果検証において分析した事業の進捗等の結果を公表している事業ほど、KPI を達成している割合が高まる傾向にあるため、地域住民等への結果の公表も、事業の効果 を高める要因であると考えられる。

#### 4.2 地方公共団体が特に留意すべき重要な要因

地方創生関係交付金事業の効果に対するポジティブ要因とネガティブ要因のうち、特に 事業の効果等への影響が大きいと考えられる要因について、検討委員会の議論を通じ、検討 委員会委員からは、下記の5点については、特に重要であるため留意する必要があるとの意 見があった。

# (1) 「地域住民等へ効果的に周知すること」が地方創生にとってポジティブな要因であること

地方創生関係交付金事業に関する目的や関連情報を地域住民やステークホルダーに 伝えることは、地方創生関係交付金事業の効果を高めるうえで重要な要因である。良い サービスや商品を提供できたとしても、それを対象者に十分伝えることができないと 事業の効果は高まらない。

そのため、地域住民等への周知や広報を効果的な手法で実施することは重要である。地域住民等への周知方法は、近年のデジタル技術の発達を受けて多様化している。地方創生関係交付金事業の周知に関して、多数の地方公共団体が自身のホームページでの周知を行っているが、先進事例としてYoutube、TwitterやLINEといったデジタル情報プラットフォームを活用して周知やマーケティング活動を行い、成果を上げてきている事業も見て取れる。SNS戦略においては、地方公共団体自らの実施にとどまらず、地域の活動家やインフルエンサーと連携することで効果を高めている事例もあり、さらにこのようなツールを活用した方法は、比較的コストも低く実施可能で即効性があるため、有効な手段の一つとして注目しておく必要がある。

# (2) 「事業の計画段階と実施段階の両段階で住民の意見を聴取すること」が地方創生にとってポジティブな要因であること

地方創生関係交付金事業に対する住民の理解と参画は、地方創生関係交付金事業の効果を高めるうえで重要な要因である。地方創生は、行政だけではなく、地域住民が地域の課題を自分事として捉えることが重要であり、住民の理解と参画が得られている事業のほうが、地方創生の効果認識が高い傾向にある。

それを踏まえ、地域住民が行政施策に参画できるチャンネルを可能な限り多様性を持って用意しておくことが重要である。具体的には、実施主体が主催してワークショップ、説明会や検討会を開催、アンケート等の意識調査などで地域住民のニーズや意見を発見し施策に反映することが重要である。事業の計画段階において、「地域にはこの事業が必要だ」ということに関して地域住民の理解を先に得て事業を進めることが重要である。また、事業開始後の実施段階においても地域住民の満足度や施策に対する意見を聞き取り、事業計画に反映することで事業の効果が高まる。地域住民の理解について

は、計画段階と実施段階の両段階において必要であるということを踏まえ、根気強く地域住民の理解や参画を得る努力を継続していくことが、事業を成功させるうえで重要である。

# (3) 「効果検証を着実に実施すること」が地方創生にとってポジティブな要因であること

効果検証の実施は、地方創生関係交付金事業の効果を高めるうえで重要な要因である。特に、議会での審議に限らず外部有識者検討会を設置するなど第三者によるモニタリングを実施し、そこで得た指摘等を事業計画に反映し、PDCA を着実に実施することで事業の効果を高めることができる。

多くの事業で、現状把握は実施しているが、課題の優先順位付けや、原因・阻害要因の明確化、阻害要因に対する対応策の検討及び対応策や新計画の実施が必ずしも十分でない場合が見られる。効果検証においては、外部の有識者等の意見も考慮し、当初の計画に固執することなく、事業目標達成に向けて柔軟に事業内容を改善していくことが重要である。

## (4) <u>「事業の各段階で情報を収集・活用し、課題把握や施策手法の検討を行うこと」</u> が地方創生にとってポジティブな要因であること

施策立案段階や実施段階で政府統計等の情報を活用して課題の発見や掘り起こしや 進捗状況の確認を行うことが重要である。一方で、地方創生関係交付金事業のような、 分野やエリアが特定されている事業の効果は、政府統計等の既存情報では把握しきれ ない部分がある。

そのため、地方公共団体は、独自の統計調査やアンケート調査を実施し、情報を把握し、課題把握や施策手法の検討を行うことが地方創生関係交付金事業の効果を高めるうえで重要な要因である。事業内容に整合した情報を収集でき、適切な KPI 目標を設定することができれば、PDCA サイクルを効果的に回すことができる。ただし、地方公共団体の独自調査は、人的、コスト的負担があるため、定期的に情報収集するうえでは他の部署とも連携して調査を行うなど情報収集の仕組みが持続可能な方法であることが重要である。

# (5) 「民間事業者等との連携や役割分担の明確化」が地方創生にとってポジティブな要因であること

民間の活力を取り入れて地方創生関係交付金事業を推進することは、事業の効果を 高めるうえで重要な要因である。良い事業内容を計画していたとしても、民間事業者等 との連携が不足していたり、役割分担が不明確であると、事業の効果は高まらない。

例えば、事業の企画段階から民間が主体となって事業を推進する体制を構築しよう

とした場合、事業推進体制の力を最大限に活かすため、行政はその支援(PR等)を担うこととするなど、役割分担を明確にすることが必要である。

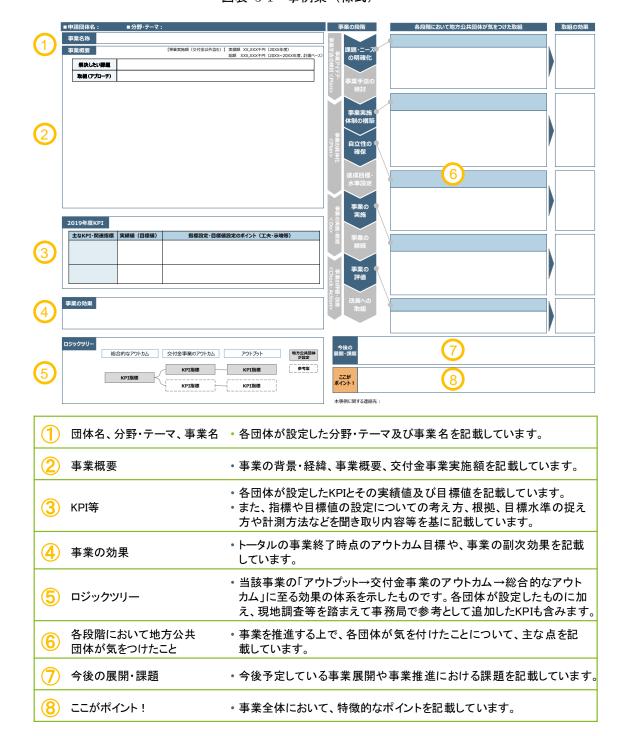
さらに、行政組織内において、マーケティングや SNS 戦略等に関する専門的知識を有する部署との連携体制を整え、事業推進主体の支援体制を構築することも効果的である。その際、行政組織内での専門的知識の確保が必要であるところ、外部人材の活用に加え、内部で人材育成に取り組むことも重要である。

# 第5章 事例集の作成、ガイドラインの加筆・修正

## 5.1 事例集の作成

現地調査を実施した主な事例について、拠点整備交付金を活用して行われた事業の概要 や KPI に対する考え方、取り組む上で地方公共団体が気を付けたこと等を整理し、他の地方公共団体の今後の取組の参考となるように「(令和3年度版)地方創生関係交付金の活用事例集」を別冊資料として取りまとめた。

事例集の様式及び記載内容の説明を以下に示す。



図表 5-1 事例集(様式)

### 5.2 ガイドラインの加筆・修正

本調査を踏まえて、ガイドラインの加筆・修正を実施した。

具体的には、本調査によって明らかになった地方公共団体による交付金事業実施に当たっての課題を踏まえて、以下の点をガイドラインに反映した。

- ・ 交付金事業のアウトプット指標、交付金事業のアウトカム指標、 総合的なアウトカム指標について、説明を一部更新した。(22ページ、Ⅱ. 導入編 事業分野別の KPI 設定の例 参照)
- ・ ガイドラインで参照する事例に、参照元である報告書に紐づく索引を記載した(62-160ページ、3.事業のPDCAの段階ごとの工夫・留意点 参照)。
- ・ 参考となる政府統計指標に関して、データ最新年・リンク先等の更新をした(26-32 ページ、5)参考となる政府統計指標 参照)。
- ・ 「生涯活躍のまち」については、これまでの中高年齢者の移住に重点が置かれていたものから発展し(令和元年度)、制度の縦割りを超え、女性、高齢者、障がい者・移住者等誰もが、一人ひとりの個性と多様性を尊重され、それぞれの希望に応じて能力を発揮することで、居場所と役割を持ってつながり、生涯を通じて健康でアクティブに活躍することによって、活性化する「誰もが居場所と役割を持つコミュニティ」づくりを目指すものとなっている。その旨、ガイドラインの記載を更新した(112ページ、各論 4. 地方への人の流れ 分野の概要 参照)。

また、本調査で詳細調査した各事例における事業実施時の工夫・留意点に関して、主要なものをガイドラインに追加反映した。

## 第6章 地方公共団体への分析結果フィードバック

### 6.1 フィードバックの目的

各地方公共団体が、自身の交付金事業の実施状況を他の地方公共団体と比較することで、事業プロセスにおいて不足している項目や優れている点などを客観的に認識してもらうことを目的に、各団体により回答された事業実施報告について、「自身の回答」と「全体の回答」とを記載した「事業実施報告分析レポート」を作成し、各団体に送付した。

「全体の回答」として記載した拠点交付金全体、事業テーマ別、そして自治体規模別の3つの傾向を、各自治体の「自身の回答」と比較することで、交付金事業における各事業の状況を客観的に把握することが可能である。また、一部の設問においては、各自治体の「自身の回答」において回答された課題に対する他自治体の対応事例を記載しており、今後の改題解決の参考とすることができる。

これにより、各団体による今後の交付金事業のさらなる改善が促されることが期待される。

## 6.2 フィードバック項目

地方公共団体へのフィードバック項目は以下の通り。

図表 6-1 フィードバック項目

フィードバック項目	概要
1.KPI の達成状況	当該事業における KPI 目標の達成状況と、事業テーマ及び拠点
	整備交付金全体における目標を達成したKPIの割合を比較する。
2. 地方創生への効果認識	事業テーマ及び拠点整備交付金全体における地方創生への効果
	認識割合をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。
3. 自立化の見込み	事業テーマ及び拠点整備交付金全体における、自立化見込み状況
	をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。また、当該事業
	が回答した「自立化の課題」に対して、他事業における課題に対
	する対策・解決事例を例示する。
4. 令和2年度事業を踏	事業テーマ及び拠点整備交付金全体における自立化の進捗状況
まえた自立化の進捗	をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。

5. 事業実施時に留意した	各事業プロセスにおける当該事業の回答と、事業テーマ及び拠点
項目	整備交付金全体における各事業プロセスに留意した割合を比較
	する。
6. 連携している政策分野	事業テーマ及び拠点整備交付金全体における連携先の政策分野
	(事業テーマ)の分布状況をグラフで表示し、当該事業の回答と
	比較する。
7. 事業を進める中で特に	事業テーマ及び拠点整備交付金全体における課題・苦労の状況を
苦労したこと	グラフで表示し、当該事業の回答と比較する。また、当該事業が
	回答した「事業を進める中での課題・苦労」に対して、他事業に
	おける課題に対する対策・解決事例を例示する。
8. 新型コロナウイルス	事業テーマ及び拠点整備交付金全体における今後の事業方針を
感染症を踏まえた、	グラフで表示し、当該事業の回答と比較する。
今後の事業展開方針	

## 6.3 フィードバックの実施

各地方公共団体に対して、上記のフィードバック項目を記載した「事業実施報告分析レポート」を作成し、都道府県経由で各地方公共団体に送付した。

事業実施報告分析レポートの様式は以下の通り。

図表 6-2 事業実施報告分析レポート (様式) (1枚目)

提出された		<b>-67</b>	フ剧土拠	に記録(調)	י אבניוא	F-#-/-//0TK	告 分析レポート	
- FZ 75 /+ A	年度における地方創生拠点整備 事業実施報告を基に作成)	₹付金事業実施	施の結果として全	国の地方公共団	体により報告され	た「地方創生拠点整備	交付金事業実施報告(様式2)」を集計・5	<b>分析した結果をお知らせするものです。(令</b>
- 40×11年	事業の実施状況を他の地方公共	団体と比較する	ことで、今後の事	業推進に役立て	ていただけますと幸	こいです。		
情報								
都道府県	<b>中町村</b>	名						
		事業	《名称			事第	美実施計画(申請)段階のテーマ	
Iの達成特	伏況(令和2年度までの累計)							
							済活性化関連指標」が最も多く設定されてい	
71の設定に≘	目だり(は、各観的、かり事業との)	接性のめる別を			。日的乙父付金引	■乗のKPICの囚果関係。	が明確であり、交付金事業によって現れた成界	
			本事業	KPIの分類			目標を達成したKPIの割	
	KPIの名称		大分類	小分類	対象	目標達成の有無	【しごと創生】ローカルイノベーション分野	拠点整備交付金全体
KPI 1								
KPI 2								
KPI3								
KPI 4								
	<b>地方創生への効果</b>	h-亡命/ナノーホー	日代生二十 1 200 200	thrust str	<b>♦/±</b> ጠე*****	148 +C +H-1-4014-1-3+44	に効用的でもったと初業ナヤア・・ナナ	
父刊亚争樂	本事業 本事業			がし(います。特に) :創生】ローカルイ。			に効果的であったと認識されています。 拠点整備ダ	付金全体
性担保の道	#+#							
	### !載された自立化の見込み							
ment toward	A 44 a short TD response to the second	P12 / T1 - +=						
画時点では、	全体の約8割程度の事業が自立	見込んでいまる		-創生1ロ_も# /	18~5~12公服		<b>地方教</b> <i>统</i> 之	:.d^^k
画時点では、	全体の約8割程度の事業が自立 本事業	見込んでいま?		創生】ローカルイ。	バーション分野		拠点整備交	付金全体
画時点では、		見込んでいま?		創生]ローカルイ。	バーション分野		拠点整備交	付金全体
画時点では、		:見込んでいま?		:創生]ローカルイ。	バーション分野		拠点整備交	付金全体
画時点では、		と見込んでいま?		「創生】ローカルイ。	バーション分野		拠点整備交	村金全体
画時点では、		と見込んでいま?		創生】ローカルイ。	バーション分野		拠点整備の	付金全体
画時点では、		と見込んでいま?		創生】ローカルイン	バーション分野		拠点整備文	<b>子付金全体</b>
画時点では、		見込んでいます		創生】ローカルイン	バーション分野		拠点整備交	付金全体
画時点では、		見込んでいま?		創生]ローカルイ。	バーション分野		幾点整備交	··付金全体
画時点では、		見込んでいま?		創生】ローカルイン	バーション分野		拠点整備公	子付金全体
画時点では、		見込んでいま?		:創生]ローカルイ。	バーション分野		拠点整備交	行金全体
画時点では、		見込んでいま?		:創生]ローカルイ。	ハベーション分野		幾点整備交	<b>不付金全体</b>
画時点では、		見込んでいま?		創生】ローカルイ。	ノベーション分野		拠点整備公	<b>子付金全体</b>
画時点では、		見込んでいま?		創生】ローカルイ。	リベーション分野		拠点整備ジ	行金全体
	本単葉	見込んでいます		- 創生]ローカルイ。	リベーション分野		拠点整備交	· 付金全体
和2年度事	本事業		(UZE					
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	立っています。一方で、#	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業		【しごと		確保できる目処が	泣っています。一方で、 和		<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	立っています。一方で、#	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	泣っています。一方で、着	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	泣っています。一方で、私	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	立っています。一方で、着	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	泣っています。一方で、私	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	泣っています。一方で、幕	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	立っています。一方で、着	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	泣っています。一方で、着	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	立っています。一方で、私	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	☆っています。一方で、幕	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	<b>味</b> せん。
和2年度事	本事業 業を踏まえた自立化の進步 E施を踏まえて、拠点整備交付金・		【しごと	な自主財源等を	確保できる目処が	泣っています。一方で、着	91割の事業では、財源確保の目処が立ってい	\⊈U.v.

## 図表 6-3 事業実施報告分析レポート (様式) (2 枚目)

本事業	対処状況	他手	事業における、課題に対する対策	·解決事例	
		_			
		-			
		_			
実施時に留意した項目					
考えられますが、これらの項目を実施して、事業の効果 5項目の詳細は、内閣府から公表している「地方創生事業!		ロセス編に記載していますので、必要に応じてご参照ください	, l <sub>a</sub>		
			+100	1. 1空間	または「概ね実施した」と と事業の割合
₩フノブフ 車業エンナの体計の <b>は</b> 1			本事業	【しごと創生】ローカルイノ ベーション分野	拠点整備交付金全体
業アイデア・事業手法の検討段階】 ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題や	ニーズを明確化している			ページョンがまり	
イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズ	を捉えている				
<ul><li>ウ. 地域の特色ある資源や強みを活用している</li><li>エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している</li></ul>		- 凍蝉 , アロス			
<ul> <li>地域の特色ある資源や強みを活用している</li> <li>事業手法の検討に外部人材・知見を活用している</li> <li>異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団カ、スケールメリットや人材・ノウバウ融通のため、複数の地</li> </ul>	体内の複数部局や様々な分野の民間企業とは関で連携している	連携している			
<ul><li>ウ. 地域の特色ある資源や強みを活用している</li><li>エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している</li><li>オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団</li></ul>	体内の複数部局や様々な分野の民間企業とは関で連携している	連携している			
9. 地域の特色ある資産や協力を活用している 工事業子法の検討に分略力材・知見を活用している 異なる分割の政策を組合するという事業でするため、巨 力、フクールメリットや人材・ノタバの計画のため、複数の収 手、事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等 の関係者の必要する任意のは、 関係者の必要を (業の具体化段階)	体内の複数部局や様々な分野の民間企業と 域間で連携している の既存組織・ネットワークを活用している				
<ul> <li>1. 地域が特色の高度管管を支援用している</li> <li>2. 無業主法の地域でが個人材が創設を指している</li> <li>2. 異ならり野の原産・組み合かけた事業とするため、日本のからの大力・スケースのサンストがフリンの場合の、建設の心室・団体等をあるの語が、異なったいで、地域の企業・団体等を受け、同様のの原列・責任について、地域の企業・団体が関係している。</li> <li>2. 異なり具体化分裂の</li> <li>2. 異なり具体化分裂の</li> <li>2. 異なりまなります。</li> </ul>	体内の複数部局や様々な分野の民間企業/ 地域間で連携している の既存組織・ネットワークを活用している ちって自走していくことのできるプロセスを明確化 材を活用している。または知見ある分部専門	นางจั			
9. 地域の特色ある資金や協力を活用している 工 事業事法の検討に外部人材・知見を活用している 不 異なる分替の政策を組分合わせた事業でするため、ほ 力・クールメットや人材・プリハの鉄速のため、投資の中 ・ 事業実施体的機能において明確化している 「銀の具体化段階」 ク、 内の機能の位置・損任について明確化している 「銀の具体化段階」 ク、 内面のでは、対している。	体内の複数部局や様々な分野の民間企業と 域間で連携している の既存組織・ネットワークを活用している ちって自走していくことのできるプロセスを明確化 材を活用している。または知見ある外部専門 は使労を検定している。または知見ある外部専門	นางจั			
2. 知識の特色ある講習で増みを活用している 素なら野の原業報組みでかけ、利本・国を構造している またら野の原業報組みでおけて事業とするため、 ステースタッドの人材・グリンの機能のため、機能の収 は、デースタッドの人材・グリンの機能のため、機能の を表現の体化が見かり、現象の企業・団体等 の、原義のの指針では、下電子型が開発している は、製業機はからまたす。実践的はなど事業が開発した。 は、製業機はからまたす。実践をはなり、実業が関係的な人力 ・学業に回答せなりた。、電業を実践的をある人力 ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せない。」「他に ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せない。」「他に ・学業に回答せなり、「機能性を ・学業に回答せない。」「他に ・学業に関係して ・学業に回答せない。」「他に ・学業に関係して ・学業に回答せない。 ・学業に関係して ・学業に関係して ・学業に関係して ・学業に関係して ・学業に関係して ・学業に関係して ・学業に関係して ・学業に関係して ・学業に関係して ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学業に ・学、 ・学業に ・学を ・学、 ・学業に ・学を ・学、 ・学業に ・学を ・学、 ・学、 ・学、 ・学、 ・学、 ・学、 ・学、 ・学、	体外の複数原列等なら分野の民間企業 は関す。連携している の個存組第・キャナラークを活用している のの存組第・キャナラークを活用している カストロールでは、これでは、または、日本の 材を活用している。または日本の分解等門 が位等)と検定している に、受当な水準の目標値を放定している	นางจั			
り、地域の特色ある講習で増与を活用している  ・ 無率等を必要があります。  ・ 無ならり野の原業を組みさかという。  ・ 大クースリントも、オークリンの機能を ・ クースリントも、オークリンの機能の、機能の位 ・ 事業実施体等の構築において、地域の企業・団体等 ・ 事業実施体等の構築において、地域の企業・団体等 ・ の、原金の企業・団体等 ・ の、原金の企業・団体等 ・ の、原金の企業・団体等 ・ の、原金の企業・団体等 ・ の、原金の企業・団体等 ・ の、原金の企業・団体等 ・ の、原金の企業・団体等 ・ の、原金の企業・団体等 ・ の、原金のでは、一の、一の、一の、一の、一の、一の、 ・ 事業と直接性があり、企業・工程計画(四半期単位、円 ・ 事業と直接性があり、企業・工程計画(四半期単位、円 ・ 事業と直接性があり、企業・工程計画(四半期単位、円 ・ 事業と直接性があり、企業・ファン・ション・ ・ に対して、アン・ション・ ・ に対して、アン・ ・ できないの、アン・ ・ できないの、アン・ ・ できないの、アン・ ・ できないの、アン・ ・ できないのできないのできないのできないのできないのできないのできないのできないの	体外の複数原列を様々な分野の民間企業と 地域で連携している の成存組集・カナワークを活用している のでは、 なて自動していたとかできる方位とを明確的 材を活用している。 または知見ある外部専門 が位置)を確定している EL、受当な水準の目標値を設定している を行っている	นางจั			
り、地域の特色の高限的で協力を活用している  ・ 職業学系の時代の発見 外 可能を指している  オ 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、ほ  東なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、ほ  カール・リートの人材・プリハ登船のから、推奨から  ・ 事業実施体が内側底におい、で助きの企業・団体等  ・ 調査部品の方の体理のから、単変実施経める人  ・ 発電の具体化限間  ・ 美国企業の力がの検証のため、単葉実施経める人  ・ 美国企業の力がの検証のため、単葉実施経験のもの人  ・ 事業を注意では単立工程計画で用期的に、  ・ 事業を通路性があり、客観的な成果を表すKPで連び ・ 事業を直接性があり、客観的な成果を表すKPで連び ・ 事業を加速性があり、客観的な成果を表すKPで連び ・ 本と、KPにの進歩について変更物に、EPにコーケーション・  に KPにの進歩について変更物に、管理している  ・ 採り手になるチャーデングト・事業を提絡的にご  ・ 知識すると	体外の複数部門様々な分野の民間企業/ 関係で連邦している の総存組織・ネットラークを活用している もって自主していることのできるプロセスを明確化 林を活用している。または知見ある分類専門性 体が多年版でしている 足し、妥当な水準の目標値を設定している 総行っている。	นางจั			
2. 地域の特色の点質医性含み近期にている ・ 類型子型の検討である。 ・ 類型子型の検討である。 ・ 類型子型の検討である。 ・ 類型の対象を担任している ・ 類型の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	体外の複数原用で様々な分替の民間企業/ 地域的で連携している の原分相通・ネットワークを活用している あって自主していくことのできる7泊セスを明確的 材を活用している。または規則ある分割等門 が位等)を検定している EL、受当な水準の目標値を設定している 発行了ている。 またで、アンパワーを確保化でいる 本事業がたたちず アルットについて情報が よ 事業がたたちず アルットについて情報が	いている 家から助霊を受けている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
2. 地域の特色から講習で増や近期にている  ・ 無率手が必要が必要が、利利・加速を活動になる  ・ 大きの野の原業を組みでした。  ・ 大きの野の原業を組みさかという。  ・ 大きの野の原業を組みさかという。  ・ 大きの野の原業を組みさかという。  ・ 大きの野の原業を組みでした。  ・ 大きの野の原業を組みでした。  ・ 野星実施・外の構築にかいて、思域の企業・団体等  ・ 野星実施・大きの関連などの、東美工業が総合を入り、  ・ 大きの事業の方式と中実は関切など平実が総合を入り、  ・ 大きの事業の方式と中実は関心で平開がの、月から ・ 大きの事業がある。  ・ 大きの事業が、一般では、一般である。  ・ 大きの事業が、一般では、一般では、一般である。  ・ 大きの事業が、一般では、一般である。  ・ 大きの事業が、一般である。   体外の複数部間や様々な分野の民間企業と 地域で連携している の間存組施・オナワークを活用している の間存組施・オナワークを活用している また自主していたとのできる方位と名号等格が 材を活用している。または収臭あら外部専門 が位置が実施している とし、受当な大事の目標値を設定している を行っている 進歩でしてソブワーを確保している 進歩でしている「またますリットについて情報を 進やの表に参加できる仕組みをつくってい (株成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成	いている 家から助霊を受けている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
地域が特色の高層が増かる場所にいる     東なら野の政策を組みている     東なら野の政策を組みらかせい事業とするため。     スケールシャントルインツの経験がある。 物数の企業 (日本) 大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	体外の複数原所で様々な分野の民間企業と 地域的で連携している の固存相間・オットワークを活用している あって自主していることのできるプロセスを明確化 材を活用している。または知見ある外間専門 性位等)を指定している。 比、労性な水平の目標像を設定している を持つている 患めていくマンパワーを確保している 素・事業がらたらすメリットについて情報分 様とでは、他でなることができませます。 またまり、またまり、またまり、またまり、またまり、またまり、またまり、またまり	いている 家から助霊を受けている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			

### 図表 6-4 事業実施報告分析レポート (様式) (3 枚目)

<b>为果検証</b>					
○効果検証における実施項目					
果検証における「実施すべき項目」を実施した方が、実施しないより	カーつでもKPIを達成した事業の書	引合が高くなっています。			
ち公共団体及び事業の実情によっては、実施できないまたは実施の	の必要が無い項目もあると考えられ	ますが、効果検証をきめ細かに実施するこ	とで、事業の効果をより高めてし	べことが望まれます。	
			Г		でもKPIを達成している事業の割合
【効果検証における段階別実施有無】				本事業 【しごと創生】ローカルイノ ベーション分野	拠点整備交付金全体
ア. 事業の状況及び現状の課題を把握している			-	1(-)3)/(3)	
イ. 計画との比較を行っている					
<ul><li>ウ. 課題の優先順位付けを行っている</li><li>エ. 事業における原因・阻害要因を明らかにしている</li></ul>					
<ul><li>オ. 適切な分析手法を検討し選択している</li><li>カ. 統計データ等の証拠から、定量的・客観的に地域の課題を把握</li></ul>	li Tinz				
<ol> <li>阻害要因について対応策を検討している</li> </ol>	10(1/9				
ク. 新計画を立てている ケ. 対応策や新計画の実施を行っている					
コ. 定量的な分析結果を公表している					
**************************************			_		
効果検証における実施項目数					
検証における実施項目の実施数について、3割の事業が未実施と	なっています。効果検証を実施する	ることでKPI目標達成への効果が見込まれ	5ため、適切な実施が求められ	ます。	
本事業	【しごと創生】ローカルイ.	ノベーション分野		拠点整備交付金全体	
紫を進める中で特に苦労したこと					
事業を進める中での課題・苦労					
場合、交付金事業を進める中で課題や苦労に直面しています。	特に、②事業経営や技術ノウハウを	を有する人材の確保・育成や①事業推進	体制の検討といった点に苦労し	ている事業はそれぞれ全体の2	割弱に上ります。
本事業	【しごと創生】ローカルイ.	ノベーション分野		拠点整備交付金全体	
□ 事業を進める中での課題・苦労に対する対応事例					
金事業を進める中で課題や苦労は自治体ごとに異なります。その	カアも久白治体で試行錯誤を乗れ	理解や茶供への対策・経済変を検討し	アい <b>キオ</b>		
体による交付金事業の回答を踏まえ、他団体の対策・解決策を修					
本事業 (再掲)	その他の場合の詳細		他事業における、課題に対す	る対策・解決事例	
		_			
		<b> -</b>			
		L			
		L			
型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた、今後の事業展開	明方針				
■コロナウイルス感染症の影響がある中、拠点整備交付金事業全体		たや発展を見込んでいます。一方で、2割引	Gの事業が、事業の縮小や見i	直し(改善)、中止を見込んで	でいます。
本事業	【しごと創生】ローカルイ.			拠点整備交付金全体	

# 第7章 検討委員会の設置

本調査の効果を高めるため、地方創生に関する外部有識者から成る「地方創生推進交付金 事業及び地方創生拠点整備交付金事業の効果検証に関する調査検討委員会(以下、「検討委 員会」という。)」を設置・開催し、その監修のもとで調査を実施した。

また、第 3 章 事例研究における現地調査の一部事例について検討委員会委員を同行し、 調査の深掘りを図った。

検討委員会の委員は、以下の通り。

検討委員会委員一覧 (五十音順、敬称略)

	所属・役職	氏名
	大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授	赤井 伸郎
	中央大学経済学部 教授	阿部 正浩
	公益財団法人交通協力会 常務理事	石堂 正信
	法政大学現代福祉学部 教授	図司 直也
	一橋大学大学院法学研究科 教授	辻 琢也
	東京農工大学大学院 客員教授	福井 隆
座長	東京大学大学院総合文化研究科 教授	松原 宏
	株式会社びゅうトラベルサービス 顧問	見並 陽一

検討委員会は、令和 3 年 9 月から令和 4 年 3 月の期間で計 4 回開催した。各回の開催概要は以下の通り。

図表 7-1 検討委員会開催概要

口	日時・場所	議題
第1回	令和 3 年 9 月 10 日 (金)	<ul><li>地方創生関係交付金の近況について(令和</li></ul>
	13:15~15:00	4 年度概算要求、経済・財政一体改革エビ
	オンライン開催	デンス整備プラン)
		・ 今年度の効果検証の進め方について
		・ 事業実施報告分析の進め方について
		・ 事例研究の進め方について
		・ 平成 28 年度開始先駆タイプ事業調査の進
		め方について
		・ 統計解析の進め方について
		・ 地方公共団体へのフィードバックについて
第2回	令和3年11月19日(金)	・ EBPM アドバイザリーボードの状況につ
	13:30~15:30	いて
	オンライン開催	・ 平成 28 年度先駆タイプ事業調査概要につ
		いて
		・ 事業実施報告の分析(途中報告)について
		・ 事例研究(途中報告)及び調査対象候補(案)
		について
		・ 統計解析の試行 (途中報告)
		・ 地方公共団体へのフィードバックについて
第3回	令和 3 年 12 月 23 日 (木)	・ 地方創生関係予算の状況について
	14:00~16:00	・ 平成 28 年度先駆タイプ事業調査 (途中報
	オンライン開催	告)について
		・ 事業実施報告の分析(結果報告)について
		・ 事例研究(途中報告)について
		・ 統計解析の試行 (結果報告)
		<ul><li>ガイドラインの改訂について</li></ul>
		・ 報告書(骨子案)について
第4回	令和4年3月29日(火)	・報告書(案)について
	メール審議	<ul><li>事例集・ガイドラインについて</li></ul>
		・ 今後の検討課題等について